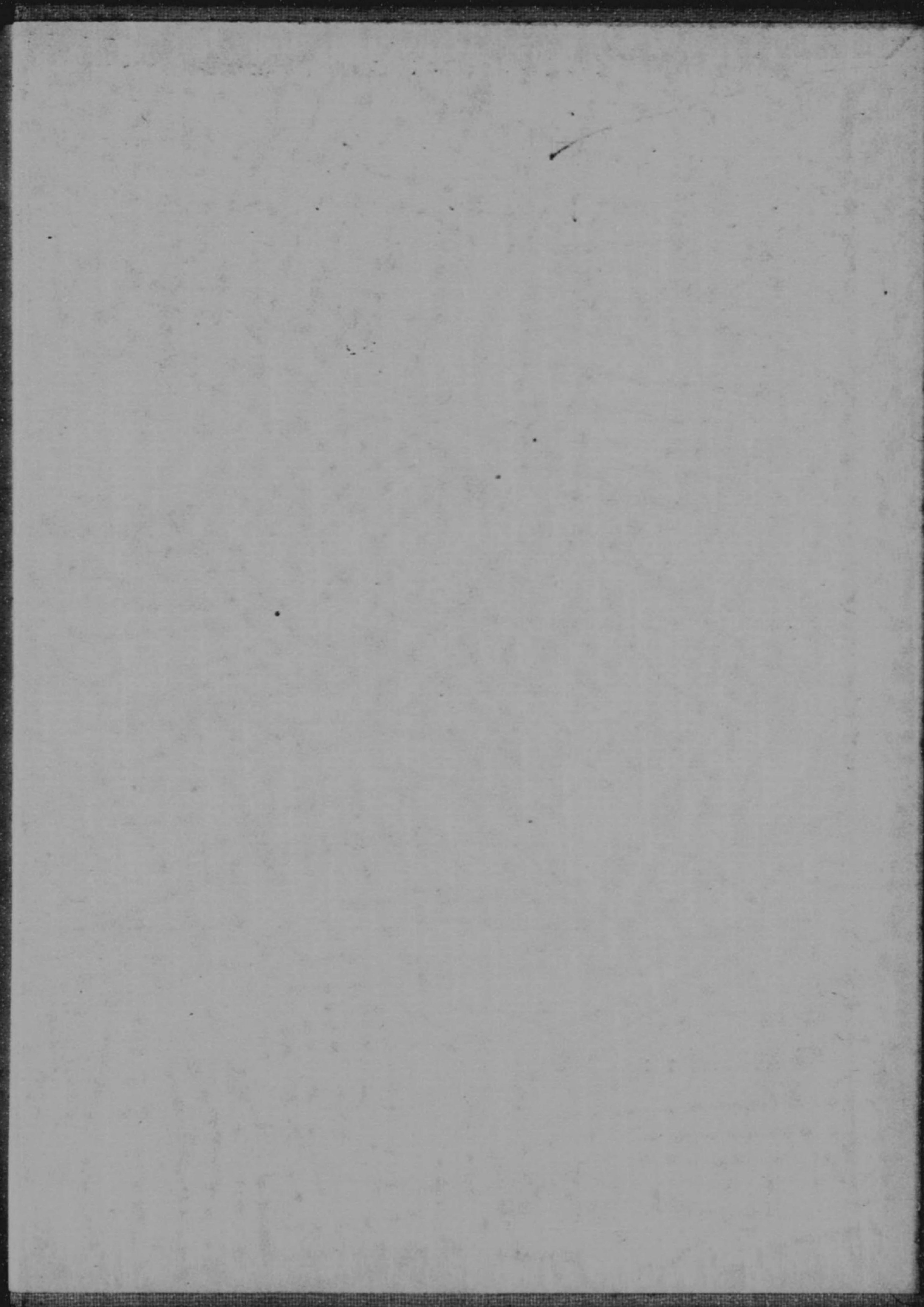
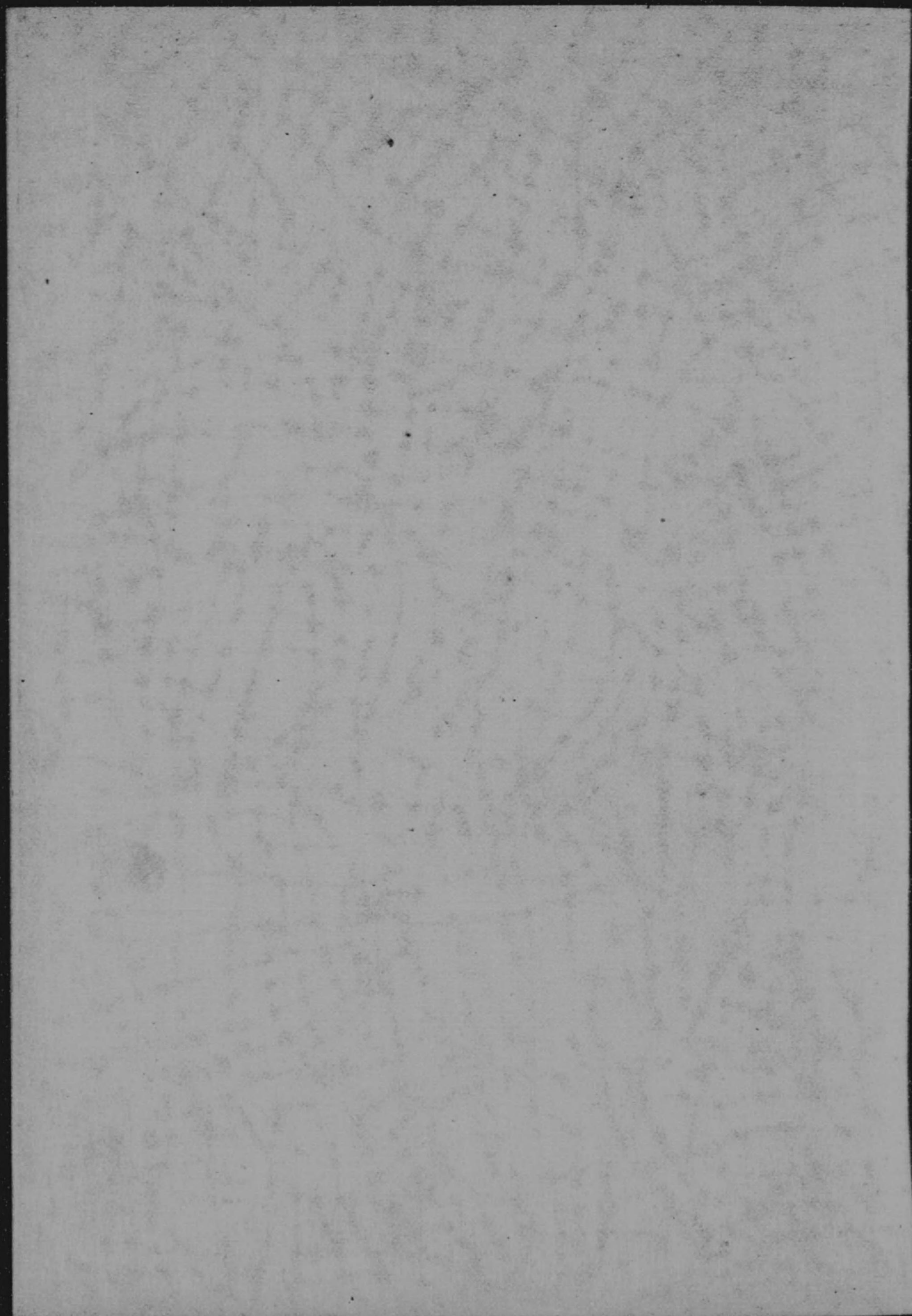


第二十五號



昭和十二年七月改訂

衆議院委員課

衆議院委員會先例彙纂

全

衆議院事務局

314.4 Sy 9962

例言

一本書ハ曩ニ刊行シタル衆議院委員會先例彙纂ヲ校訂増補シ第一回議會乃至第七十回議會ノ委員會、部會及兩院協議會ノ先例ヲ輯録ス

一本書ハ之ヲ章節ニ分チ各先例ニ號數ヲ附シ各號ノ下ニ其ノ要旨ヲ記載シ更ニ其ノ事例ヲ摘録セリ

一本書ハ主トシテ最新ノ事例ヲ輯收スルノ方針ヲ採リ舊例ヲ取捨シ以テ簡約ヲ期セリ

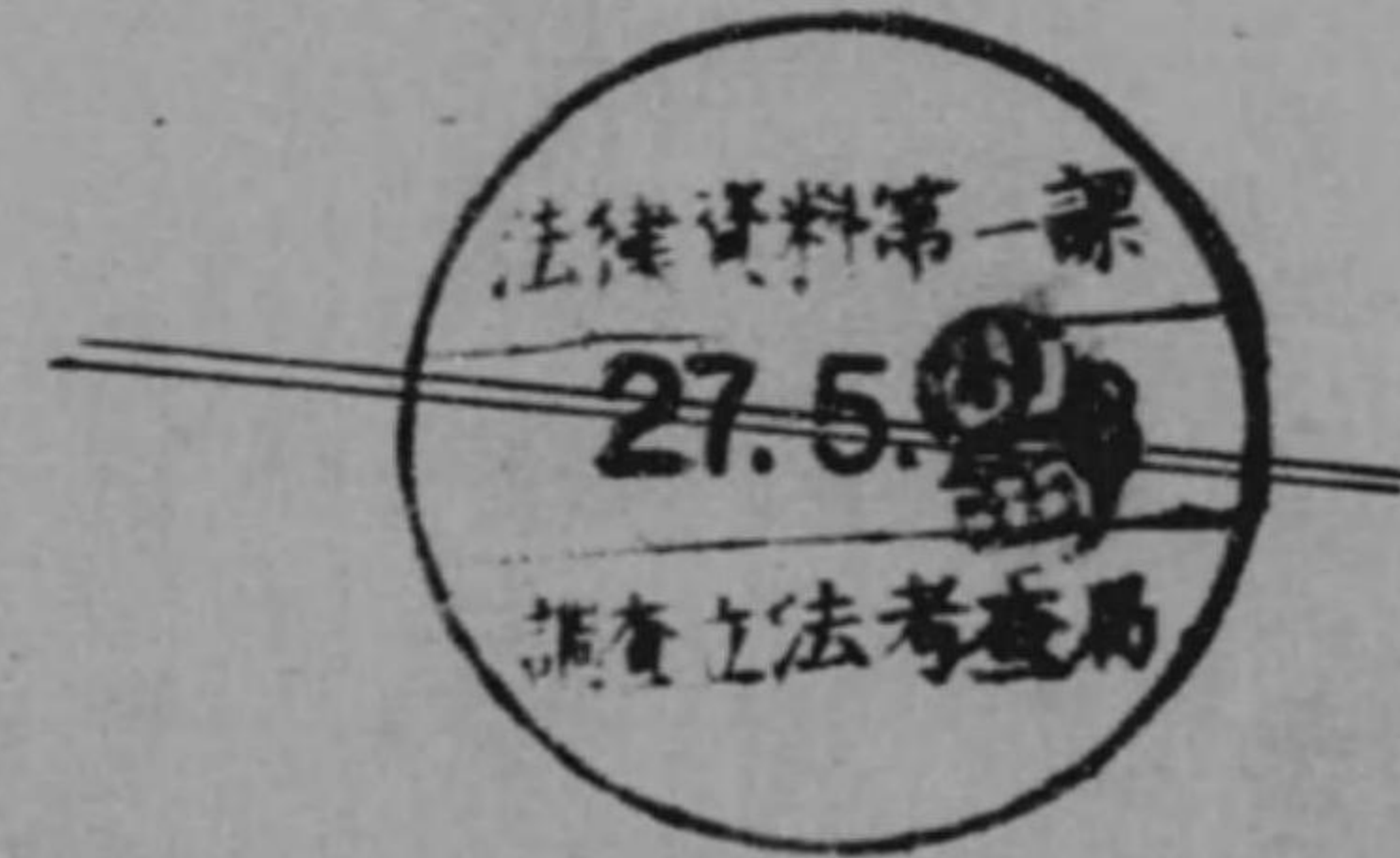
一關係法規ヲ各號ノ欄外ニ掲ケテ參看ニ便ス(憲ハ憲法、議ハ議院法、衆ハ衆議院規則、兩ハ兩院協議會規程ノ略稱ニシテ括弧ヲ附シタルハ準用又ハ參照ヲ示ス)又關係アル事例ハ

BZ
2/11

~~314.4
Sy 9962~~



516604



J 1109

相互ニ號數ヲ表示シ彼此參看ニ便ス
 一委員ノ種類及員數、分科ノ區分並所屬員ノ配置、委員ノ選舉
 一及兩院協議會ノ經過等ニ關スル諸表ハ附録トシテ卷尾ニ
 掲載ス

衆議院事務局

昭和十二年七月
 衆議院事務局

衆議院委員會先例彙纂

目次

第二章 委員會ノ組織	一頁數	摘要頁數
第一節 委員ノ種類及員數	一三	一一
第二節 委員ノ選舉、辭任及補闕	一九	一二
第三節 委員長及理事	一八	一三
第四節 分科	二五	一四
第五節 主査	三〇	一五
第六節 小委員(委員中委員)	三四	一五
第二章 會議	四三	一六
第一節 開會、休憩及散會	四三	一六
第二節 出席、發言	五〇	一八

目次

1

二

第三節	秘密會及速記中止	六八	一〇
第四節	委員會ノ秩序	七三	一一
第三章	議案ノ審査	七九	一二
第一節	審査ノ開始及期間	七九	一二
第二節	議案ノ趣旨辯明、質疑及討論	一〇五	一四
第三節	審査ノ方法	一一一	一五
第四節	動議	一四〇	一九
第五節	修正	一四三	一九
第六節	審査ノ權限	一五四	二〇
第四章	表決及議決	一七七	二三
第一節	表決	一七七	二三
第二節	議決	一九一	二三
第五章	報告	二〇三	二四

第一節	委員長報告	二〇三	二四
第二節	少數意見	二一八	二五
第三節	分科及小委員ノ報告	二三三	二六
第六章	兩院協議會	二二七	二六
第七章	部會	二五三	二八
第八章	委員會議錄、參考書及衆議院公報	二五九	三〇
附錄	(各種一覽表)	附錄自二二三	三〇

衆議院委員會先例彙纂

摘要

第一章 委員會ノ組織

第一節 委員ノ種類及員數

- 一 常任委員ハ豫算、決算、請願、懲罰及建議委員ノ五種トス
- 二 常任委員ノ員數ハ豫算委員六十三名、決算委員、請願委員及建議委員各四十五名、懲罰委員二十七名トス
- 三 特別委員ハ議案ノ審査又ハ文案起草若ハ或事項ノ調査等ノ爲ニ之ヲ設ク
- 四 特別委員ノ名稱ハ付託件數ノ増減アルモ之ヲ變更スルコトナシ
- 五 特別委員ノ員數ハ九名又ハ其ノ倍數トス
- 六 既ニ決定シタル特別委員ノ員數ヲ増加ス
- 七 二箇ノ特別委員ヲ併合ス

摘要 第一章 委員會ノ組織 第一節 委員ノ種類及員數

第二節 委員ノ選舉、辭任及補闕

- 八 常任委員ノ選舉ハ開院式ノ翌日之ヲ行フヲ例トス
- 九 常任委員ノ選舉ハ各部ニ於テ同時ニ之ヲ行フ
選舉ノ場所及時刻ハ議長之ヲ指定ス
- 一〇 常任委員ハ之ヲ各派所屬議員數ニ按分シ各派ヨリ豫メ申出テタル候補者ヲ各部ニ於テ選舉ス
- 各部ノ被選舉人ハ其ノ部員タルコトヲ要セス
- 一一 常任委員ハ召集ニ應シタル議員ヨリ之ヲ選舉ス
- 一二 臨時議會ニ於テ常任委員選舉ノ手續ヲ省略シ前議會ノ通繼續ス
- 一三 特別委員ノ選舉ハ議長ノ指名ニ依ルヲ例トス
- 一四 特別委員ノ指名ハ委員付託決議ノ當日之ヲ行フヲ例トス
- 一五 常任委員ノ補闕選舉ハ前任者ノ選出部ニ於テ推薦ノ方法ニ依ル
特別委員ノ補闕選舉ハ其ノ委員選舉ト同一ノ方法ニ依ル
- 一六 常任委員選舉ノ結果ハ部長ヨリ直ニ之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日之ヲ議院ニ報道シ

且衆議院公報ニ掲載ス

- 一七 特別委員指名ノ結果ハ委員付託ノ當日衆議院公報ヲ以テ之ヲ報道ス
- 一八 委員ヲ辭セムトスルトキハ書面ヲ議長ニ提出ス
- 一九 常任委員ノ辭任ハ議長院議ニ諮リテ之ヲ許可ス但シ急ヲ要スル場合ハ議長之ヲ許可ス
- 二〇 常任委員ノ補闕選舉ハ衆議院公報ニ掲載ノ後之ヲ行フコトヲ要ス
- 二一 特別委員ノ辭任ハ議長之ヲ許可スルヲ例トス
- 二二 委員ノ辭任及補闕ハ之ヲ衆議院公報ニ掲載ス
- 二三 委員ニシテ出席停止ヲ命セラレタルトキハ解任セララル

第三節 委員長及理事

- 二四 委員長及理事互選ノ日時ハ議長之ヲ指定シ其ノ補闕ノ場合ハ理事又ハ委員長之ヲ指定ス
- 二五 委員長及理事ノ互選ハ常任委員ニ在リテハ委員選舉ノ當日、特別委員ニ在リテハ委員選舉ノ翌日之ヲ行フヲ例トス

- 二六 臨時議會ニ於テ常任委員長及理事ノ互選手續ヲ省略シ前議會ノ通繼續シタルコトアリ
- 二七 委員長及理事互選ノ投票管理者ハ出席委員中ノ年長者之ニ當ル
- 二八 委員長及理事ノ互選ハ推薦又ハ指名ニ依ルヲ例トス
- 二九 委員長及理事互選ノ結果ハ投票管理者ヨリ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ衆議院公報ニ掲載シテ之ヲ報道ス
- 三〇 理事ノ員數ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ定ム
- 三一 既ニ決定シタル理事ノ員數ヲ増加ス
- 三二 委員長闕席又ハ退席ノ場合ハ理事其ノ職務ヲ代理ス
- 三三 委員長ノ辭任ハ委員會ニ於テ之ヲ決ス

第四節 分科

- 三四 豫算、決算、請願及建議ノ各委員ニハ分科ヲ設ク
- 三五 豫算委員ハ六分科、決算委員、請願委員及建議委員ハ各四分科ニ分ツヲ例トス
- 三六 分科ノ區分ハ之ヲ變更セサルヲ例トス
- 三七 分科所屬員ノ配置ハ略同數ト爲スヲ例トス

二二
二二
二三
二四
二四
二五
二五
二六
二六
二七

- 三八 分科所屬員ノ配置ハ各員ノ希望ヲ參酌シテ委員長之ヲ決ス
- 三九 補闕委員ハ前委員所屬ノ分科ニ屬ス
- 四〇 委員長ハ分科ニ屬セス理事ハ之ニ屬ス
- 四一 分科員ハ他ノ分科ニ兼務スルコトヲ得

第五節 主査

- 四二 分科ニハ主査ヲ置キ理事ヲ設ケサルヲ例トス
- 四三 主査ハ本務員中ヨリ之ヲ選定ス
- 四四 主査ノ互選ハ委員會ノ決議ニ依リ委員長ノ指名ニ一任スルヲ例トス
- 四五 分科ニ於テ主査ヲ互選スルトキハ委員長其ノ日時ヲ指定スルヲ例トス
- 四六 主査故障アルトキハ本務員中ヨリ主査代理ヲ選定ス
- 四七 主査ノ辭任ハ委員長之ヲ決シ若ハ委員會ニ諮リテ之ヲ決ス

第六節 小委員(委員中委員)

- 四八 委員會(分科會)ニ於テ小委員ヲ設ク

二八
二八
二九
二九
三〇
三一
三一
三一
三一
三一
三二
三二
三三
三四
三四

- 四九 小委員會ニハ小委員長ヲ置クヲ例トス 三五
 - 五〇 小委員長ハ小委員會ニ於テ之ヲ互選ス 三五
 - 五一 委員長(主査)小委員(分科ノ小委員)ノ一員トナリタルトキ小委員長ノ職務ヲ行フ 三七
 - 五二 委員長小委員ノ一員ニ非スシテ會議ニ出席シ小委員長ノ職務ヲ行フ 三七
 - 五三 小委員會ニ於テ小委員長ノ職務ヲ行フ者故障アルトキハ小委員ノ協議ニ依リ其ノ代理者ヲ選定ス 三七
 - 五四 小委員ノ辭任ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス 三八
- 第二章 會議**
- 第一節 開會、休憩及散會**
- 五五 議院會議日ニ於テモ委員會ヲ開ク 四三
 - 五六 議院ノ會議中ニ委員會ヲ開クニハ其ノ都度議院ノ許可ヲ受クルヲ要ス但シ連日開會ニスル場合ハ豫メ總括的ニ之ヲ受クルコトヲ得 四三
 - 五七 會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ議長ノ許可ヲ得テ議院ノ會議中ニ委員會ヲ開クコトヲ得 四三

ヲ得

四四

- 五八 委員長及理事互選ノ當日ハ審査ニ入ラサルヲ例トス但シ特別ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ 四五
- 五九 休會中ニハ委員會ヲ開カサルヲ例トス 四五
- 六〇 日曜日及祝祭日ニハ委員會ヲ開カサルヲ例トス 四六
- 六一 開會ノ日時ハ委員長(主査)之ヲ定メ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ定ム 四六
- 六二 議院又ハ議長ニ於テ委員會開會ノ日時ヲ指定ス 四六
- 六三 豫算、決算、請願及建議ノ各委員會ニ於テハ審査日割ヲ定ム 四七
- 六四 小委員會ノ開會日時ハ小委員長之ヲ指定シ又ハ小委員會ニ諮リテ之ヲ定ム 四八
- 六五 開會ノ通知ハ衆議院公報ヲ以テスルヲ例トス 四八
- 六六 委員ニ闕員アルトキハ其ノ補闕後會議ヲ開クヲ例トス 四八
- 六七 委員會議ヲ一時中止シテ協議懇談ヲ爲ス 四九
- 六八 休憩ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス 四九
- 六九 散會ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス 五〇

第二節 出席、發言

- 六六 委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ開會時刻前ニ委員長ニ其ノ旨届出ツヘキモノトス 五〇
- 七〇 委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ開會時刻前ニ委員長ニ其ノ旨届出ツヘキモノトス 五〇
- 七一 發言セムトスルトキハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス 五二
- 七二 質疑ノ爲數回ニ互リ發言ノ必要アルトキハ豫メ總括的ニ其ノ發言ノ許可ヲ受クルコトヲ得 五二
- 七三 發言ハ通告ノ順序ニ依リ之ヲ許可ス 五三
- 六通告ナキ發言ノ要求ニ對シテハ通告ヲ爲シタル者ノ發言ヲ終リタル後之ヲ許可ス 五三
- 七四 通告ヲ爲サスシテ發言ヲ求ムル者同時ニ二名以上アルトキハ委員長(主査)先要求者六ト認メタル者ヨリ順次之ヲ許可ス 五三
- 七五 發言通告多數ニ上ルトキハ各派所屬委員數ニ應シ順位ヲ定メ之ニ據テ發言セシムルヲ例トス 五四
- 七六 議事進行又ハ委員ノ身上ニ關スル發言ハ通告ノ順序ニ拘ラス直ニ之ヲ許可スルヲ例トス 五四

前項ノ發言ト雖他人ノ發言中ハ之ヲ許ササルヲ例トス

- 七七 發言議題外ノ事項ニ涉ルトキ之ヲ差止ム 五五
- 七八 委員長(主査)ハ其ノ席ヨリ簡單ナル質疑ヲ爲スコトヲ得 五六
- 七九 委員長(主査)其ノ席ヨリ討論ヲ爲サムトスルトキハ委員會(分科會)ニ諮ルヲ要ス 五七
- 八〇 請願委員長(主査)其ノ席ヨリ自己ノ紹介ニ係ル請願ノ紹介説明ヲ爲ス 五八
- 八一 委員長分科又ハ小委員ノ會議ニ出席發言ス 五八
- 八二 委員長他ノ委員會ニ出席シ所屬委員會ニ於ケル審査ノ結果ヲ説明ス 五八
- 八三 議案提出者ニ出席説明ヲ求ム 五九
- 八四 議案提出者ヨリ出席説明ノ要求アルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 五九
- 八五 建議委員會及其ノ分科會ハ豫メ提案者ニ對シ出席ヲ促シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ム 六〇
- 八六 請願委員會及其ノ分科會ハ豫メ紹介議員ニ對シ出席ヲ促シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ム 六〇
- 八七 請願紹介議員出席セサルトキ他ノ議員代テ説明ヲ爲ス 六一
- 八八 請願紹介議員ノ發言ハ請願ノ説明及質疑ニ對スル答辯ニ限ル 六一
- 八九 議長委員會ニ出席シ發言ヲ爲ス 六二

- 九〇 委員ニ非サル議員ニ出席説明ヲ求ム 六三
- 九一 委員ニ非サル議員ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 六四
- 九二 委員ニ非サル議員ノ發言ハ討論ニ涉ルコトヲ得ス 六四
- 九三 國務大臣及政府委員ト雖發言ヲ爲スニハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルヲ要ス 六四
- 九四 國務大臣及政府委員ニ出席説明ヲ求ム 六四
- 九五 閣席セル國務大臣ニ對シテ質疑ヲ爲シ書面ニ依ル答辯ヲ求ム 六五
- 九六 政府委員其ノ所屬官廳ノ所管事項全體ニ互リテ答辯ヲ爲ス 六六
- 九七 政府委員ニ非サル官吏ニ出席説明ヲ求ム 六六
- 九八 政府委員ニ非サル官吏ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 六七

第三節 秘密會及速記中止

- 九九 秘密會ハ委員長必要ト認メタルトキ又ハ委員會ノ決議若ハ政府ノ要求ニ依リ之ヲ開
シテ 六八
- 一〇〇 軍事、外交、政策ノ秘密ニ涉リ、議員ノ身上ニ關シ又ハ重要事項ノ協議ヲ爲ス爲秘
密會ヲ開ク 六八

- 一〇一 懲罰委員會ノ審査ハ秘密會ヲ以テス 六九
- 一〇二 秘密會ニ於テ議員ノ傍聽ヲ禁止ス 六九
- 一〇三 秘密會ニ於テ所管以外ノ政府委員ニ退席ヲ命ス 七〇
- 一〇四 秘密會ニ於テハ懲罰委員會ノ外速記ヲ附セサルヲ例トス 七〇
- 一〇五 秘密會ノ速記ハ之ヲ刊行セス 七〇
- 一〇六 速記ノ中止ハ委員長(主査)必要ト認メタルトキ又ハ委員會(分科會)ノ決議若ハ政
府ノ要求ニ依リ之ヲ爲ス 七二
- 一〇七 軍事、外交、政策ノ秘密ニ涉リ又ハ協議懇談ヲ爲ス等ノ爲速記ヲ中止ス 七二

第四節 委員會ノ秩序

- 一〇八 不穩ト認ムル發言ニ對シ委員長注意ヲ爲シ又ハ取消ヲ命ス 七三
- 一〇九 發言取消ノ命ニ應セサル委員ノ發言ヲ禁止ス 七五
- 一一〇 傍聽中發言シタル議員ニ退場ヲ命ス 七六
- 一一一 委員會ニ於テ懲罰事犯起リタルトキハ委員長ハ直ニ書面ヲ以テ議長ニ報告ス 七七

第三章 議案ノ審査

第一節 審査ノ開始及期間

- 一一二 豫算案ノ提出アリタルトキハ議長ハ直ニ之ヲ議院ニ報道シ且當日ノ衆議院公報ニ掲載ス
- 一一三 豫算案ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノトス
- 一一四 本豫算案及特別議會ノ始ニ提出セラルル追加豫算案ノ審査ハ議院會議ニ於テ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ終了シタルトキ又ハ略終了シタルトキヨリ開始スルヲ例トス
- 一一五 豫算案ノ審査期間ハ其ノ提出アリタル日ヨリ之ヲ起算ス
- 一一六 撤回ノ上再ヒ提出セラレタル豫算案ノ審査期間ハ更新ス
- 一一七 豫算委員長ヨリ審査期間延長ニ關スル要求書ヲ議長ニ提出ス
- 一一八 豫算案ノ審査期間延長セラル
- 一一九 豫算案ノ審査ヲ法定期間内ニ終了セサリシトキ豫算委員ヲシテ再ヒ其ノ審査ヲ爲

七九

七九

八〇

七九

八三

八四

八四

八五

八六

サシム

- 一二〇 豫算案ノ一部ヲ豫算委員ヲシテ再ヒ審査ヲ爲サシム
- 一二一 決算ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノトス
- 一二二 決算ノ審査ハ會計検査院ノ報告ニ對スル政府ノ辯明書ヲ待テ之ヲ開始スルヲ例トス
- 一二三 決算ハ議院ノ審議了ラサルモ次ノ會期ニ再ヒ提出セラレス
審議未了ノ決算ハ後ノ會期ニ於テ之ヲ審査ス
- 一二四 議院ノ審議了ラサル決算ハ後ノ會期ニ於テ議長其ノ審査ヲ命シ又ハ委員長任意ニ其ノ審査ヲ開始ス
- 一二五 國有財産増減總計算書ハ決算委員ニ付託セラル
- 一二六 國有財産現在額總計算書ハ決算委員ニ於テ審査ス
- 一二七 審議未了ノ國有財産増減總計算書ヲ後ノ會期ニ於テ審査ス
- 一二八 請願ノ審査ハ文書表調製後之ヲ開始スルヲ例トス
- 一二九 請願ノ至急審査ヲ命セラル
- 一三〇 建議案ノ審査ハ印刷配付ノ後之ヲ開始スルヲ例トス

八七

八七

八八

八八

八八

八八

八九

八九

九二

九三

九四

九四

九四

九五

九六

- 一三一 懲罰事犯ノ審査ニ期限ヲ附セラル 九六
- 一三二 特別委員ノ審査ニ期限ヲ附セラル 九七
- 一三三 分科ノ審査ニ期限ヲ附ス 九八
- 一三四 小委員ノ審査ニ期限ヲ附ス 一〇〇
- 一三五 審査期限ヲ延期シタルコトアリ 一〇二
- 一三六 審査ヲ終了シテ報告シタル事件ヲ再ヒ同一又ハ他ノ委員ニ付託セラル 一〇三
- 一三七 委員ニ付託中ノ議案撤回セラル 一〇四

第二節 議案ノ趣旨辯明、質疑及討論

- 一三八 政府提出案ニ付テハ審査ノ始ニ於テ國務大臣又ハ政府委員ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス 一〇五
- 一三九 議員提出案ニ付テハ提出者ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス 一〇六
- 一四〇 質疑及答辯ハ口頭ヲ以テスルヲ例トス 一〇六
- 一四一 質疑ハ議案全部ニ付テハ爲スヲ例トス 一〇七
- 一四二 質疑ノ終局ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス 一〇八

一四三 討論ハ議案全部ニ付テハ爲スヲ例トス 一〇八

一四四 討論ヲ省略ス 一〇八

一四五 討論ノ終局ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス 一〇九

一四六 政府提出案ニ付テハ國務大臣若ハ政府委員ニ質疑ヲ爲シタル後討論ニ移ルヲ例トス 一〇九

一四七 貴族院提出案ニ付テハ政府ノ意見ヲ聽キタル後質疑ニ移ルヲ例トス 一一〇

一四八 議員提出案ニ付テハ提出者若ハ政府委員ニ質疑ヲ爲シタル後討論ニ移ルヲ例トス 一一〇

一四九 貴族院ノ修正ヲ經タル議案ハ之ヲ原案トシテ審査スルヲ例トスルモ修正前ノ政府提出案ヲ併セテ議題ニ供シタルコトアリ 一一一

一五〇 同一委員ニ付託セラレタル政府提出案ト議員提出案ト内容同種ナルトキハ其ノ孰レカノ一案ヲ主トシ又ハ兩案ヲ共ニ審査ス 一一二

一五一 同一委員ニ付託セラレタル貴族院提出案ト議員提出案ト内容同種ナルトキ貴族院提出案ヲ主トシテ審査ス 一一四

第三節 審査ノ方法

- 一五二 同一委員ニ付託セラレタル數箇ノ議員提出案内同種ナルトキハ其ノ數案ヲ一括シテ議題ニ供シ之ヲ審査スルヲ例トス
- 一五三 同一委員ニ付託セラレタル數箇ノ議案内別種ナルトキハ先ツ議題ニ供スヘキ順序ヲ定ム但シ各議案牽聯セル場合ハ一括シテ之ヲ議題ニ供シタルコトアリ
- 一五四 付託セラレタル議案カ他ノ議案ト牽聯スル爲其ノ審査ヲ一時延期ス
- 一五五 付託ヲ受ケタル議案ト牽聯スル議案ノ提出セラルル迄其ノ審査ヲ延期ス
- 一五六 別箇ノ委員ニ付託セラレタル議案牽聯スル爲兩委員會合會シテ審査ヲ爲ス
- 一五七 兩分科合會シテ審査ヲ爲ス
- 一五八 委員分擔シテ審査ヲ爲ス
- 一五九 委員會ノ審査ニ資スル爲總議員ヨリ意見ヲ徵ス
- 一六〇 本豫算案ノ審査ハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質疑ヲ終了シタル後分科ニ移シ其ノ報告ヲ待テ更ニ總會ニ付ス
- 一六一 追加豫算案ハ概ネ總會ノミニ於テ之ヲ審査スルヲ例トス但シ特別議會ノ始ニ提出セラルルモノハ本豫算案審査ノ例ニ依ル
- 一六二 追加豫算案ヲ直ニ分科ニ於テ審査ス

一一四 一一五 一一七 一一九 一二〇 一二一 一二二 一二三 一二四

- 一六三 追加豫算案ヲ小委員ノ審査ニ付ス
- 一六四 豫算案ハ全部ヲ一括シテ討論ニ付ス
- 一六五 決算ノ審査ハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質疑ヲ終了シタル後分科ニ移シ其ノ報告ヲ待テ更ニ總會ニ付ス
- 一六六 決算ハ會計検査院ノ検査報告ト對照シ政府ノ辯明書ヲ參考トシテ之ヲ審査スルヲ例トス
- 一六七 特別ノ事由アルトキハ決算ヲ分科ニ移サスシテ審査シ又ハ小委員若ハ分科聯合會ニ付シテ審査ス
- 一六八 國有財産増減總計算書ハ決算委員會ニ於テ小委員ノ審査ニ付スルヲ例トス
- 一六九 國有財産現在額總計算書ハ國有財産増減總計算書ト共ニ小委員ノ審査ニ付スルヲ例トス
- 一七〇 建議案ハ印刷配付ノ後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ付スルヲ例トス
- 一七一 請願ハ文書表調製後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ付スルヲ例トス

一二五 一二五 一二六 一二六 一二七 一二七 一二八 一二九 一三〇 一三一 一三二 一三三

- 一七二 請願ハ其ノ審査急ヲ要スルトキハ文書表調製ノ後直ニ總會ニ於テ之ヲ審査ス 一三三
- 一七三 請願ヲ小委員又ハ理事ノ審査ニ付ス 一三三
- 一七四 建議案及請願ハ審査日程ノ順序ニ依リ之ヲ審査ス 一三五
- 一七五 建議案及請願ノ審査日程ハ分科ニ在リテハ各省所管別ニ呈出ノ順序ニ依リ主査之ヲ定メ總會ニ在リテハ分科ノ順序ニ依リ委員長之ヲ定ム
- 延期セラレタル建議案及請願ヲ審査日程ニ掲載スル場合ニ於テモ亦前項ノ例ニ依ル
- 一七六 建議案及請願ノ審査日程ハ審査ノ都合ニ依リ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得 一三五
- 一七七 審査日程ニ掲載セラレタル同種ノ建議案又ハ請願ヲ一括シテ議題ニ供ス 一三六
- 一七八 審査日程ニ上ラサル建議案又ハ請願ヲ日程ニ追加スルコトヲ得 一三七
- 一七九 請願ノ紹介説明ヲ爲ス者ナキトキハ請願書ニ依リテ之ヲ審査スルヲ例トス 一三七
- 一八〇 分科ノ審査ヲ了リ其ノ報告ヲ受ケタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ直ニ總會ニ於テ審査ス 一三八
- 一八一 委員會ニ於テ既ニ審査ヲ了リタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ其ノ審査ヲ省略シ直ニ議院ニ報告ス 一三九
- 一八二 數分科ノ所管ニ互ル建議案又ハ請願ハ主タル事項ノ屬スル分科ニ於テ審査スルヲ

例トス

一三九

- 一八三 建議案ニ付キ本會議即決ノ要求アリタルトキハ建議委員會ノ議ヲ經テ委員長ヨリ要求書ヲ議長ニ提出ス 一四〇

第四節 動議

一四〇

- 一八四 動議ハ一人以上ノ賛成ヲ以テ成立ス 一四〇
- 一八五 審査事項ニ先チ表決ノ必要アル動議ハ先決問題トス 一四一
- 一八六 數箇ノ先決動議成立シタルトキハ委員長(主査)其ノ表決ノ順序ヲ定ム 一四一
- 一八七 動議ハ其ノ發議者不在ノ場合ニ於テモ之ヲ採決ス 一四二
- 一八八 動議ノ撤回ハ提出者全部ノ請求ヲ要スルモ賛成者ノ同意ヲ要セス 一四三
- 一八九 動議ノ撤回ハ之ヲ許可スルヲ例トス 一四三

第五節 修正

一四三

- 一九〇 修正ノ動議ハ其ノ案ヲ具シテ提出スルヲ例トス 一四三
- 一九一 議案ヲ分合シ、其ノ事項ヲ擴張シ又ハ其ノ種別、性質若ハ表題ヲ變更スルハ修正ノ

- 一四四 範圍内トス
- 一九二 分科又ハ小委員ノ修正報告ハ委員會ニ於テ修正案ト認ム
- 一九三 修正案ヲ起草セシムル爲小委員ヲ設ケ又ハ協議會ヲ開ク
- 一九四 修正案原案共ニ否決セラレタル場合ニ廢棄スヘカラサルモノト決シタルトキハ小委員ヲ設ケ又ハ協議會ヲ開キ修正案ヲ起草セシムルヲ例トス
- 一九五 前號ノ場合ニ於テ先ニ否決セラレタル案ヲ修正案トシテ再ヒ之ヲ議題ニ供シタルコトアリ

第六節 審査ノ権限

- 一九六 豫算委員會ニ於テ豫算案ノ編成替ヲ求ムルノ議決ヲ爲ス
- 一九七 豫算案ニ關係アル法律案又ハ緊急勅令承諾案ノ審査終了前ニ豫算案ヲ議決ス
- 一九八 豫算ノ款項ヲ新設シ又ハ其ノ金額ヲ増加スル修正ハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 一九九 既定繼續費ノ總額、年限、年割額ノ改定ハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 二〇〇 決算ニ付テハ其ノ是認スヘキヤ否ヲ審査シ是認スヘカラサルモノニ付テハ不法又ハ不當ナリト議決ス

國有財産現在額總計算書及國有財産増減總計算書ノ審査ハ決算ノ例ニ準ス

- 一六一 二〇一 決算委員會ニ於テ不法又ハ不當ト認メタル場合ニ其ノ處分ヲ政府ニ要求ス
- 一六二 二〇二 懲罰委員會ニ於テ懲罰ヲ科スヘキモノニ非スト認ムルトキハ懲罰事犯ニ非スト議決ス
- 一六三 二〇三 併發シタル二箇ノ懲罰事犯ニ對シ各別ニ懲罰ヲ科スヘキモノト議決ス
- 一六四 二〇四 請願書規程ニ合ハスト認ムルトキハ之ヲ却下スヘキモノト議決シ其ノ旨報告ス但シ其ノ書式ノ一部不備ナルトキハ之ヲ審査シタルコトアリ
- 一六八 二〇五 請願書ノ取下ヲ求ムル者アルトキハ概ネ之ヲ許可ス
- 一六八 二〇六 請願ノ一部ヲ採擇スヘキコトヲ議決シ又ハ之ヲ分割シテ各部ニ付採擇スヘキヤ否ヲ議決ス
- 一六八 二〇七 請願ヲ政府又ハ他ノ委員會ニ參考トシテ送付スヘキモノト議決シタルトキハ其ノ旨特種報告ヲ爲ス
- 一七一 二〇八 請願ノ採擇セラレタルモノニ對シ政府ニ其ノ處理ノ結果ノ報告ヲ求ム
- 一七四 二〇九 請願ト同一趣旨ノ他ノ議案トノ關係ニ對スル請願委員會ノ疑義及議長回答

第四章 表決及議決

第一節 表決

- 二一〇 採決ノ方法ハ單ニ異議ノ有無ヲ諮リ又ハ舉手若ハ起立ニ依ルヲ例トス 一七七
- 二一一 表決ニ付スヘキ問題ハ委員長(主査)之ヲ定ムルヲ例トス但シ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ定メタルコトアリ 一七七
- 二一二 委員長表決ヲ採ラムトスルトキハ問題ヲ可トスルモノヲ先ニスルヲ例トス 一七八
- 二一三 修正案ハ原案ヨリ先ニ採決ス 一七八
- 二一四 分科ノ修正案ト委員ノ修正案トアル場合ニハ委員ノ修正案ヲ先ニ採決スルヲ例トス 一七九
- 二一五 委員ヨリ數箇ノ修正案提出セラレタルトキハ委員長(主査)表決ノ順序ヲ定ム 一七九
- 二一六 否決說(削除說)アルトキト雖原案ニ付テ採決スルヲ例トス 一八一
- 二一七 承諾ヲ求ムル件ハ承諾說ニ付テ採決スルヲ例トス 一八一
- 二一八 數箇ノ議案ヲ一括シテ採決ス 一八二

二一九 數箇ノ修正案中共通事項アルトキハ其ノ共通ノ部分ヨリ又ハ共通ナラサル部分ヨリ採決ス 一八二

二二〇 法律案ニ對スル數箇ノ修正案中内容ヲ同ウスルモノアルモ字句異ナル場合ニ於テ共通事項ト認メス各別ニ採決ス 一八四

二二一 附帶決議又ハ希望條項若ハ警告ハ本案ト別ニ採決ス 一八五

二二二 委員長ハ表決ニ加ハラス 一八五

二二三 表決ノ結果可否同數トナリタル場合ニ於ケル委員長(主査)ノ裁決ハ一樣ナラス 一八六

二二四 分科ノ兼務員ハ表決ニ加ハラス 一八八

二二五 表決ノ結果ノ宣告ニ對シ異議アリタル場合ニ於テハ更ニ採決ス 一八八

二二六 採決ニ關スル宣告ニ對シ異議アリタル場合ニ於テ更ニ採決ス 一九〇

二二七 討論終局シタルトキ委員會(分科會)ニ諮リテ採決ヲ延期シタルコトアリ 一九一

第二節 議決

- 二二八 附帶決議又ハ希望條項若ハ警告ヲ附シテ議決ス 一九一
- 二二九 二箇ノ議案ニ對シ同一ノ附帶決議又ハ希望條項ヲ附シテ議決ス 一九二

- 二三〇 請願委員會ニ於テ法律案ヲ具シテ議決ス 一九三
- 二三一 議院會議ニ於テ既ニ審議ヲ了リ又ハ委員會ニ於テ既ニ審査ヲ了リタル議案ト同一
趣旨ノ内容ヲ有スル議案ハ議決ヲ要セサルモノト議決スルヲ例トス
- 二三二 決算委員會ニ於テ上奏案ヲ附シテ議決ス 一九六
- 二三三 議案ノ條項中闕字ヲ存シテ議決ス 一九九
- 二三四 修正議決ノ結果整理ヲ要スルモノアルトキハ委員長ニ一任スルヲ例トス 二〇〇
- 二三五 審査終了シタル議案ニ付再審査ヲ爲ス 二〇一

第五章 報告

第一節 委員長報告

- 二三六 議案其ノ他ノ事件ノ審査終了スルトキハ委員長ヨリ報告書ヲ議長ニ提出ス 二〇三
- 二三七 報告書ニハ審査ノ結果ノミヲ記載スルヲ例トス 二〇三
- 二三八 豫算案ノ修正、決算及請願ニ關スル報告書ハ特種ノ形式ニ依ル 二〇四
- 二三九 資格審査ニ關スル報告書ノ形式ハ一定セス 二〇五

- 二四〇 報告書ノ訂正ハ書面又ハ口頭ヲ以テス 二〇八
- 二四一 議長ニ提出シタル報告書ヲ撤回ス 二〇九
- 二四二 委員長ハ議案カ議院會議ノ議題ト爲リタルトキ口頭報告ヲ爲ス 二一〇
- 二四三 委員長ハ委員會ノ報告ニ併セテ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得ス 二一一
- 二四四 審査ヲ了リタル議案ニ付報告書提出ノ際委員長ヨリ又ハ委員會ノ決議ヲ以テ議院
會議ニ至急上程セムコトヲ求ム 二一二
- 二四五 委員ヲシテ委員長ニ代テ報告ヲ爲サシメムトスルトキ委員長任意ニ之ヲ依託ス 二一三
- 二四六 委員會ノ審査終了前ニ其ノ經過ヲ委員長口頭ヲ以テ議院ニ報告ス 二一三
- 二四七 審査終了セザルトキハ報告書ヲ提出セス 二一七

第二節 少數意見

- 二四八 少數意見書ハ少數意見者ノ連名ヲ以テ議長ニ提出ス 二一八
- 前項ノ意見書ヲ提出セムトスルトキハ其ノ旨委員會ニ於テ豫告スルヲ例トス 二一八
- 二四九 少數意見書ニハ意見ノ主旨ノミヲ記載スルヲ例トス 二一八
- 二五〇 委員長少數意見者中ニ加ハリタルコトアリ 二一九

- 二五一 少數意見ハ委員長報告ニ次テ提出者之ヲ述フ 二二〇
- 二五二 少數意見ハ報告ニ止メ併セテ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得ス 二二〇
- 二五三 委員長少數意見者ノ一人トシテ少數意見ヲ述フ 二二〇
- 二五四 少數意見書ヲ撤回ス 二二一

第三節 分科及小委員ノ報告

- 二五五 分科ノ審査了リタルトキハ主査ヨリ其ノ報告書ヲ委員長ニ提出ス但シ請願及建議
ニノ分科ニ於テハ之ヲ省略ス 二二三
- 二五六 分科會ニ於ケル審査ノ經過及結果ハ總會ニ於テ主査口頭ヲ以テ之ヲ報告ス 二二三
- 二五七 分科報告ノ訂正ハ口頭ヲ以テス 二二四
- 二五八 小委員會ニ於ケル經過及結果ハ委員會ニ於テ小委員長口頭ヲ以テ之ヲ報告ス 二二五

第六章 兩院協議會

- 二五九 兩院協議委員ノ選舉方法ハ議長ノ指名ニ依ルヲ例トス 二二七
- 二六〇 兩院協議委員議長及副議長互選ノ日時ハ議長之ヲ指定ス 二二七

- 二六一 兩院協議委員議長及副議長ノ互選ハ推薦ニ依ルヲ例トス 二二八
- 二六二 國務大臣又ハ政府委員兩院協議會ニ出席發言ス 二二八
- 二六三 兩院協議會ニ於テ國務大臣又ハ政府委員ノ出席説明ヲ求ム 二二八
- 二六四 兩院協議會規程取扱方ニ關シ兩院議長協定ヲ爲ス 二二九
- 二六五 兩院協議會ニ於ケル議案ハ協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ議決案ヲ原案トシ其ノ
請求ヲ爲シタル議院ノ議決案ヲ修正案ト認ムルヲ例トス 二三〇
- 二六六 二箇ノ議案ヲ同一兩院協議委員ノ協議ニ付セラル 二三一
- 二六七 兩院協議會ノ議事ハ兩院議決ノ一致セサル事項及當然影響ヲ受タヘキ事項ノ外ニ
涉ルコトヲ得ス 二三三
- 二六八 兩院協議會ニ於ケル各院ノ議決ノ理由ニ關スル説明ハ協議會ノ請求ヲ爲シタル議
院ノ委員先ニ之ヲ爲シ又ハ其ノ請求ニ應シタル議院ノ委員先ニ之ヲ爲シタルコトアリテ
一樣ナラス 二三五
- 二六九 兩院協議會ニ於テ小委員ヲ設ク 二三五
- 二七〇 各協議委員議長副議長小委員ノ一員トナリタルコトアリ 二三七
- 二七一 小委員ノ審査ニ期限ヲ附ス 二三八

- 二七二 兩院協議會ニ於テ委員ノ提出シタル修正案アルトキハ先ツ之ヲ採決シ次ニ協議會ヲ請求シタル議院ノ議決案ニ付テ採決シ終リニ協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ議決案ニ付テ採決ス 二三九
 - 二七三 表決ノ際出席委員ノ數ヲ對比スルニハ當日ノ議長ヲ加ヘテ計算シ其ノ超過シタル委員ヲ減除スル場合ニハ當日ノ議長ヲ除キテ抽籤ヲ行フ 二四一
 - 二七四 表決ノ方法ハ舉手又ハ起立ニ依ルヲ例トス 二四三
 - 二七五 修正議決ノ結果整理ヲ要スルモノアルトキハ協議會議長ニ一任スルヲ例トス 二四五
 - 二七六 兩院協議會ノ報告書ハ各院ノ協議委員議長各一通ヲ作り其ノ所屬議院ノ議長ニ提出ス 二四六
 - 二七七 報告書ノ書式ハ一定セス 二四七
 - 二七八 兩院協議會ノ經過及結果ハ議場ニ於テ協議委員議長之ヲ報告ス 二五二
 - 二七九 協議會ノ議事ニハ速記ヲ附シ之ヲ刊行ス 二五二
- 第七章 部會**
- 二八〇 議員ノ部屬定マリタルトキハ部長及理事ノ互選ヲ行フ 二五三

- 互選ノ場所及時刻ハ議長之ヲ指定ス 二五三
- 二八一 召集ニ應セサル議員ハ部長及理事ニ選舉セサルヲ例トス 二五三
- 二八二 部長ニハ部員中ノ年長者ヲ理事ニハ部員中ノ年少者ヲ推薦スルヲ例トス 二五四
- 二八三 臨時議會ニ於テハ前議會ノ部長及理事其ノ任ヲ繼續ス 二五四
- 二八四 臨時議會ニ於テ前議會ノ部長及理事繼續ノ場合部長ニ闕員アルトキハ之ヲ補充スルヲ例トス 二五五
- 二八五 部長及理事互選ノ結果ハ投票管理者ヨリ直ニ之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス 二五六
- 二八六 部會開會ノ日時ハ部長之ヲ定ム 二五六
- 二八七 部長理事共ニ故障アル場合ハ出席者中ノ年長者又ハ部員中ヨリ推薦セラレタル者之ヲ代理ス 二五七
- 二八八 部室ハ委員室ヲ以テ之ニ充ツ 二五七
- 二八九 部會ノ會議録ハ筆記ヲ以テ作成ス 二五八

第八章 委員會議錄、參考書及衆議院公報

- 二九〇 委員會議錄ハ速記又ハ筆記ヲ以テ之ヲ作成ス 二五九
- 二九一 參考書、修正意見書、修正議決ノ條項、關係法規ノ條文又ハ政府ノ答辯書ヲ委員會議錄ニ掲載ス 二六〇
- 二九二 軍事、外交、政策等ニ關シ秘密ヲ要スル發言ヲ會議錄中ヨリ省ク 二六〇
- 二九三 會議錄ニ誤謬アルトキハ委員長又ハ發言者ヨリ之カ訂正ヲ求ムルコトヲ得 二六二
- 二九四 政府ニ參考書ノ提出ヲ要求ス 二六二
- 二九五 委員ノ選定、委員會ノ開會及其ノ經過並結果等ハ之ヲ衆議院公報ニ掲載ス 二六二

附 錄

- 第一表 議會會期及委員會開會表 一
- 第二表 特別委員種別表 七
- 第三表 特別委員員數表 一三
- 第四表 特別委員選舉期日表 一九

- 第五表 特別委員選定方法一覽表 二五
- 第六表 常任及特別委員長、理事互選期日表 三一
- 第七表 常任及特別委員長、理事互選方法一覽表 三七
- 第八表 常任及特別委員理事員數表 四四
- 第九表 分科區分及分科所屬員配置表 五九
- 第十表 小委員選定表 八三
- 第十一表 懲罰委員會議決種別件數表 一一三
- 第十二表 兩院協議委員選定方法一覽表 一一六
- 第十三表 兩院協議會經過一覽表 一二九

衆議院委員會先例彙纂

第一章 委員會ノ組織

第一節 委員ノ種類及員數

一 常任委員ハ豫算、決算、請願、懲罰及建議委員ノ五種トス

常任委員ハ第一回議會以後第五回議會迄ハ豫算、懲罰及請願委員ノ三種ナリシカ第六回議會ニ於テ初テ政府ヨリ決算ノ提出アリタル爲動議ヲ以テ決算委員分十七名ヲ設ケタリ第七回議會ハ臨時議會ナリシ爲決算委員ヲ設ケス第八回議會(明治二十八年二月五日)ニ至リ衆議院規則第四十四條ヲ改正シテ之ニ決算委員ヲ加ヘ常任委員ヲ豫算、決算、請願及懲罰委員ノ四種ト爲シ更ニ第六十三回議會ニ於テ動議ヲ以テ建議委員分十五名ヲ設ケ爾來此ノ例ニ依リ五種ノ常任委員ヲ置クコトトナレリ

參看 二號

議第二〇條
衆第四四條

第一章 委員會ノ組織 第一節 委員ノ種類及員數

(二、三)

二

二 常任委員ノ員數ハ豫算委員六十三名、決算委員、請願委員及建議委員各四十五名、懲罰委員二十七名トス
常任委員ノ員數ハ左表ノ如キ改正ヲ經テ現在ニ及ヘリ

委員種別	議會回次	第一回議會	第二回議會	第八回議會	第十七回議會(現行)
豫算委員		六三		四五	六三
決算委員					四五
請願委員		三六		三六	四五
懲罰委員		二七		一八	二七
建議委員	第六十三回議會以來動議ヲ以テ設ケ其ノ員數ハ四十五名トス				

議 第二〇條
第七八條
第九四條
第一〇〇條
第二二七條

三 特別委員ハ議案ノ審査又ハ文案起草若ハ或事項ノ調査等ノ爲ニ之ヲ設ク

以下書目直シ

特別委員ハ議院法第二十條ニ依リ設ケラレ政府提出ノ法律案及承諾案並貴族院提出ノ法律案ハ議院法第二十八條及衆議院規則第九十四條ニ依リ之ニ付託スルヲ原則トシ議員提出ノ議案ハ議院會議ニ於テ委員付託ノ動議可決セラレタルトキ特別委員ヲ設ケテ審査セシム又特別委員ハ議院法第七十八條ニ依リ議員ノ資格ヲ審査セシムル爲、衆議院規則第一百條ニ依リ議院會議ニ於ケル修正議決ノ結果ノ整理ヲ爲サシムル爲、同第二十七條ニ依リ修正案原案共ニ過半數ノ贊成ヲ得ス廢棄スヘカラサルモノト決シ特ニ起案ヲ爲サシムル爲其ノ他文案ノ起草、或事項ノ調査、或事件ニ付政府ト交渉等ヲ爲サシムル爲ニモ亦設ケラル殊ニ開院式、勅語奉答文案ハ第二十一回議會以來毎會期委員ヲ設ケテ起草セシムルノ例ナリ

(四) 議院法第七十八條ニ依リ議員ノ資格ヲ審査スル爲設ケラレタル例
第二十六回議會 明治四十三年一月二十二日ノ議院會議ニ於テ議員中村舜次郎君ノ資格審査ノ爲十八名ノ委員ヲ設ク

(五) 衆議院規則第一百條ニ依リ修正ノ整理ヲ爲ス爲設ケラレタル例
第三回議會 明治二十五年六月八日ノ議院會議ニ於テ野出銅三郎君提出登記法改正法律案ヲ修正議決シ其ノ條項及字句ノ整理ノ爲九名ノ委員ヲ設ク

(六) 衆議院規則第二百二十七條ニ依リ特ニ起案ヲ爲ス爲設ケラレタル例
第一章 委員會ノ組織 第一節 委員ノ種類及員數 (三) 三

第一回議會 明治二十四年二月十四日ノ議院會議ニ於テ明治二十四年度歳入歳出總豫算案中文部省所管ニ付原案修正案共ニ否決トナリタルトキ更ニ起案ヲ爲サシムル爲九名ノ委員ヲ設ク

第六回議會 明治二十七年五月二十四日ノ議院會議ニ於テ政府提出豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案ノ原案修正案共ニ否決トナリタルトキ更ニ起案ヲ爲サシムル爲九名ノ委員ヲ設ク

(四) 文案起草ノ爲設ケラレタル例

第五十二回議會 昭和元年十二月二十六日ノ議院會議ニ於テ 大正天皇崩御ニ付奉悼上奏書捧呈ニ決シ其ノ文案起草ノ爲十八名ノ委員ヲ設ク

(五) 或事項調査ノ爲設ケラレタル例

第五十一回議會 大正十五年二月二十七日ノ議院會議ニ於テ關直彦君提出議員梅田寛一君ノ行動ニ關シ調査委員ヲ設クヘシトノ緊急動議ヲ可決シ十八名ノ委員ヲ設ク

第六十五回議會 昭和九年二月十五日ノ議院會議ニ於テ議院岡本一巳君ノ發言ニ關シ調査委員ヲ設ケテ事實ノ真相ヲ明ラカニスヘシトノ動議ヲ可決シ十八名ノ委員ヲ設ク

(六) 政府ト交渉セシムル爲設ケラレタル例

第一回議會 明治二十四年二月二十六日ノ議院會議ニ於テ明治二十四年度歳入歳出總豫算案ニ關

了り別加

シ同月二十四日政府ヨリ覆牒アリ之ニ對シ政府ト交渉セシムル爲九名ノ委員ヲ設ク

第四回議會 明治二十六年二月十三日ノ議院會議ニ於テ明治二十六年年度歳入歳出總豫算案中ノ憲

法第六十七條ニ依ル歳出(海軍繼續費)ニ關シ同月十日 勅語ヲ賜リタルヲ以テ其ノ進行ニ關シ

政府ト交渉セシムル爲九名ノ委員ヲ設ク

事例ハ件數ヲ以テ附録第二表ニ之ヲ掲ク

四 特別委員ノ名稱ハ付託件數ノ増減アルモ之ヲ變更スルコトナシ

特別委員ノ名稱ハ委員選定ノ際議院會議ニ於テ付託セラレタル議案又ハ事件ノ件名ヲ以テ表示シ付託案件二件以上ノ場合ハ外何件委員トシテ之ヲ表示ス而シテ付託案件中審査ヲ了リ又ハ新ニ他ノ案件ヲ併セ付託セラルルモ當初ノ名稱ヲ用ヒ之ヲ變更セサルノ例ナリ然レトモ委員併合ノ場合ハ名稱ヲ變更ス

五 特別委員ノ員數ハ九名又ハ其ノ倍數トス

特別委員ノ員數ハ衆議院規則第六十三條ニ依リ九名トス而シテ付託案件ノ種類性質等キ由リ之ヲ增加スル場合モ亦總テ九ノ倍數ニ據ルヲ例トス

(衆第六三條)

六 既ニ決定シタル特別委員ノ員數ヲ增加ス

特別委員既ニ決定シタル後更ニ他ノ議案ヲ併託セラレ又ハ付託議案重要ナルニ依リ其ノ員數ヲ増加シタルコトアリ此ノ場合ニ於テモ其ノ増加員數ハ九ノ倍數ニ據ル其ノ事例左ノ如シ

事例
並直及追加

第二十一回議會 明治三十七年十二月三日ノ議院會議ニ於テ相續稅法案ヲ議スルニ當リ恆松隆慶君ノ發議ニ依リ該案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ數ヲ十八名ニ決シタルモ其ノ選定前登錄稅法中改正法律案ノ審査ニ移リタルトキ同君ヨリ「該案ノ審査ハ前ノ相續稅法案ノ委員ニ併セテ付託シ其ノ人數ヲ二十七名ニ改メタシ」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ

第二十七回議會 明治四十四年一月二十四日九名ノ委員ニ付託セラレタル國稅徵收法中改正法律案ニ付二月二十一日ノ議院會議ニ於テ菅原傳君ヨリ「該案ハ重要ノ議案ナルニ依リ更ニ委員九名ヲ増加シテ十八名ト爲シタシ」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ
同年二月二十八日ノ議院會議ニ於テ二月二十一日委員付託トナリタル北海道拓殖經營案基礎

確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案外二件ニ付菅原傳君ヨリ「右各案ハ重要ナル議案ナルニ依リ更ニ委員九名ヲ増加シテ十八名ト爲シタシ」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ

第四十六回議會 大正十二年三月一日ノ議院會議ニ於テ工場法中改正法律案及工場労働者最低年齡法案ヲ議スルニ當リ岩崎勳君ヨリ「兩案ヲ一括シテ職業紹介法中改正法律案外四件ノ委員ニ併セテ付託シ且特ニ其ノ委員ノ數ヲ十八名ニ増加シ又追加ノ分九名ハ新ニ議長ニ於テ指名セラレムコトヲ望ミマス」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ

同年三月二十日ノ議院會議ニ於テ瓦斯事業法案ヲ議スルニ當リ鈴木錠藏君ヨリ「該案ハ電力政策實施ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託シ委員ノ數ヲ十八名ニ増加シ追加ノ分ハ議長ニ於テ指名アラムコトヲ望ミマス」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ

第四十九回議會 大正十三年七月十五日ノ議院會議ニ於テ所得稅法中改正法律案ヲ議スルニ當リ作間耕逸君ヨリ「本案ハ營業稅法廢止法律案ノ委員ニ併セテ付託シ尙其ノ委員ノ數ヲ特ニ二十八名ニ増加セラレムコトヲ望ミマス」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ

第五十回議會 大正十四年一月二十九日ノ議院會議ニ於テ大學特別會計法中改正法律案ヲ議スルニ當リ作間耕逸君ヨリ「本案ハ政府提出在外國專管居留地特別會計法廢止法律案外一件ノ委員ニ更ニ九名ノ追加増員ヲ爲シ、右委員ニ併サレムコトヲ望ミマス」トノ動議提出セラレ院議

之ヲ可決セリ

第五十二回議會 昭和二年二月十七日ノ議院會議ニ於テ北海道農地特別處理法案ヲ議スルニ當リ
砂田重政君ヨリ「本案ハ更ニ審議ヲ重ヌル爲特別委員九名ヲ十八名ニ増加シ其ノ増加委員ハ議
長ニ於テ指名再議セラレムコトヲ望ミマス」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決セリ

參看 三一號

七 二箇ノ特別委員ヲ併合ス

既ニ選定セラレタル二箇ノ特別委員ヲ併合シテ一箇ノ特別委員ト爲シタルコトアリ而シテ此ノ場合
ニ於テハ委員ノ名稱ヲ變更セリ又同一人ニシテ併合前ノ各特別委員ノ委員タリシ者アリタル爲議長
ニ於テ其ノ不足ヲ補充セリ事俣左ノ如シ

第二十一回議會 明治三十八年一月二十六日ノ議院會議ニ於テ「各國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀
行券證券偽造變造ニ關スル法律案外一件委員」ト「俘虜刑罰法案外一件委員」トヲ併合シテ「俘虜
刑罰法案外三件委員」ト爲セリ而シテ委員鳩山和夫君ハ偶併合前ノ各特別委員ノ委員タリシ爲
兩特別委員併合ノ結果委員ニ一人ノ不足ヲ生シタルヲ以テ議長ハ其ノ補充トシテ森田卓爾君ヲ

選定セリ

參看 四號

第二節 委員ノ選舉、辭任及補闕

八 常任委員ノ選舉ハ開院式ノ翌日之ヲ行フヲ例トス

常任委員ハ衆議院規則第四十四條ニ依リ每會期ノ始ニ於テ選舉セラルヘキモノナシテ開院式ノ翌日
之ヲ選舉スルヲ例トス但シ第二十回(臨時)、第五十三回(臨時)及第六十一回(臨時)議會ニ於テハ開
院式當日、第三十九回(特別)及第五十一回議會ニ於テハ開院式ノ翌々日、第五回議會ニ於テハ開院
式ヨリ四日後、第二十二回乃至第二十四回議會ニ於テハ年末年始ノ休會後開會日ノ始ニ之ヲ選舉シ
タリ又第三十二回(臨時)及第三十四回(臨時)議會ニ於テハ開院式當日常任委員選舉ノ手續ヲ省略シ
テ前議會ノ通繼續スルコトニ決シ第十一回及第十九回議會ニ於テハ常任委員ヲ選舉スルニ至ラスシ
テ解散セラル

衆第四四條

九 常任委員ノ選舉ハ各部ニ於テ同時ニ之ヲ行フ

選舉ノ場所及時刻ハ議長之ヲ指定ス

常任委員ノ選舉ハ衆議院規則第四十五條第二項ニ依リ議院ノ命スル所ニ依リ各部ニ於テ同時ニ之ヲ行フ而シテ其ノ選舉ハ每會期ノ始之ヲ議院會議ノ日程ニ掲ケ全院委員長ノ選舉ヲ終リタル後議長ハ各部員直ニ其ノ部室ニ參集シテ常任委員ノ選舉ヲ行ヒ其ノ結果ヲ議長ニ報告スヘキ旨ヲ宣告スルノ例ナリ

參看 一〇號、一二號、一六號

一〇 常任委員ハ之ヲ各派所屬議員數ニ按分シ各派ヨリ豫メ申出テタル候補者ヲ各部ニ於テ選舉ス

各部ノ被選舉人ハ其ノ部員タルコトヲ要セス

常任委員ハ議院法第二十條第三項及衆議院規則第四十五條第一項ニ依リ各部ニ於テ同數ノ委員ヲ總

以下ニテ

本令

一三八ニ

合セル

議員中ヨリ選舉スヘキモノニシテ各部ノ被選舉人ハ必スシモ其ノ部ノ部員タルコトヲ要セサルモノ

トス而シテ第三十回議會ニ於テ各派協議會ニ於テ常任委員ノ選舉ハ所屬議員七十五名未滿ノ團體ヲ除キ各部ヲ基礎トシテ其ノ所屬議員數ニ應ジテ按分選出スルコトニ協議決定シ更ニ第五十八回(特別)議會ニ至リ特ニ二十五名未滿ノ團體ニ對シテモ其ノ所屬議員數ニ應ジテ按分ニ依リ算出シタル員數ヲ交渉團體タル各派ノ割當員數中ヨリ充當スルノ協定成立シ爾來每會期此ノ例ニ依リ各派ヲ

シテ豫メ常任委員候補者ノ氏名ヲ申出シ之ヲ各部ニ割當テ選舉スルノ例トナレリ

參看 九號、一二號、一二號、一六號

一一 常任委員ハ召集ニ應シタル議員ヨリ之ヲ選舉ス

常任委員ハ其ノ選舉當日迄ニ召集ニ應シタル議員中ヨリ之ヲ選舉スルヲ例トス但シ豫メ各派ヨリ其ノ按分率ニ依リ委員候補者氏名ヲ申出テシメ之ヲ選出スル關係上當日未タ召集ニ應セサル議員ヲ選舉シタルコトナシトセス

一四 臨時議會ニ於テ常任委員選舉ノ手續ヲ省略シ前議會ノ通繼續ス
 常任委員ノ選舉ハ臨時議會ニ於テモ成規ノ手續ニ依ルヲ例トスルモ左ノ場合ニ於テハ議院會議ニ於
 テ常任委員選舉ノ手續ヲ省略シ前議會通繼續スルニ決セリ而シテ其ノ結果常任委員ニ關員ヲ生シ又
 當日召集ニ應セサル者アリシモ付託事件アル委員ハ補闕選舉ヲ行ヒ付託事件ナキ委員ハ之ヲ行ハサ
 リキ

第三十二回(臨時)議會 大正三年五月五日ノ議院會議ニ於テ全院委員長及常任委員ノ選舉並委員
 長及理事互選ノ手續ヲ省略シ總テ第三十一回議會通ト議決セリ

第三十四回(臨時)議會 大正三年九月四日ノ議院會議ニ於テ全院委員長及常任委員ハ其ノ選舉ノ
 手續ヲ省略シ第三十三回議會通ト議決シ委員長及理事ノ互選ハ各常任委員會ニ於テ前會通ト議
 決セリ
 オテ下ノ例ハル
 參看 九號、一〇號

衆第六四條
議第二〇條

一三 特別委員ノ選舉ハ議長ノ指名ニ依ルヲ例トス

特別委員ノ選舉ニ付テハ議院法第二十條ニ「議院ノ選舉ヲ以テ」云々及衆議院規則第六十四條第一項

ニ「議院ニ於テ無名投票ヲ以テ連記選舉シ」云々ト規定セルモ議場ニ於テ委員ヲ選舉スルニハ抄カラ
 サル時間ヲ要シ且種々ノ不便アルヲ以テ衆議院規則第六十四條第二項「議院ハ特別委員ノ選舉ヲ議
 長ニ委任スルコトヲ得」トノ規定ニ依リ議長ノ指名ニ依ルコトトナレリ而シテ議長委員ヲ指名スル
 ニ當リハ各派所屬議員數ニ應シテ定メタル按分率ニ依リ各派ヨリ委員候補者ヲ申出テシメ之ニ依リ
 指名スルヲ例トス 尙偏重ニ因ル時別委員ハ取前ヨリニテ各派末滿ノ團體中ヨリモ之ヲ指名スルヲ例トス

參看 一四號、一七號

議第二〇條
衆第六四條

一四 特別委員ノ指名ハ委員付託決議ノ當日之ヲ行フヲ例トス

特別委員ヲ議長指名スル場合ハ委員付託ヲ決議シタル翌日之ヲ行ヒタルコトアリシモ第十五回議會
 以來ハ委員付託ヲ決議シタル當日之ヲ行フノ例トナレリ
 事例ハ附錄第四表ニ之ヲ掲ク

一五 常任委員ノ補闕選舉ハ前任者ノ選出部ニ於テ推薦ノ方法ニ依ル
特別委員ノ補闕選舉ハ其ノ委員選舉ト同一ノ方法ニ依ル

常任委員タルト特別委員タルトヲ問ハス辭任其ノ他ノ事由ニ依リ闕員ヲ生シタルトキハ直ニ之カ補
闕選舉ヲ行ハサルヘカラス而シテ常任委員ニ在リテハ衆議院規則第四十八條ニ依リ其ノ選舉シタル
部ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ方法ハ闕員トナリタル議員ノ所屬黨派ノ中ヨリ申出テタル候補者ヲ推薦スル
ヲ例トス特別委員ニ在リテハ衆議院規則第六十五條ニ依リ其ノ選舉シタル方法則チ前ニ議長ノ指名
ニ依リタルトキハ議長指名ニ依リ之ヲ行フ

參看 九號、一〇號、一三號

一六 常任委員選舉ノ結果ハ部長ヨリ直ニ之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當
日之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス

常任委員選舉ニ當リ各部ニ於テ當選人定マリタルトキハ衆議院規則第四十六條ニ依リ部長ハ直ニ之
ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス

參看 九號、一〇號

一七 特別委員指名ノ結果ハ委員付託ノ當日衆議院公報ヲ以テ之ヲ報
道ス

特別委員ノ指名ヲ議長ニ一任セラレタルトキハ議長ハ即日之ヲ指名シ直ニ衆議院公報ニ掲載シテ報
道スルヲ例トス而シテ特ニ急ヲ要スルモノニ付テハ議長議場ニ於テ指名シ尙當日ノ衆議院公報ニ掲
載ス

參看 一三號、一四號

一八 委員ヲ辭セムトスルトキハ書面ヲ議長ニ提出ス

第一回議會 明治二十三年十二月十日ノ議院會議ニ於テ「司法大臣ノ覆牒ニ對スル本院ノ處分方法
審査委員」ノ氏名ヲ報告スルヤ其ノ委員ニ選任セラレタル大岡育造君ハ口頭ヲ以テ辭任ヲ申出テタ
ルニ議長中島信行君ハ書面ヲ以テセラレタキ旨ヲ告ケタルニ依リ同君ハ更ニ書面ヲ以テ辭任ヲ申出

テタリ爾來委員ヲ辭セムトスルトキハ書面ヲ以テ申出ツルヲ例トス

參看 二一號

(衆第四九條)

一九 常任委員ノ辭任ハ議長院議ニ諮リテ之ヲ許可ス但シ急ヲ要スル
場合ハ議長之ヲ許可ス ヒテ之ヲ沃ス

委員ニ選舉セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ任ヲ辭スルコトヲ得サルハ衆議院規則第四十九條ニ規定スル所ナルヲ以テ常任委員ニシテ辭任セムトスルトキハ其ノ旨議長ニ書面ヲ以テ申出テ議長ト之ヲ院議ニ諮リ許可スルヲ例トスルモ院議ニ諮フノ違ナキ場合ニ於テハ議長ニ於テ之ヲ許可ス 依リ其ノ旨ヲ沃ス

參看 二〇號

(衆第四八條)

二〇 常任委員ノ補闕選舉ハ衆議院公報ニ掲載ノ後之ヲ行フコトヲ要ス

常任委員ノ補闕選舉ニ付テハ第三十七回議會各派協議會ニ於テ決定セシ所ニ依リ必ス衆議院公報ニ掲載シタル後之ヲ行フコトナレリ

參看 一五號、一九號、二九五號

(衆第四九條
衆第六八條)

二一 特別委員ノ辭任ハ議長之ヲ許可スルヲ例トス

特別委員ノ選舉ヲ議長ノ指名ニ委ヌルコトナリテ以來特別委員辭任ノ申出アリタルトキハ議長ニ於テ之ヲ許可スルヲ例トス

參看 一三號、一四號、一五號、一八號

(衆第四八條)

二二 委員ノ辭任及補闕ハ之ヲ衆議院公報ニ掲載ス 委員ハ

常任委員又ハ特別委員ノ辭任ヲ許可シタルトキハ當日之ヲ衆議院公報ニ掲載シ其ノ補闕ノ場合ハ於テ其ノ選舉又ハ議長指名ノ當日之ヲ衆議院公報ニ掲載シテ報道ス アリタルトキ

參看 一五號、一九號、二〇號、二二號

二三 委員 其ノ任ハ解ケタルモノトス 出席停止ヲ命セラレタルトキハ解任セラル

委員ニシテ出席停止ヲ命セラレタルトキハ衆議院規則第二百一十一條ニ依リ解任セラル事例左ノ如シ
第十三回ノ特別委員、第三十一回ノ請願委員、第三十七回ノ豫算委員、第四十三回ノ豫算委員、第四十四回ノ懲罰委員、第四十五回ノ特別委員及第七十回議會ノ決算委員並特別委員

第三節 委員長及理事

二四 委員長及理事互選ノ日時ハ議長之ヲ指定シ其ノ補闕ノ場合ハ理事又ハ委員長之ヲ指定ス

委員ノ選舉終リタルトキハ議長ハ委員長及理事互選ノ日時ヲ指定ス而シテ開院式 勅語奏答文起草ノ件委員及常任委員ニ在リテハ議長議場ニ於テ日時ヲ指定スルモ其ノ他ハ衆議院公報ニ掲載スル之ヲ指定ス
各委員ハ指定ノ日時ニ所定ノ委員室ニ參集シテ互選ヲ行フ若當日之ヲ行フコト能ハサルトキハ議長

議第二一〇條
第五五〇條
第五五二條
第五五八條

ヨリ更ニ其ノ日時ヲ指定シテ互選ヲ行ハシムルヲ例トス
尙委員長ノ補闕選舉ノ場合ニハ理事、理事ノ補闕選舉ノ場合ニハ委員長ニ於テ互選ノ日時ヲ定ムルモノトス

參看 二五號

二五 委員長及理事ノ互選ハ常任委員ニ在リテハ委員選舉ノ當日、特別委員ニ在リテハ委員選舉ノ翌日之ヲ行フヲ例トス

常任委員ノ委員長及理事互選ノ期日ハ第二十四回議會迄ハ委員選舉ノ當日又ハ翌日以後ニシテ一様ナラサリシモ第二十五回議會以後ハ委員選舉ノ當日之ヲ行フノ例トナレリ又特別委員ノ委員長及理事互選ハ委員選舉ノ翌日之ヲ行フヲ例トス但シ會期切迫其ノ他審査急ヲ要スル爲選舉ノ當日ニ於テ又特別ノ事情アル爲委員選舉ノ翌々日以後ニ於テ之ヲ行ヒタルコトアリ
事例ハ附録第六表ニ之ヲ掲ク

參看 二四號、五八號

二六 臨時議會ニ於テ常任委員長及理事ノ互選手續ヲ省略シ前議會ノ通繼續シタルコトアリ

第三十二回(臨時)議會 大正三年五月五日ノ議院會議ニ於テ常任委員長及理事ハ其ノ互選ノ手續ヲ省略シ總テ第三十一回議會通ト議決セリ

第三十四回(臨時)議會 大正三年九月四日ノ議院會議ニ於テ常任委員ノ選舉手續ヲ省略シ總テ第三十三回議會通ト議決シ又各常任委員會ニ於テハ其ノ委員長及理事ハ互選ノ手續ヲ省略シ前議

會通ト議決セリ
第三十二回、第三十三回、第三十四回ノ例アリ
參看 一二號

(衆第一九條)

二七 委員長及理事互選ノ投票管理者ハ出席委員中ノ年長者之ニ當ル

別ニ規定ナキヲ以テ
委員長及理事互選ノ場合ニ於ケル投票管理者ニ付テハ衆議院規則第十九條ノ部長選舉ニ關スル規定ヲ準用シ出席委員中ノ年長者ヲ以テ投票管理者ト爲シ互選事務ヲ管理セシムルヲ例トス但シ第三

同、第四回、第六回、第七回、第十三回、第十四回及第五十二回議會ニ於テ委員ヨリ推薦セラレタル者投票管理者ト爲リタルコトアリ而シテ委員長補闕ノ場合ニハ理事、理事補闕ノ場合ニハ委員長ニ於テ互選ノ事務ヲ管理ス

參看 二九號

議衆衆衆
第一五〇條
第二一〇條
第五〇條
第六八條

二八 委員長及理事ノ互選ハ推薦又ハ指名ニ依ルヲ例トス

委員長及理事ノ互選ハ衆議院規則第五十條及第五十一條ニ無名投票ヲ以テ之ヲ行フヘキコトヲ規定セラレ當初ニ於テハ委員長理事共ニ概ネ無名投票ヲ以テ其ノ互選ヲ行ヒタルモ漸次委員長ハ推薦又ハ指名ニ依リ理事ハ委員長ノ指名ニ依ルコトトナレリ但シ第五十一回議會以後ニ於テ常任委員長ノ互選ハ無名投票ヲ以テ之ヲ行ヒタルコトアリ
事例ハ附録第七表ニ之ヲ掲ク

參看 二六號、三〇號、四四號

二九 委員長及理事互選ノ結果ハ投票管理者ヨリ當日之ヲ議長ニ報告

シ議長ハ衆議院公報ニ掲載シテ之ヲ報道ス

委員長及理事互選ノ結果ハ投票管理者ヨリ選舉ノ當日直ニ之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日衆議院公報ニ掲載シテ之ヲ報道ス

参考 二七號

衆議院
第五一八條

三〇 理事ノ員數ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ定ム

常任委員會ノ理事ニ付テハ衆議院規則第五十一條第一項ニ「委員會ニ一名又ハ數名ノ理事ヲ置ク」云々ト規定セラレ又特別委員會ニ付テモ同條ヲ適用シ孰レモ其ノ數ヲ限定セス先例ハ事務ノ必要ニ依リ其ノ數ヲ定メタリ

事例ハ附録第八表ニ掲ク

参考 三一號

事例
書目直しニ追カ

三一 既ニ決定シタル理事ノ員數ヲ増加ス

委員會ニ於テ理事ノ互選ヲ爲シ既ニ其ノ數ヲ決定シタル後必要ノ場合更ニ理事ノ數ヲ増加シタルコトアリ

第二十七回議會 明治四十四年二月二十三日ノ國稅徵收法中改正法律案委員會ニ於テ委員翠川鐵

三三 三君ハ理事一名ヲ増員スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ異議ナカリシヲ以テ委員長大井ト新君ハ

理事一名ノ追加指名ヲ爲セリ

第四十五回議會 大正十一年一月二十三日ノ請願委員會ニ於テ委員長龍野周一郎君ハ理事一名ノ

増員ヲ諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ理事一名ノ追加指名ヲ爲セリ

第四十九回議會 大正十三年七月十五日ノ議院會議ニ於テ營業税法廢止法律案委員更ニ九名ヲ追

加増員セラレタル結果翌十六日該委員會ニ於テ理事二名ノ追加指名ヲ爲セリ

第五十一回議會 大正十五年三月八日ノ議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件委員會ニ於テ委

員平川松太郎君ノ動議ヲ可決シ委員長横山金太郎君ハ理事一名ノ追加指名ヲ爲セリ

第五十二回議會 昭和二年二月十七日ノ議院會議ニ於テ北海道農地特別處理法案委員更ニ九名ヲ

追加増員セラレタル結果同月十九日ノ該委員會ニ於テ理事二名ノ追加指名ヲ爲セリ

第一章 委員會ノ組織 第三節 委員長及理事

(三一)

二十三

參看 六號、三〇號

衆第五一條

三二二 委員長闕席又ハ退席ノ場合ハ理事其ノ職務ヲ代理ス

衆議院規則第五十一條第二項ニ「委員長故障アルトキハ理事其ノ職務ヲ代理ス」トアリテ委員長病氣其ノ他ノ事由ニ因リ出席スルコト能ハサルカ又ハ會議中退席ナル場合ハ理事其ノ職務ヲ代理ス而シテ理事數名アル場合ニ於テハ其ノ代理スヘキ理事ハ委員長之ヲ指名スルヲ例トス

三三三 委員長ノ辭任ハ委員會ニ於テ之ヲ決ス

委員長ヨリ其ノ職務辭任ノ申出アリタルトキハ委員會ニ於テ之ヲ決ス

第三十回議會 大正二年三月一日ノ豫算委員會ニ於テ委員長元田肇君ヨリ委員長辭任届ヲ提出シ

タルニ理事井上角五郎君ハ「元田肇君カラ辭任届ガ出マシタ」拙者儀豫算委員長辭任致候也大正

二年三月一日「是ハ兼テ此豫算委員會カラ選ビマシタ豫算委員長デゴザイマスカラ、此辭任ヲ聽

届ケルカ否カト云フコトハ豫算委員會デ決シナケレバナラヌサウデゴザリマス、聽届ケテ御異

議ガゴザイマセヌカト述ヘタルニ異議ナク之ヲ許可スルニ決セリ

爾來此ノ例ニ依ル

參看 四七號

第四節 分科

三四 豫算、決算、請願及建議ノ各委員ニハ分科ヲ設ク

豫算委員、決算委員及請願委員ハ其ノ事務ヲ捷速ナラシムル爲衆議院規則第六十二條第一項前段ニ依リ分科ヲ設クルヲ例トシ建議委員モ亦之キ準シ分科ヲ設ク唯第七回、第二十回、第三十二回、第三十三回、第三十四回、第四十七回、第五十三回、第六十一回、第六十二回、第六十三回、第六十六回ノ各臨時議會及第五十五回ノ特別議會ニ於テハ各委員共分科ヲ設ケス第二十九回(臨時)議會ニ於テハ請願委員ノ分科ヲ設ケタルモ其ノ他ハ分科ヲ設ケス又第三十八回議會ニ於テハ決算委員ノ分科ヲ設ケルニ至ラスシテ解散セラレ第四十八回、第五十四回、第五十七回、第六十回及第六十八回ノ各議會ニ於テハ解散ノ爲各委員ノ分科ヲ設クルニ至ラス第六十五回議會ニ於テハ建議委員ノ分科ヲ設ケサ

衆第六二條

第一章 委員會ノ組織 第四節 分科

(三三四)

二十五

又建議委員ハ亦之キ準シ分科ヲ設ケタルモ其ノ他ハ分科ヲ設ケス又第三十八回議會ニ於テハ決算委員ノ分科ヲ設ケルニ至ラスシテ解散セラレ第四十八回、第五十四回、第五十七回、第六十回及第六十八回ノ各議會ニ於テハ解散ノ爲各委員ノ分科ヲ設クルニ至ラス第六十五回議會ニ於テハ建議委員ノ分科ヲ設ケサ

ノセテ同、カセテ同及
カセテ同

參看 三五號、四二號

衆第六二條

三五 豫算委員ハ六分科、決算委員、請願委員及建議委員ハ各四分科ニ分ツヲ例トス

衆議院規則ハ豫算委員、決算委員及請願委員ニ分科ヲ設クルコトヲ得ル旨ヲ規定シ其ノ數ヲ限定セサルヲ以テ從來審査ノ都合ニ依リ豫算委員及決算委員ハ各四分科乃至七分科、請願委員ハ三分科乃至七分科ニ分チタルコトアルモ最近ニ於テハ豫算委員ハ六分科、決算委員及請願委員及建議委員ハ各四分科ニ分ツヲ例トス。尚建議委員ハ夜未四分科又ハ二分科ニ分チタルコトアルモ事例ハ附録第九表ニ之ヲ掲ク

參看 三四號、三六號

オセナニ同議合以降ハ分科ヲ設ケサルノ例トナシ

三六 分科ノ區分ハ之ヲ變更セサルヲ例トス

分科ノ區分ハ同一會期中之ヲ變更セサルヲ例トス但シ左ノ事俾ニ於テハ之ヲ變更セリ

第八回議會 明治二十八年一月八日分科會議前ノ豫算委員會ニ於テ分科ヲ七分科ニ分チ各員ノ

所屬ハ任意ニ之ヲ定ムルコトト爲シタル爲所屬員ノ配合一方ニ偏スル所アリシヲ以テ委員長武

富時敏君ハ委員會ニ諮リ分科ヲ五分科トシ内務ト文部、遞信ト農商務トヲ併合シテ各一分科ト

シ其ノ所屬員モ同時ニ併合シテ各其ノ分科員ト爲セリ

第二十四回議會 明治四十一年二月十九日分科會議前ノ請願委員會ニ於テ委員長竹越與三郎君

ハ委員會ニ諮リ七分科ヲ六分科ニ變更シ第一分科ヲ廢シテ順次繰上ケ元第一分科ニ屬シタル内

閣ヲ第二分科ニ、外務省ヲ第一分科ニ屬セシメ、元第一分科所屬員ノ内二名ヲ第二分科ニ三名

ヲ第一分科ニ移屬セシメタリ

參看 三四號、三五號

三七 分科所屬員ノ配置ハ略同數ト爲スヲ例トス

從來各委員ノ分科所屬員配置ハ審査ノ都合ニ依リ又ハ委員ノ希望ニ依リ必スシモ各分科ニ均分スルヲ要セサリシモ豫算委員及請願委員及建議委員ハ委員四十五名中委員長ヲ除キタル四十四名ヲ均分

シ各十一名ト爲シ豫算委員ニ於テモ亦同様ノ方法ニ依リ九名乃至十一名ト爲スヲ例トス

參看 三五號、三八號、三九號

三八 分科所屬員ノ配置ハ各員ノ希望ヲ參酌シテ委員長之ヲ決ス

各委員ノ分科所屬ハ委員ノ希望^又協議ニ依リ^又抽籤ヲ以テ之ヲ定メタルコトアリキ委員ノ希望ヲ參酌シテ委員長之ヲ決スルヲ例トスルモ委員ノ

事例ハ附錄第九表ニ之ヲ掲ク

參看 三七號

三九 補闕委員ハ前委員所屬ノ分科ニ屬ス

委員ニ異動アリタル場合ニ於ケル補闕委員ノ分科所屬ハ前委員ノ本務員トシテ所屬シタル分科ニ配置ス

參看 三七號、四一號

四〇 委員長ハ分科ニ屬セス理事ハ之ニ屬ス

委員長ハ分科ニ屬セス唯第三十九回及第四十回議會ノ決算委員ニ於テ分科ニ屬シタルコトアリ理事ハ豫算委員ニ在リテハ第四回乃至第六回議會ヲ除クノ外總テ分科ニ屬シ決算委員ニ在リテハ第八回乃至第十回議會ニ於テ分科ニ屬セシメサリシモ第十二回乃至第二十一回議會ニ於テハ分科ニ屬セシメ第二十二回乃至第二十四回議會ニ於テハ其ノ數ヲ分科ノ數ト同一ナラシメ以テ各分科ノ主査ニ充テタルモ第二十五回議會以來ハ他ノ委員ト同シク分科ニ屬スルヲ例トス請願委員ニ於テモ從前理事ノ數ヲ分科ノ數ト同一ナラシメ以テ各分科ノ主査ニ充テタリシカ第二十五回議會以來ハ他ノ委員ト同シク分科ニ屬スルヲ例トス建議委員ノ理事キ亦第六十四回議會以來毎回他ノ常任委員ト同シク分科ニ屬スルヲ例トス

四一 分科員ハ他ノ分科ニ兼務スルコトヲ得

分科員カ他ノ分科ニ兼務スルコトニ付テハ法規ニ何等ノ規定ナキモ豫算委員ニ於テハ第四回議會以來、決算委員ニ於テハ第二十一回議會以來、請願委員ニ於テハ第十六回議會以來、建議委員ニ於テハ

第六十四回議會以來執レモ委員長ハ各員ノ希望ニ依リ他ノ一分科又ハ數分科ニ兼務スルコトヲ許シ各分科兼務員ノ數ハ之ヲ制限セサルヲ例トス而シテ分科員カ委員ヲ辭任シタルトキハ同時ニ其ノ分科兼務モ亦消滅スルヲ以テ補闕委員ノ兼務スヘキ分科ハ新ニ其ノ希望ニ依テ之ヲ定ムルモノトス

參看 四三號、二二四號

第五節 主査

衆第六二條

四二 分科ニハ主査ヲ置キ理事ヲ設ケサルヲ例トス

豫算、決算及請願ノ各委員ニ於テ分科ヲ設ケル場合ニハ衆議院規則第六十二條第一項後段ノ規定ニ依リ常ニ主査ノミヲ置キ理事ヲ設ケサルヲ例トス唯第十七回議會ニ於テ豫算各分科ニ主査ノ外一名ノ理事ヲ置キタルコトアリ又建議委員ニ分科ヲ設ケタル場合ニ於テキ他ノ常任委員ニ準シ主査ノミヲ置キヲ例トス

參看 三四號、四三號

衆第三〇條

四三 主査ハ本務員中ヨリ之ヲ選定ス

主査ハ其ノ分科所屬ノ本務員中ヨリ之ヲ選定スヘキモノトス分科ノ兼務員ハ表決キ加ハササルヲ以テ若兼務員主査ニ選定セザルルトキハ分科ニ於テ採決ノ結果可否同數トナリタル場合衆議院規則第三十條ヲ準用タルノ結果表決權オキ兼務員主査トシテ之ヲ裁決ナルノ不合理ヲ生スヘキヲ以テナリ

參看 四二號、二二四號

衆第六十條

四四 主査ノ互選ハ委員會ノ決議ニ依リ委員長ノ指名ニ一任スルヲ例

トス

常任委員ニ分科ヲ設ケタルトキハ各分科ニ主査ヲ互選スヘキコトハ衆議院規則第六十二條第一項後段ニ規定スル所ナリ而シテ従前ハ各分科ニ於テ之ヲ互選シタルコトアルモ豫算委員及請願委員ニ於テハ第二十五回議會以來、決算委員ニ於テハ第二十三回議會以來、建議委員ニ於テハ第六十四回議會以來執レモ委員會ノ決議ヲ以テ主査ノ選定ヲ委員長ノ指名ニ一任スルノ例トナレリ

參看 二八號

削除

四五 分科ニ於テ主査ヲ互選スルトキハ委員長其ノ日時ヲ指定スルヲ例トス

近來主査ノ互選ハ委員會ニ於テ委員長ノ指名ニ一任スルヲ以テ殆ト分科ニ於テ主査ヲ互選スルコトナキモ分科ニ於テ主査ヲ互選スルトキハ委員長其ノ互選日時ヲ指定スルヲ例トス唯第九回、第十一回及第十六回議會ニ於テ委員會ノ決議ヲ以テ其ノ日時ヲ定メタルコトアリ

四六 主査故障アルトキハ本務員中ヨリ主査代理ヲ選定ス

主査闕席又ハ退席ノ場合ハ分科本務員中ヨリ主査ノ代理ヲ選定ス主査ノ代理ハ主査之ヲ指名シ又ハ分科員ニ於テ之ヲ協議選定スルヲ例トス

四七 主査ノ辭任ハ委員長之ヲ決シ若ハ委員會ニ諮リテ之ヲ決ス

主査ヨリ辭任ノ申出アリタルトキハ委員長之ヲ決シ又ハ委員會ニ諮リテ之ヲ決ス其ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長ニ於テ許可シタル例

第四十二回議會 大正九年二月十八日ノ決算委員會ニ於ケル第三分科主査川口木七郎君主査辭任ノ許可

第四十六回議會 大正十二年二月二日ノ豫算委員會ニ於ケル第六分科主査原田佐之治君主査辭任ノ許可

第五十六回議會 昭和四年三月一日ノ請願委員會ニ於ケル第三分科主査白田久内君主査辭任ノ許可

第六十七回議會 昭和十年三月五日ノ建議委員會ニ於ケル第一分科主査立川太郎君主査辭任ノ許可

可
河上四郎君於大正四年三月三日ノ請願委員會ニ於ケル第三分科主査小口忠太郎君主査辭任ノ許可

(二) 委員會ニ諮リテ許可シタル例
第三十七回議會 大正五年二月七日ノ決算委員會ニ於テ第三分科主査宮原幸三郎君ヨリ主査辭任ノ届出アリタルニ對シ委員長小河原一君ハ之ヲ委員會ニ諮ヒ許可スルニ異議ナキヲ認メ其ノ辭任ヲ許可セリ

(三) 委員會ニ諮リテ許可セザリシ例

第三十六回議會 大正四年五月二十五日ノ決算委員會ニ於テ第一分科主査江間俊一君ヨリ主査辭

任ノ申出アリシニ對シ委員長大津淳一郎君ハ之ヲ委員會ニ諮ヒ異議アリシヲ以テ其ノ辭任ヲ許ササリキ

參看 三三號、五四號

第六節 小委員(委員中委員)

四八 委員會(分科會)ニ於テ小委員ヲ設ク

委員會ニ於テハ付託ヲ受ケタル議案其ノ他ノ事件ニ關シ審査ノ方針ヲ定メ、議案若ハ或事項ヲ調査シ、修正案ヲ起草シ、政府ト交渉ヲ爲シ、報告書若ハ意見書ヲ起草スル等ノ爲委員會ノ決議ヲ以テ委員中ニ小委員ヲ設ケタル事例甚タ多シ此ノ場合ニ於テハ小委員ノ員數其ノ選定方法等總テ委員會ノ決議ニ依ル

事例ハ附錄第十表ニ掲ク

參看 一九二號

四九 小委員會ニハ小委員長ヲ置クヲ例トス

小委員ノ會議ハ以前ハ専ラ小委員相互ニ若ハ小委員ト政府トノ間ニ協議懇談ヲ爲シタルヲ以テ特ニ委員長ヲ設ケサリシコト多キモ近來ハ總テ委員會ノ例ニ倣ヒ委員長ヲ置キテ其ノ開會閉會其ノ他會議ノ一切ヲ整理セシムルノ例トナレリ

參看 五〇號、五一號、五二號、五三號

五・ノ條

五ニ

五〇 小委員長ハ小委員會ニ於テ之ヲ互選ス

小委員會ニ小委員長ヲ置クトキハ小委員會ニ於テ之ヲ互選スルヲ例トス左キ其ノ數例ヲ掲ク

第三十一回議會 大正五年三月十三日ノ生産獎勵特別免稅法案外一件委員中特別調査小委員會ニ

於ケル小委員長ノ設置

第四十五回議會 大正十一年三月十五日ノ請願第二分科委員中和氣神社ヲ別格官幣社ニ昇格ノ件

特別調査小委員會ニ於ケル小委員長ノ設置

第六十四回議會 昭和八年三月二日ノ少年教護法案委員中同案審査小委員會ニ於ケル小委員長ノ

設置

第二章 委員會ノ組織 第六節 小委員(委員中委員)

(四九、五〇)

三十五

併テスル
別例

同 昭和八年三月四日ノ少年教護法案委員中出版法案審査小委員會ニ於ケル小委員長ノ設置
第六十七回議會 昭和十年三月一日ノ決算委員中昭和八年度國有財産増減總計算書審査小委員會
ニ於ケル小委員長ノ設置

【備考】

小委員長ヲ設ケス主査又ハ幹事ヲ置キ小委員長ノ職務ヲ行ハシメタルコトアリ

(一) 主査ヲ置キタル例

第六回議會 明治二十七年六月五日ノ豫算委員中鐵道建設費ニ關スル特別調査小委員會

第十四回議會 明治三十三年一月十五日ノ衆議院議員選舉法改正法律案中選舉區調査小委員

員會及同月二十四日ノ衆議院議員選舉法改正法律案整理委員會

第二十四回議會 明治四十一年二月二十五日ノ公證人法案委員中特別調査小委員會及同日

ノ請願第六分科委員中北海道旭川遊廓廢止ノ請願特別調査小委員會

第二十六回議會 明治四十三年一月二十八日ノ印紙稅法中改正法律案外四件委員中印紙稅

法中改正法律案外三件特別調査小委員會

(二) 幹事ヲ置キタル例

第四十六回議會 大正十二年三月十九日ノ小作調停法案特別調査小委員會

參看 四九號、五一號

五二 委員長(主査)小委員(分科ノ小委員)ノ一員トナリタルトキ小委員

長ノ職務ヲ行フ

第二十六回議會漁業法改正法律案委員中特別調査小委員會ニ於テハ別ニ小委員長ヲ設ケサリシモ委員長板東勘五郎君ハ小委員ノ一員トナリ明治四十三年二月二十四日、二十五日、二十六日、三月五日及九日ノ會議ニ於テ毎回小委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ又請願委員分科ニ於テ小委員ヲ設定シタル場合ハ別ニ小委員長ヲ設ケス主査小委員ノ一員トナリテ議事ヲ整理シタルコトアリ

參看 四九號、五〇號、五二號

五二 委員長小委員ノ一員ニ非スシテ會議ニ出席シ小委員長ノ職務ヲ

行フ

委員長小委員ノ一員ニアラスシテ其ノ會議ニ出席シ小委員長ノ職務ヲ行ヒタルコトアリ

四九ノ
備考トス

第三十四回議會 戰時海上保險ニ關スル法律案委員中特別調査小委員會ニ於テハ別ニ小委員長ヲ設ケサリシヲ以テ委員長鶴澤總明君ハ小委員ノ一員ニアラサリシモ大正三年九月七日ノ會議ニ於テ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

第四十五回議會 刑事訴訟法案特別調査小委員會ニ於テハ別ニ小委員長ヲ設ケス委員長鶴澤總明君ハ小委員ノ一員ニアラサリシモ每會出席シ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

第四十六回議會 農村振興ニ關スル建議案外十一件特別調査小委員會ニ於テハ別ニ小委員長ヲ設ケス委員長元田肇君ハ小委員ノ一員ニアラサリシモ每會出席シ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

第五十回議會 決算委員小委員會ニ於テハ別ニ小委員長ヲ設ケス決算委員長湯淺凡平君ハ小委員

ノ一員ニアラサリシモ每會出席シ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

正一 委員(主査)小委員(主査)小委員(主査)ノ一員ハ小委員ノ一員ニシテハ別ニ小委員長ヲ設ケス

五三 小委員會ニ於テハ小委員長ノ職務ヲ行フ者故障アルトキハ小委員中ヨリノ協議ニ依リ其ノ代理者ヲ選定ス

書直し

第四十六回議會 大正十二年三月一日ノ請願第一分科委員中産業組合ニ對シ煙草小賣指定ノ請願外一件特別調査小委員會ニ於テハ小委員ノ一員ニシテ小委員長ノ職務ヲ行フ主査關席シタル爲

小委員ニ於テ其ノ主査代理者ヲ推薦セリ
第五十一回議會 大正十五年三月十六日ノ決算委員中國有財産増減總計算書審査小委員會ニ於テハ小委員長河上哲太郎君關席シタル爲其ノ小委員ニシテ決算委員理事タル今井健彦君小委員長ヲ代理セリ

參看 四六號、五〇號、五一號

五三ノニニル

五四 小委員ノ辭任ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス

小委員ノ辭任ハ委員長(主査)ニ於テ之ヲ許否シ又ハ委員會ニ諮リテ其ノ許否ヲ決ス事例左ノ如シ
(一) 委員長(主査)ニ於テ決シタル例

第二十八回議會 明治四十五年三月十一日ノ請願委員第一分科會ニ於テ第二十一號舊藩債處分ノ件調査ノ爲特別調査委員ヲ設クルニ當リ其ノ委員ニ指名セラレタル村上先君ヨリ他ニ多クノ委

書直し

員ニ選任セラレ居ルノ故ヲ以テ辭任ヲ申出テタルトキ主査武滿義雄君ハ之ヲ許サザリキ

第三十一回議會 大正三年三月十三日ノ生産獎勵特別免稅法案外一件委員會ニ於テ生産獎勵特別免稅法案修正案起草ノ爲七名ノ小委員ヲ設クルニ當リ其ノ委員ニ指名セラレタル淺羽靖君ハ齒痛ノ故ヲ以テ辭任ヲ申出テタルトキ委員長小川平吉君ハ直ニ之ヲ容レ其ノ後任ニ木村良君ヲ指名セリ

第六十二回議會 昭和七年六月九日ノ決算委員會國有財産増減總計算書審査小委員會ニ於テ小委員谷原公君及松尾四郎君辭任ノ申出アリタルトキ委員長樋口典常君ハ直ニ之ヲ容レ其ノ後任ニ田中祐四郎君及中村三之丞君ヲ選定セリ

第六十四回議會 昭和八年三月十四日ノ決算委員會國有財産増減總計算書及現在額總計算書ノ審査小委員會ニ於テ小委員高橋守平君辭任ノ申出アリタルトキ委員長山崎猛君ハ直ニ之ヲ容レ其ノ後任ニ作田高太郎君ヲ選定セリ

(二) 委員會ニ諮リテ決シタル例

第十六回議會 明治三十五年二月五日ノ國有土地森林原野下戻法施行法案委員會ニ於テ該案調査ノ爲小委員ヲ設クルニ當リ其ノ委員ニ指名セラレタル工藤行幹君ヨリ病氣ノ故ヲ以テ辭任ヲ申出テタルトキ委員長西原清東君ハ之ヲ委員會ニ諮リタルニ異議アリシヲ以テ其ノ辭任ヲ許

サリキ

參看 四八號

第二章 會議

第一節 開會、休憩及散會

五五 議院會議日ニ於テモ委員會ヲ開ク

第十五回議會以來每會期ノ始ニ於テ豫メ議院會議日ト委員會會議日トヲ定メ委員會會議日ハ月曜日、水曜日及金曜日ト定メタルモ第六十五回議會以後ニ於テハ議院會議日ノミヲ定メ委員會會議日ハ特ニ之ヲ定メサルノ例トナレリ而シテ議院會議日ト雖其ノ會議中ニ非サルトキハ委員會ヲ開クヲ例トス

五六 議院ノ會議中ニ委員會ヲ開クニハ其ノ都度議院ノ許可ヲ受クル

ヲ要ス但シ連日開會スル場合ハ豫メ總括的ニ之ヲ受クルコトヲ得衆議院規則第五十三條ニ「委員會ハ議院ノ會議時間ニ於テ之ヲ開クコトヲ得ス但シ議院ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス」ト規定セラレ議院ノ會議中ニ委員會ヲ開ク場合ニハ其ノ都度議院ノ許可ヲ受クルヲ要ス但シ豫算委員會ノ如キ審査期限アルモノ其ノ他緊急ヲ要スルモノ又ハ重要ナル議

案ノ委員會ニシテ連日委員會ヲ開會セムトスル場合ハ豫メ總括的ニ之カ許可ヲ受クルコトヲ得其ノ事例毎會期鈔カラス

參看 五五號、五七號

五七 會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ議長ノ許可ヲ得テ議院ノ會議中ニ委員會ヲ開クコトヲ得

議院ノ會議中ニ委員會ヲ開ク場合ニハ議院ノ許可ヲ得ルコトヲ要スルモ第二十七回議會以來會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ議長ノ許可ヲ得テ委員會ヲ開クヲ得ルコトナレリ

第二十七回議會 明治四十四年二月二十八日議長(長谷場純孝君)ハ「會期モ切迫致シマシタカラ——議長ノ許可ニ依ツテ本會議中ニモ委員會ヲ開キ得ルコト及尙此事ハ每會期ノ例トナツテ居リマスカラ將來會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ當然取計ヒ得ラルルコトニ取極メテ置キタイト思ヒマスガ御異議ハアリマセヌカ」ト諾ヒ異議ナカリキ

參看 五五號、五六號

五八 委員長及理事互選ノ當日ハ審査ニ入ラサルヲ例トス但シ特別ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

委員長及理事互選ノ當日ハ審査ニ入ラサルノ例ナルモ會期切迫セルトキ其ノ他審査急ヲ要スルトキハ引續キ會議ヲ開キ審査ニ入リタルコト鈔カラス而シテ其ノ場合ニハ豫メ引續キ會議ヲ開ク旨ヲ衆議院公報ニ掲載ス

五九 休會中ニハ委員會ヲ開カサルヲ例トス

議院ノ休會中ハ委員會モ亦開會セサルヲ例トスルモ審査急ヲ要スル爲會議ヲ開キタルコトアリ

第一回議會 明治二十三年十二月二十七日ノ豫算委員會ノ開會(明治二十三年十二月二十六日ヨリ二十四年一月七日迄休會)

第十四回議會 明治三十二年十二月二十日ノ治水ニ關スル建議案委員會ノ開會外十件(明治三十二年十二月二十日ヨリ三十三年一月十四日迄休會)

六〇 (一) 豫算ニ依リテ休會中委員會ヲ開キタル例 (二) 治水ニ依リテ休會中委員會ヲ開キタル例

(別件追加)

六〇 日曜日及祝祭日ニハ委員會ヲ開カサルヲ例トス

日曜日及祝祭日ニハ委員會ヲ開カサルヲ例トス但シ審査急ヲ要スルトキ又ハ會期切迫セル場合ニ於テハ之ヲ開キタルコトアリ

衆第五二條

六一 開會ノ日時ハ委員長(主査)之ヲ定メ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ定ム

衆議院規則第五十二條ニハ「議院ニ於テ委員會ノ期日ヲ指定セサルトキハ委員長之ヲ定ム」ト規定セラレ委員長及理事互選ノ日時等ハ議長ニ於テ之ヲ指定スルモ其ノ後ノ開會日時ハ委員長(主査)任意之ヲ定ム若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ定ムトス

衆第五二條

六二 議院又ハ議長ヲ於テ委員會開會ノ日時ヲ指定ス

委員會開會ノ日時ハ委員長之ヲ決シ若ハ委員會ニ諮リテ之ヲ決スルヲ例トスルモ重要ナル議案ニ

シテ審査急ヲ要スル爲又ハ會期切迫セル爲議院又ハ議長ニ於テ其ノ開會日時ヲ指定シタルコトアリ

參看 六一號

六三 豫算、決算、請願及建議ノ各委員會ニ於テハ審査日割ヲ定ム

(一) 豫算委員會

豫算委員會ニ於テハ第四十一回議會以來豫算案ノ審査ニ入ルニ先チ決議ヲ以テ總會ニ於ケル質疑日、分科會ニ於ケル質疑日及決議日、總會決議日等ノ審査日割ヲ定ムルヲ例トス

(二) 決算委員會及建議委員會

決算委員會及建議委員會ニ於テハ分科會ノ審査ニ入ルニ先チ決議ヲ以テ分科會ノ日割ヲ定ムルヲ例トス

(三) 請願委員會

請願委員會ニ於テハ第二十五回議會以來請願ノ審査ニ入ルニ先チ決議ヲ以テ每週金曜日總會、月曜日午前第一分科、午後第二分科、水曜日午前第三分科、午後第四分科ト審査日割ヲ定ムルヲ例トス

第二章 會議 第一節 開會、休憩及散會

(六三)

四十七

委員互選ノ期日ハ議長ノ指定ニ依リテ定ムルヲ例トス

剖吟

六四 小委員會ノ開會日時ハ小委員長之ヲ指定シ又ハ小委員會ニ諮リテ之ヲ定ム

小委員會ノ開會日時ハ其ノ第一回ニ限り委員長又ハ主査之ヲ指定スルコトアルモ第二回以後ニ於テハ小委員長之ヲ指定シ又ハ小委員會ニ諮リテ之ヲ定ムルヲ例トス

六五 開會ノ通知ハ衆議院公報ヲ以テスルヲ例トス

委員會、分科會及小委員會開會ノ日時及場所並審査ニ付スヘキ事件ハ之ヲ衆議院公報ニ掲載シテ委員、分科員及小委員ニ通知ス但シ急ヲ要タル爲議院會議中議長又ハ委員長口頭ヲ以テ通知シタルコトアリ

參看 六一號、二九五號

六六 委員ニ闕員アルトキハ其ノ補闕後會議ヲ開クヲ例トス

委員ニ闕員ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ補闕ヲ爲シテ會議ヲ開クヲ例トスルモ常任委員ニ補闕タ場合ハ部會開會ニ必要ナル爲其ノ手續ヲ執ルノ趣ナキトキ又ハ審査急ヲ要タルトキハ委員闕員ノ儘會議ヲ開キタルコトアリ

參看 一五號

六七 委員會議ヲ一時中止シテ協議懇談ヲ爲ス

委員會議中委員相互ノ間若ハ委員ト政府委員トノ間ニ熟議ヲ爲ス爲又ハ報告書ヲ起草スル爲會議ヲ一時中止シテ協議懇談ヲ爲シタルコトアリ其ノ事例毎會期尠カラス

參看 一〇七號

六八 休憩ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス

休憩ハ委員會ニ在リテハ小委員長(主査)分科會ニ在リテハ主査任職者之ヲ宣告スルヲ例トスルモ委員會ハ

第二章 會議 第一節 開會、休憩及散會

(六七、六八)

四十九

分科會ニ諮リテ之ヲ決シタルコトアリ

六九 散會ハ委員長(主査)之ヲ決シ若シ小委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決

ス

委員會ニ於ケル散會ニ關シテハ(別)規定ナク(別)委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ(又ハ)委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス

第二節 出席、發言

七〇 委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ開會時刻前ニ委員長上其ノ旨届出ツヘキモノトス

議院法第八十二條ニ「各議院ノ議員ハ正當ノ理由ヲ以テ議長ニ届出スシテ會議又ハ委員會ニ闕席スルコトヲ得ス」ト規定セラレ委員ハ正當ノ理由ヲ以テ議長ニ届出スシテ委員會ニ闕席スルコトヲ得

議院法第八十二條

サルモノトス而シテ委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ開會時刻前ニ委員長(主査)ニ届出ツヘキコトヲ議決シ又ハ其ノ旨ヲ委員長ニ於テ宣告シタルコトアリ

第二十三回議會 明治四十年二月二十六日ノ決算委員會ニ於テ委員會又ハ分科會ニ出席スルコト能ハサル委員ハ開會定刻前ニ委員長若シ主査ニ其ノ理由ヲ明示シテ届出ツヘキコトヲ委員會議決セリ

第二十五回議會 明治四十二年二月十二日ノ請願委員會ニ於テ委員長立川雲平君ハ闕席届出ノ件及時刻厲行ノ件ヲ宣告セリ

【備考】

第二十六回議會 明治四十三年三月一日議長長谷場純孝君ハ「近頃特別委員會ニ無届テ缺席ノ諸君モアリ爲ニ流會ニナルコトガ往々アルト云フコトヲ委員長ヨリ議長迄申出デガアリマス果シテサウ云フコトガアルトスレバ甚ダ不都合デアルト思ヒマスカラ或ハ已ムコトヲ得ズ議院法ノ第九十九條ノ手續ヲ執ルコトニ至ルカモ知レマセヌ因テ念ノ爲一應御注意申シテ置キマス」ト告ケ又同月十九日及二十二日高木益太郎君ノ請求ニ對シ議長ハ民事訴訟法中改正法律案ノ委員長ニ委員會ヲ進行セムコトヲ注意セリ

(衆第二八條)

七一 發言セムトスルトキハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルコ

トヲ要ス

發言セムトスルトキハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルヲ要ス許可ヲ受ケネキテ發言シタルト
キハ委員長(主査)其ノ發言ヲ止ム

參看 七二號、九三號

七二 質疑ノ爲數回ニ互リ發言ノ必要アルトキハ豫メ總括的ニ其ノ發
言ノ許可ヲ受クルコトヲ得

委員會(分科會)ニ於テ發言セムトスルトキハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルコトヲ要スルモ
質疑等ニシテ一問一答ヲ必要トシ發言數回ニ及フ如キ場合ニ於テハ豫メ總括的ニ其ノ旨ノ許可ヲ受
ケ置キ其ノ都度許可ヲ受ケスシテ發言ヲ爲シタル事例勸告ス

參看 七一號、七三號

(衆第二〇四條)

七三 發言ハ通告ノ順序ニ依リ之ヲ許可ス

通告ナキ發言ノ要求ニ對シテハ通告ヲ爲シタル者ノ發言ヲ終リタル
後之ヲ許可ス

從來委員會ニ於ケル發言ハ豫メ通告ヲ爲スコトナク直ニ委員長ニ之ヲ要求シタルモ近來質疑、討論、
議事進行其ノ他發言要求者多數ニ上ルヲ以テ豫メ發言ノ通告ヲ爲サシメ其ノ通告ノ順序ニ依リテ之
ヲ許可シ同種ノ發言要求ノ間ニ在リテハ通告ナキ發言ノ要求ハ通告ヲ爲シタル者ノ發言ヲ終リタル
後之ヲ許可スルノ例トナレリ

但シ發言ニ關聯セル事項ニ關シテハ通告ノ順序ニ拘ラス之ヲ許可シタルコトアリ

參看 七一號、七二號、七四號、七五號、七六號

(衆第二〇七條)

七四 通告ヲ爲サスシテ發言ヲ求ムル者同時ニ二名以上アルトキハ委

員長(主査)先要求者ト認メタル者ヨリ順次之ヲ許可ス

豫メ通告ヲ爲サスシテ發言ノ要求ヲ爲ス者同時ニ二名以上アルトキハ委員長又ハ(主査)ニ於テ先要求

者ト認メタル者ヨリ順次發言セシムルヲ例トス

參看 七三號、七六號

衆第一〇四條
衆第一〇五條

七五 發言通告多數ニ上ルトキハ各派所屬委員數ニ應シ順位ヲ定メ之

干據テ發言セシムルヲ例トス

豫算委員會又ハ重要議案ノ特別委員會ニ於テ發言通告多數ニ上ルトキハ各派理事ノ協議ヲ以テ各派所屬委員數ノ按分率ニ依リ發言ノ順位ヲ定メ之干據テ發言セシムルヲ例トス

參看 七三號

七六 議事進行又ハ委員ノ身上ニ關スル發言ハ通告ノ順序ニ拘ラス直

ニ之ヲ許可スルヲ例トス

前項ノ發言ト雖他人ノ發言中ハ之ヲ許ササルヲ例トス

議事進行ニ關スル發言又ハ委員ノ身上ニ關スル發言ノ要求アリタルトキハ通告ノ有無ニ拘ラス他ノ

發言要求ニ先チ直ニ之ヲ許可スルヲ例トス但シ他人ノ發言中ナルトキハ其ノ發言ヲ終リタル後之ヲ許可スルヲ例トス

參看 七三號、七四號

(衆第二二條)

七七 發言議題外ノ事項ニ涉ルトキ之ヲ禁止ス

委員ノ發言ニシテ議題外ノ事項ニ涉リ又ハ許可ノ範圍外ニ出テタルトキハ委員長(主査)之ヲ禁止ス
在キ最近ノ事例ヲ掲ク

第五十六回議會 昭和四年三月十三日ノ豫算委員會ニ於テ委員加藤鏝五郎君ノ發言ニ對シ委員長

堀切善兵衛君ハ「加藤君ノ質問ハ餘リニ關係ガ遠ウゴザイマスカラ、近頃無暗ニ議事引延シノ惡

例アルニ依リ發言ヲ禁止致シマス」ト宣告シ禁止セタリト雖、其ノ答ニ「中止セシメタリ

第五十九回議會 昭和六年三月二日ノ米穀法中改正法律案委員會ニ於テ委員松山常次郎君ノ發言

ニ對シ委員長西村丹治郎君ハ「ソレ等ノ問題ハ適當ノ方法ヲ御執リニナレバ幾ラデモアナタノ

御意見ヲ御發表ニナル機會ガアルノデスカラ、成ルベク他ノ適當ナ機會ヲ御捉ヘニナルコトヲ

御願致シマス」ト述ヘ洋上メタリ、其ノ答ニ「中止セシメタリ

第六十一回議會 昭和七年三月二十二日滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件委員會ニ於テ委員田中貢君ノ討論中委員長大口喜六君ハ「今出テ居リマス問題ニ對シマシテドノ問題ニ贊成デアルカ、反對デアルカ分ラナイノミナラズ既ニ御意見ヲ述ベラレルコト一時間十分ノ長キニ互リ(中略)此ノ際ドノ案ニ反對カ贊成カノ御趣意ダケヲ茲ニ述ベラレマシテ、其他ハ御發言ヲ御控ヘテ願ヒタイト存ジマス」ト述ベ更ニ「田中君ノ御議論ハモウ十分デアルト思ヒマスカラ、是レ以上私ハ許シマセヌ」ト宣シ其ノ發言ヲ差止メテ止セシメタリ

(衆第三二條)

七八 委員長(主査)ハ其ノ席ヨリ簡單ナル質疑ヲ爲スコトヲ得

委員長(主査)自ラ國務大臣、政府委員又ハ提案者ニ對シ質疑ヲ爲サムトスルトキハ先ツ代理者ヲ指名シ其ノ席ヲ讓リタル後之ヲ爲スヲ例トス但シ簡單ナル質疑ハ其ノ席ヨリ之ヲ爲シタルコト尠カラス

參看 七五號

傍考入

(衆第三二條)

七九 委員長(主査)其ノ席ヨリ討論ヲ爲サムトスルトキハ委員會(分科會)ニ諮ルヲ要ス

衆議院規則第三十一條ニ「委員長自ラ討議ニ與カラムトスルトキハ委員中ヨリ代理者ヲ指名シ委員長席ニ著カシムヘシ」トアルヲ以テ委員長ハ代理者ヲ指名シ其ノ席ヲ讓リタル後發言スヘキモノナルモ委員長委員會ニ諮リ其ノ席ヨリ發言シタルコトアリ主査ニ付テハ別ニ規定ナク委員長ノ例ニ倣フ

第五十回議會 大正十四年二月二十三日ノ請願委員第二分科會ニ於テ主査岡田伊太郎君ハ分科會ニ諮リ其ノ席ヨリ討論ヲ爲セリ

第五十一回議會 大正十五年二月二十九日ノ豫算委員第二分科會ニ於テ主査高木益太郎君ハ分科會ニ諮リ其ノ席ヨリ討論ヲ爲セリ

第五十二回議會 昭和二年三月九日ノ造林助成法案委員會ニ於テ委員長村山喜一郎君ハ委員會ニ諮リ其ノ席ヨリ討論ヲ爲セリ

參看 七八號

八〇 請願委員長(主査)其ノ席ヨリ自己ノ紹介ニ係ル請願ノ紹介説明ヲ爲ス

請願委員會又ハ分科會ニ於テ委員長又ハ主査自己ノ紹介ニ係ル請願ノ紹介説明ヲ爲サムトスルトキハ其ノ席ヨリ之ヲ爲スヲ例トス

八一 委員長分科又ハ小委員ノ會議ニ出席發言ス

委員長自ラ分科會又ハ小委員會ニ出席發言スルコトニ就テハ何等ノ規定ナキモ從來分科會又ハ小委員會ニ出席シテ質疑又ハ説明ノ爲發言シタル事例尠カラス

八二 委員長他ノ委員會ニ出席シ所屬委員會ニ於ケル審査ノ結果ヲ説明ス

委員長他ノ委員會ニ出席シ其ノ委員會ノ審査ニ資スル爲自己所屬ノ委員會ニ於ケル審査ノ結果ヲ説

明シタルコトアリ

第八回議會 明治二十八年一月二十五日ノ復祿竝祿高不當處分訂正建議委員會ニ於ケル請願委員長濱名信平君ノ出席説明

八三 議案提出者ニ出席説明ヲ求ム

委員會ニ於テ必要アルトキハ付託ヲ受ケタル議案ノ提出者ニ出席説明ヲ求ムルコト尠カラス

參看 八四號、八六號、九〇號、一三九號

八四 議案提出者ヨリ出席説明ノ要求アルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス

議案提出者ヨリ出席説明セムコトノ要求アルトキハ委員長任意ニ之ヲ許可シ又ハ委員會ニ諮リテ之ヲ許可スルヲ例トス

參看 八三號、九一號、一三九號

八五 建議委員會及其ノ分科會ハ豫メ提案者ニ對シ出席ヲ促シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ム

建議委員會及其ノ分科會ハ其ノ審査ノ日時、審査日程及提案者ノ出席説明ヲ促スノ通知ヲ衆議院公報ニ掲載シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ムルヲ例トス

參看 八三號

八六 請願委員會及其ノ分科會ハ豫メ紹介議員ニ對シ出席ヲ促シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ム

請願委員會及其ノ分科會ニ於テ請願ヲ審査スルニ當リ紹介議員ニ説明ヲ爲サシムルノ必要アリト認めタルトキハ委員會ノ決議ヲ以テ其ノ出席説明ヲ求ムルノ例ナリシカ第二十二回議會以來ハ其ノ日時及審査日程ヲ衆議院公報ニ掲載スルノ外特ニ郵書ヲ以テ之ヲ紹介議員ニ通知シ其ノ出席説明ヲ促スヲ例トス

參看 八七號

八七 請願紹介議員出席セサルトキ他ノ議員代テ説明ヲ爲ス

請願審査ニ際シ紹介議員出席セサル場合ニ於テ分科ノ主査、委員又ハ他ノ議員代テ請願ノ説明ヲ爲シタル事例尠カラス

參看 八六號、一七九號

八八 請願紹介議員ノ發言ハ請願ノ説明及質疑ニ對スル答辯ニ限ル

請願委員會ニ於ケル紹介議員ノ發言ハ請願ノ紹介説明及委員又ハ政府委員ノ質疑ニ對スル答辯以外ノ事項ニ涉ルコトヲ得サルモノトス而シテ左ノ事例ニ於テハ特ニ紹介議員ノ發言ヲ制限セムコトヲ決議セリ

第四十六回議會 大正十二年十月九日ノ請願委員會ニ於テ委員長三輪市太郎君ヨリ紹介議員ノ政府ニ對スル質疑ヲ制限セムコトヲ提議シタルニ委員會ハ異議ナク之ヲ可決セリ

八八 請願紹介議員ノ發言ハ請願ノ説明及質疑ニ對スル答辯ニ限ル

議第二二條

八九 議長委員會ニ出席シ發言ヲ爲ス

議院法第十二條ニ依リ議長任意ニ常任委員會及特別委員會ニ出席シ發言ヲ爲シ又ハ委員會ノ要求ニ依リテ出席シ發言シタルコトアリ左ニ其ノ事例ヲ掲ク

(一) 議長任意ニ出席シ發言シタル例

第四回議會 明治二十六年二月十六日ノ豫算委員中調査委員會ニ於テ更ニ委員ヲ設ケテ政府ト交

渉セシムヘキヤ否ニ付議論ヲ生シタルトキ議長星亨君ハ該委員會ニ出席シ意見ヲ陳述セリ

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ同日ノ議院會議中議長ノ爲シタル

委員長理事互選ノ日時ニ關スル宣告ニ付議論ヲ生シタルトキ議長鳩山和夫君ハ該委員會ニ出席

シ議場ニ於ケル宣告ノ意義ニ付陳述セリ

第三十一回議會 大正三年二月二十六日ノ懲罰委員會ニ於テ議長大岡育造君ハ綾部惣兵衛君懲罰

事犯ノ件ニ關スル議場ニ於ケル宣告ニ付陳述セリ

第三十六回議會 大正四年六月七日ノ決議案(第二號)委員會ニ於テ衆議院書記官長林田龜太郎君

ハノ任意出席ヲ求メタルニ對シ議長島田三郎君ハ即日同委員會ニ出席シ議長ハ議院法第十二條ニ

依リ出席シタル旨ヲ告ケ林田書記官長任意出席要求ノ件ニ付陳述セリ

其ノ事例ハ

(二) 議長委員會ノ要求ニ依リ出席シ發言シタル例

第四十二回議會 大正九年二月二十日ノ院內警察事項ニ關スル特別調査委員會ニ於テ議長ノ出席

ヲ要求シタルニ議長大岡育造君ハ同月二十一日同委員會ニ出席シ院內警察事項ニ關スル特別調

査委員會設置ノ件ヲ提案シタル趣旨ニ付陳述セリ

第五十六回議會 昭和四年二月六日ノ懲罰委員會ニ於テ議長ノ要求ニ依リ副議長清瀬一郎君ハ佐藤

實君懲罰事犯ノ件ニ關シ議場ニ於ケル宣告ニ付陳述セリ

又開院式 勅語奉答文起草ノ件委員會ニ於テハ每會期議長、副議長之ニ臨席シテ文案起草ノ協議ニ

加ハルヲ例トス

衆第五四條

九〇 委員ニ非サル議員ニ出席説明ヲ求ム

衆議院規則第五十四條ニ「委員會ハ其ノ付託ヲ受ケタル事件ニ關シ意見ヲ有スル議員アルトキハ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得」ト規定セヨレ委員會議ニ於テ委員又ハ提案者ニ非サル議員ニ出席説明ヲ求メタルコト尠カラス

參看 八三號、九一號

(衆第五四條)

九一 委員ニ非サル議員ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ

例トス

委員ニ非サル議員ヨリ委員會ニ出席シテ發言セムコトヲ求ムルトキハ委員長^{ニ於テ}任^{ニ於テ}之ヲ許可シ又ハ委員會ニ諮リテ之ヲ許可スルヲ例トス

參看 八四號、九〇號、九八號

(衆第五四條)

九二 委員ニ非サル議員ノ發言ハ討論ニ涉ルコトヲ得ス

委員會(分科會)ニ於テ其ノ委員^(分科員)ニ非サル議員又ハ其ノ分科員ニ非サル委員ノ發言ハ單^ニ意見ヲ述^ルル^ル止^ル討論ニ涉ルコトヲ得サルモノトス

參看 八八號

(憲第五四條
議第四二條
議第四三條)

九三 國務大臣及政府委員ト雖發言ヲ爲スニハ其ノ都度委員長(主査)

ノ許可ヲ受クルヲ要ス

議院法第四十三條ニ「議院ニ於テ議案ヲ委員ニ付シタルトキハ國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ委員會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得」トアルモ發言ヲ爲スニハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルヲ要ス

參看 七一號

議第四四條

九四 國務大臣及政府委員ニ出席説明ヲ求ム

委員會(分科會、小委員會)ニ於テ政府ノ説明若ハ意見ヲ聽ク必要アルトキハ議院法第四十四條「委員會ハ議長ヲ經由シテ政府委員ノ説明ヲ求ムルコトヲ得」ニ依リ政府委員ノ出席説明ヲ求メタルコトアルモ通常委員長(主査、小委員長)ヨリ直接之ヲ國務大臣及政府委員ニ通達シ其ノ出席ヲ求ムルヲ例トス

參看 九五號、九七號

九五 闕席セル國務大臣ニ對シテ質疑ヲ爲シ書面ニ依ル答辯ヲ求ム

第五十八回議會 昭和五年五月二日及三日ノ豫算委員會ニ於テ委員山崎達之輔君、同月五日ノ豫算第四分科會ニ於テ委員内田信也君ハ孰レモ當時入院加療中ナリシ宇垣陸軍大臣ニ對シ政府委員ヲ經テ口頭質疑ヲ爲シ書面ニ依ル答辯ヲ求メタルニ宇垣陸軍大臣ハ之ニ對シ闕席ノ儘夫々書面ヲ以テ答辯ヲ爲セリ

參看 九四號

九六 政府委員其ノ所屬官廳ノ所管事項全體ニ互リテ答辯ヲ爲ス

政府委員ハ自己ノ管掌スル事項ニ付テノミ答辯ヲ爲スニ止マラス其ノ所屬官廳ノ所管事項全體ニ互リテ答辯ヲ爲シタルコトアリ

第三十一回議會 大正三年二月四日ノ豫算委員第二分科會ニ於テ委員木下成太郎君ハ朝鮮ノ政府委員ノ權限ニ付政府委員ニ辯明ヲ要求シタルニ内務省所管政府委員荒井賢太郎君(朝鮮總督府度支部長官)ハ「吾々ハ朝鮮總督府ノ全部ヲ代表シテ居リマスカラ吾々ノ知ツテ居ルコトハ何レモ御答スル權限ヲ持ツテ居ルモノト信ジテ居リマス」ト辯明シタリ茲ニ於テ主査植場平君ハ

「政府委員ハ總テ責任ノアル人トシテ答ヘルコトデアルト云フノデアリマスカラ尙不足スル所ガアレバ其ノ管轄ノ監督官タルベキ内務大臣ニ御質シニナツタラ宜カラウト思ヒマス」ト述ヘ質疑ヲ繼續セシメタリ

九七 政府委員ニ非サル官吏ニ出席説明ヲ求ム

委員會(分科會、小委員會)ニ於テ或事項ニ關スル實狀ヲ聽取シ又ハ技術上ノ説明ヲ必要トスルトキハ政府ト交渉シ政府委員ニ非サル官吏ノ出席説明ヲ求ム其ノ事例尠カラス

參看 九八號

九八 政府委員ニ非サル官吏ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス

政府委員ヲ補佐スル爲政府委員ニ非サル官吏ヨリ出席發言ヲ求ムルコトアリ此ノ場合ニ於テハ委員長(主査)任職ノ之ヲ許可シ又ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ許可ス其ノ事例毎會期尠カラス

參看 九七號

第三節 秘密會及速記中止

九九 秘密會ハ委員長必要ト認メタルトキ又ハ委員會ノ決議若ハ政府ノ要求ニ依リ之ヲ開ク

委員會ニ於テハ秘密會議ヲ開ク場合ニ關シ議院法第三十七條ノ如キ規定ナキモ委員長必要ト認メタルリキ又ハ委員會ノ決議若ハ政府ノ要求ニ依リ之ヲ開ク其ノ事例尠カラス

參看 一〇〇號

若ハ委員會ノ決議若ハ政府ノ要求ニ依リ之ヲ開ク其ノ事例尠カラス

秘密會ハ

一〇〇 (軍事、外交、政策ノ秘密ニ涉リ、議員ノ身上ニ關シ又ハ重要事項ノ協議ヲ爲ス爲秘密會ヲ開ク

秘密會ハ主トシテ軍事、外交、政府ノ政策、議員ノ身上等ニ關スル事項ニ涉ル場合又ハ委員相互間若

(議第三三條)

ハ政府ト委員トノ間ニ協議ヲ爲ス場合等ニ之ヲ開クヲ例トス

一〇五 參看 九九號、一〇一號、一〇七號

(議第三三條 衆議院規則)

一〇一 懲罰委員會ノ審査ハ秘密會ヲ以テス

衆議院規則第二百六條ニ「懲罰事犯ノ議事ハ秘密會議ヲ以テス」ト規定セラレ委員會ニ於テモ之ニ準シテ懲罰事犯ニ關スル會議ハ秘密會ヲ以テス而シテ議員ノ傍聴ハ之ヲ許スヲ例トスルモ左ノ事例ニ於テハ議員ノ傍聴ヲモ禁止セリ

第二十五回議會 明治四十二年三月二十四日ノ懲罰委員會

第五十九回議會 昭和六年一月二十四日ノ懲罰委員會

第七十回議會 昭和十二年三月二十二日ノ懲罰委員會

第七十三回議會 昭和十三年三月二十二日及三月二十三日ノ懲罰委員會

議第三三條

一〇二 秘密會ニ於テ議員ノ傍聴ヲ禁止ス

委員會ハ之ヲ秘密會ト爲ス場合ト雖仍議員ノ傍聴ヲ禁セサルヲ例トスルモ之ヲ禁止シタルコト亦尠

第二章 會議

第三節 秘密會及速記中止

(九九、一〇一、一〇二)

六十九

カラス

一〇三 秘密會ニ於テ所管以外ノ政府委員ニ退席ヲ命ス

秘密會ニ於テ所管政府委員ノ臨席ヲ禁セザルモ所管以外ノ政府委員ニ退席ヲ命シタルコトアリ

一〇四 秘密會ニ於テハ懲罰委員會ノ外速記ヲ附セサルヲ例トス

懲罰委員會ニ於テハ常ニ速記ヲ附スルモ其ノ他ノ委員會ニ於テハ秘密會ト爲シタルトキ速記ヲ附シ又ハ附セスシテ一定スル所ナカリシカ近來ハ速記ヲ附セサルノ例トナレリ

一〇一 參看 一〇五號

(議第三九條)

一〇五 秘密會ニ速記ハ之ヲ刊行セズ

秘密會ニ速記ヲ附シタル場合ニ於テハ議院法第三十九條ニ準用シ其ノ速記ハ刊行セズ之ヲ密封保存

ス

第二十八回議會 明治四十五年三月二十日ノ請願委員會ニ於テ第二辰丸損害賠償金下付ノ件ヲ議

スルニ當リ委員長武藤金吉君ヨリ「昨年ハ此問題ニ付テハ秘密會ヲ開イテアリマスガ、秘密會ヲ開イテ審議スルト云フコトガ穩當デアラウト思ヒマス、昨年ハ速記ヲ附シテ議長ノ手許ニ存シ

テ置キマシタカラ、本年モ速記ヲ止メナイデ速記ダケハ致シマシテ議長ノ手許ニ保存シテ置イテ議事ヲ進行スル方ガ宜シカラウト思ヒマス如何デス」ト諮リタルニ異議ナカリキ

第三十五回議會 大正三年十二月十二日ノ豫算委員會ニ於テ委員石田仁太郎君ノ質問カ國交上竝

軍事上ニ關係スルヲ以テ政府ノ要求ニ基キ秘密會ヲ開クコトニ決シ委員長大岡育造君ハ「ソレデハ秘密會ヲ開キマス——御諮リヲ致シマス、秘密會ノコトデハアリマスケレドモ、從來速記ハ之ヲ存シテ密封シテ後日ノ證左ニ留メルト云フコトヲシテ置キタイト思ヒマスガ如何デスカ」ト諮リタルニ異議ナカリキ

第五十九回議會 昭和六年二月二十五日ノ地租法案外六件委員會ニ於テ軍事上ノ機密ニ關シ秘密

會ヲ開キタルトキ委員岡田忠彦君ヨリ「秘密會中ノ言論ハ何レモ之ヲ速記ニ留メテ、但シ是ハ嚴封ノ上議院ニ保管サレルコトニ致シタイト思ヒマス」トノ動議ヲ提出シ委員長本田恒之君ハ之ヲ委員會ニ諮リタルニ異議ナカリキ

第六十四回議會 昭和八年一月三十一日ノ造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外
二件委員會ニ於テ軍事上ノ機密ニ關シ秘密會ヲ開キタルトキ委員長金光庸夫君ハ「記録ヲ取ル
關係ガアリマスカラ」ト述テ速記ヲ附シテ會議ヲ爲セルモ秘密會終了後委員長ハ此ノ速記ハ密
封保存セシムル旨ヲ宣告セリ

參看 一〇〇號、一〇四號

一〇六 速記ノ中止ハ委員長(主査)必要ト認メタルトキ又ハ委員會分
科會ノ決議若ハ政府ノ要求キ依リ之ヲ爲ス

速記ノ中止ハ委員長(主査)必要ト認メタルトキ又ハ委員會(分科會)ノ決議若ハ政府ノ要求キ依リ之
ヲ爲ス

參看 一〇七號

一〇七 軍事、外交、政策ノ秘密ニ涉リ又ハ協議懇談ヲ爲ス等ノ爲速記

ヲ中止ス

軍事、外交其ノ他政府ノ政策ニ關シ秘密ニ涉ル場合又ハ協議懇談等ノ場合ニ於テ秘密會ヲ開クニ至
ラサルモ速記ヲ中止シタル事例尠カラス

參看 六七號、一〇〇號、一〇六號、二九三號

第四節 委員會ノ秩序

議第九二條
(議第八七條)

一〇八 不穩ト認ムル發言ニ對シ委員長注意ヲ爲シ又ハ取消ヲ命ス
委員ノ發言ニシテ不穩ト認ムルモノニ對シテハ委員長(主査)注意ヲ爲シ又ハ其ノ取消ヲ命ス最近ノ
事例左ノ如シ

(一) 注意ヲ爲シタル例

第六十二回議會 昭和七年六月六日ノ豫算委員會ニ於テ委員長大口喜六君ハ委員矢野庄太郎君ノ
發言ニ對シ「……斯ウ云フ問題ハ直グ御取消シニナツタラ」ト述ヘ注意ヲ爲シタルニ矢野委員
ハ直ニ其ノ言辭ヲ取消シタリ

右ノ事自直ニ

第六十三回議會 昭和七年八月三十一日ノ豫算委員會ニ於テ委員長岡田忠彦君ハ委員清瀬一郎君ノ發言ニ對シ「……將來ノ御注意迄ニ申上ゲテ置キマス」ト述ヘ注意ヲ爲シタリ

第六十四回議會 昭和八年二月七日ノ豫算委員第五分科會ニ於テ主査加藤知正君ハ委員本田義成君ノ發言ニ對シ「……是ハ洵ニ穩當ナラザル御言葉ダト思ヒマスカラ、御取消アランコトヲ主査ヨリ希望致シマス」ト注意ヲ爲シタルニ本田委員ハ其ノ言辭ヲ取消シタリ

第六十五回議會 昭和九年三月九日ノ決算委員會ニ於テ委員長丹下茂十郎君ハ委員福田關太郎君ノ發言ニ對シ「福田君御注意シマス、用語ヲ御慎ミアランコトヲ望ミマス」ト述ヘ注意ヲ爲シタリ

第六十六回議會 昭和九年十二月五日ノ豫算委員會ニ於テ委員長島田俊雄君ハ委員由谷義治君ノ發言ニ對シ「御發言中ニ形容詞デハアリマシタケレドモ、發言者自身モ穩カデナイト云フヤウニ認めラレタ言葉ガアツタノデアリマスガ、ソレハ御取消ニナツテハ如何デスカ」ト注意シタルニ由谷委員ハ直ニ其ノ言辭ヲ取消シタリ
タセテハ其ノ言辭ヲ取消シタリ
(二) 取消ヲ命シタル例

第五十回議會 大正十四年三月十六日ノ豫算委員會ニ於テ委員長町田忠治君ハ委員川口義久君ノ發言ニ對シ「……ト云フ言葉ハ間違ヒデアリマスカ、甚ダ穩當ヲ缺イテ居ルト思ヒマス、御取

消ニナリマスカ」ト注意シタルニ川口委員ハ「命ゼラレタラ取消シマス」ト述ヘタルヲ以テ委員長ハ其ノ取消ヲ命シタルニ川口委員ハ直ニ其ノ言辭ヲ取消シタリ

第五十八回議會 昭和五年五月一日ノ豫算委員會ニ於テ委員長森田茂君ハ委員東武君ノ發言ニ對シ「……ト云フ言葉ガアリマシタガ是ハ頗ル不穩當ナル言葉ト思ヒマス、取消ヲ命ジマス」ト宣告シタルヲ以テ東委員ハ其ノ言辭ヲ取消シタリ

参考 一〇九號

一〇九 發言取消ノ命ニ應セサル委員ノ發言ヲ禁止ス

第五十六回議會 昭和四年一月三十日ノ豫算委員會ニ於テ堀切委員長ハ委員岡崎久太郎君ノ發言ニ對シ取消ヲ命シタルモ同君ハ其ノ命ニ應セサリシヲ以テ委員長ハ「……岡崎君ハ委員長ノ命ヲ御用ヒニナラスノデアリマスカラ、岡崎君ノ發言ハ是デ消滅シタルモノト認メ其ノ次ノ横堀治三郎君ニ發言ヲ許スコトニ致シマス」ト述ヘ其ノ發言ヲ禁止シタリ

而シテ岡崎委員ハ翌三十一日ノ會議ニ於テ之カ取消ヲ爲シタルヲ以テ委員長ハ更ニ其ノ發言ノ續行ヲ許可セリ

(議第八七條)

一一〇 傍聽中發言シタル議員ニ退場ヲ命ス

委員會ニ於テ傍聽中ノ議員發言シタルハ其ノ議員ニ退場ヲ命セリ

第五十六回議會 昭和四年一月三十日及二月四日ノ豫算委員會ニ於テ傍聽議員中發言シタル者アリタル

第五十八回議會 昭和五年五月一日及三日ノ豫算委員會ニ於テ傍聽議員中發言シタル者アリタル

第五十九回議會 昭和六年一月三十一日ノ豫算委員會ニ於テ傍聽議員中發言シタル者アリタル

第七十回議會 昭和十二年三月十五日ノ國民健康保險法案外二件委員會ニ於テ傍聽中發言シタル者アリタル

同 昭和十二年三月二十九日ノ農地法案委員會ニ於テ傍聽中發言シタル者アリタル

和君ハ其ノ議員ニ退場ヲ命セリ

委員長武内作平君ハ其ノ議員ニ退場ヲ命セリ

(議第九五條
衆第一九九條
衆第二〇二條)

一一一 委員會ニ於テ懲罰事犯起リタルトキハ委員長ハ直ニ書面ヲ以テ議長ニ報告ス

第三十九回議會 大正六年七月十日ノ懲罰委員會ニ於テ齋藤隆夫君懲罰事犯ノ審査中廣岡宇一郎君ヨリ横山勝太郎君ヲ懲罰委員ニ付スヘシトノ動議提出セラレ委員會ハ之ヲ可決セリ而シテ

委員長ハ翌十五日其ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

(同日直ニ)

(附録)
第一六六號
第一六七號

一三〇 議案ノ審査
一三一 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三二 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三三 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三四 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三五 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三六 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三七 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三八 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一三九 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ
一四〇 委員會ニ列テ懸置申出ルルハイキハ委員會ハ前ニ書面モ以テ

第三章 議案ノ審査

第一節 審査ノ開始及期間

一一二 豫算案ノ提出アリタルトキハ議長ハ直ニ之ヲ議院ニ報道シ且當日ノ衆議院公報ニ掲載ス

豫算案提出セラレタルトキハ議長ハ直ニ之ヲ議院ニ報道シ且當日ノ衆議院公報ニ掲載ス若提出ノ日議院會議ナキトキハ提出ノ日ノ公報ニ掲載シテ之ヲ報道スルモノトス而シテ本豫算案及特別議會ノ始ニ提出セラルル追加豫算案ハ議院會議日ニ提出セラルルヲ例トスルモ第一回、第二回、第十七回、第十八回(特別)、第三十七回及第四十回議會ニ於テハ議院會議ナキ日ニ提出セラレタリ其ノ他ノ追加豫算案ハ議院會議日タルト否トニ拘ラス提出セラル

參看 一一三號、一一五號

一一三 對算案ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付議ナシムルハイ

第三章 議案ノ審査 第一節 審査ノ開始及期間

(一一二)

七十九

(附録)
第一六八號
第一六九號

一一三 豫算案ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノト
ス

本豫算案タルト追加豫算案タルトヲ問ハス豫算案ハ議院會議ニ於テ特ニ委員付託ノ手續ヲ執ルコト
ナク其ノ提出アリタル當日ヲ以テ委員ニ付託セラレタルモノトシ直ニ審査ヲ開始シ得ルモノトス然
レトモ追加豫算案ニ付政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依ル要求アルトキハ豫算委員ノ審査ヲ經ス
直ニ議院會議ニ於テ議決スルヲ例トス又追加豫算案ニ對シ政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ要求セルモ
ノハ豫算委員ノ審査ヲ經ルヲ例トス

第一回議會 (一) 議院法第二十八條但書ノ要求アリタルモノ

第一回議會 明治二十四年二月二十一日明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ
議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シ同
月二十四日直ニ院議ニ付セリ(假議院再築費)

第九回議會 明治二十九年三月二十六日議院(子)明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案ニ對シ
政府委員水野辨理公使ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ議決アリタキ旨ノ印頭
要求ヲ容ル委員ヲ付託スルヲ以テ直ニ院議ニ付セリ
〔議院再築費ノ審査者略
委員〕

第二十九回(臨時)議會 大正元年八月二十三日明治四十五年年度歳入歳出總豫算追加案ヲ提出シ政府
ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略
シテ翌二十四日直ニ院議ニ付セリ(大喪費)

第三十二回(臨時)議會 大正三年五月五日大正三年年度歳入歳出總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ議
院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シテ翌
六日直ニ院議ニ付セリ(大喪費)

第五十四回(解散)議會 昭和二年十二月二十六日(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案ヲ提
出シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審
査ヲ省略シテ翌二十七日直ニ院議ニ付セリ(大禮費)

第六十一回(臨時)議會 昭和七年三月二十日政府ヨリ(第一號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案、
(第二號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)昭和七年度歳入歳出總豫算追加案及(特一
號)昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ヲ提出シ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件
トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シテ同月二十二日直ニ院議ニ付セリ(滿洲
事件費)

(二) 單ニ緊急事件トシテノ要求アリ委員ノ審査ヲ經タルモノ

第二回議會

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十四年十一月二十七日提出同日要求)

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十四年十二月九日提出同日要求)

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

第四回議會 明治二十五年歳入歳出總豫算追加案(明治二十五年十二月六日提出翌日要求)

第五回議會 明治二十六年歳入歳出總豫算追加案(明治二十六年十二月一日提出同日要求)

第十回議會 (別號)明治二十九年歳入歳出總豫算追加案(明治三十年一月二十二日提出同日要求)

第十二回(特別)議會 (第二號)明治三十一年歳入歳出總豫算追加案(明治三十一年五月三十日提出同日要求)

第三十四回(臨時)議會 大正三年度歳入歳出總豫算追加案(大正三年九月四日提出同日要求)

臨時軍事費豫算案(同上)

右ノ外委員ノ審査中單ニ緊急事件トシテ要求セラレタルモノ十件アリ

【備考】

第十回議會明治二十九年十二月二十六日提出セラレタル(別號)明治二十九年歳入歳出總豫算追加案及第五十二回議會昭和元年十二月二十七日提出セラレタル第一號(大正十五、昭和

參看 一一二號、一一五號

元年度歳入歳出總豫算追加案ハ孰レモ政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ要求アリタルモ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シ直ニ院議ニ付セリ

豫算案ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノトシ即日豫算委員ハ其ノ審査ヲ開始シ得ルモ本豫算案及特別議會ノ始ニ提出セララルル追加豫算案ハ議院會議ニ於テ國務大臣ヨリ施政方針又ハ財政計畫ヲ演説スルヲ以テ之ニ對スル質疑應答ノ終了シタルトキ又ハ略終了シタルトキヨリ審査ヲ開始スルヲ例トス其ノ他ノ追加豫算案ニ付テハ隨時ニ之ヲ開始ス

一一四 本豫算案及特別議會ノ始ニ提出セララルル追加豫算案ノ審査ハ

議院會議ニ於テ國務大臣ノ演説ニ對スル質疑ノ終了シタルトキ又ハ略終了シタルトキヨリ開始スルヲ例トス

豫算案ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノトシ即日豫算委員ハ其ノ審査ヲ開始シ得ルモ本豫算案及特別議會ノ始ニ提出セララルル追加豫算案ハ議院會議ニ於テ國務大臣ヨリ施政方針又ハ財政計畫ヲ演説スルヲ以テ之ニ對スル質疑應答ノ終了シタルトキ又ハ略終了シタルトキヨリ審査ヲ開始スルヲ例トス其ノ他ノ追加豫算案ニ付テハ隨時ニ之ヲ開始ス

下文(五五)

一一五 豫算案ノ審査期間ハ其ノ提出アリタル日ヨリ之ヲ起算ス
豫算案ノ審査期間ニ付テハ議院法第四十條第一項ニ「政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ」ト規定セラルル而シテ其ノ審査期間ハ提出アリタル日ヨリ之ヲ起算ス

参考 一一三號、一一六號

一一六 撤回ノ上再ヒ提出セラレタル豫算案ノ審査期間ハ更新ス

豫算案ヲ議院法第三十條ニ依リ撤回シ再ヒ提出セラレタルトキハ其ノ審査期間ハ更新スルモノトス
事例左ノ如シ

- 第十回議會 明治三十年一月八日提出ノ明治三十年度本豫算案ヲ同月十八日(審査開始前)撤回シ翌十九日再ヒ提出セラレタルトキ
- 第十六回議會 明治三十四年十二月十日提出ノ明治三十五年度本豫算案ヲ同月二十六日審査中撤回シ同日再ヒ提出セラレタルトキ

第三十回議會 大正二年二月五日提出ノ大正二年度本豫算案ヲ同月二十二日(審査開始前)撤回シ

同月二十七日再ヒ提出セラレタルトキ

第五十一回議會 大正十五年一月二十一日提出ノ大正十五年度本豫算案ヲ二月一日審査中撤回シ

同日再ヒ提出セラレタルトキ

第七十回議會 昭和十二年一月二十一日提出ノ昭和十二年度本豫算案ヲ二月三日(審査開始前)撤回シ

同月二十五日再ヒ提出セラレタルトキ

参考 一一五號

一一七 豫算委員長ヨリ審査期間延長ニ關スル要求書ヲ議長ニ提出ス

議院法第四十條第三項ニ「各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ユルコトヲ得ス」ト規定セラレ而シテ第五十九回議會昭和六年二月五日以來ノ豫算委員會ニ於ケル懸擾ノ爲豫算案ノ審査ヲ法定期間(二月十日)内ニ終ラズルノ見込ナカレトキ武内豫算委員長ハ二月十日理事會ノ決議ヲ經テ豫算審査期間五日間延長ニ關スル要求書ヲ議長ニ提出セリ

以下(五五)

第六十七回議會昭和十年二月九月砂田豫算委員長ハ豫算案ノ審査ヲ法定期間内ニ終了スル見込ナカ
リシヲ以テ其ノ審査期間十日間延長ヲ關スル要求書ヲ議長ニ提出セリ

参考 一一八號

議第四〇條

一一八 豫算案ノ審査期間延長セラル

第五十九回議會昭和六年二月十日ノ議院會議ニ於テ議長藤澤幾之輔君ハ豫算委員長ヨリ豫算審査期
間五日間延長ニ關スル要求書ヲ提出セラレタル旨ヲ述ヘ之ヲ議場ニ諮リタルニ院議異議ナク豫算委
員長ノ要求通リ決シタリ

第六十七回議會昭和十年二月九日ノ議院會議ニ於テ議長濱田國松君ハ豫算委員長ヨリ豫算審査期間
二日間延長ニ關スル要求書ヲ提出セラレタル旨ヲ述ヘ議場ニ諮リタルニ院議豫算委員長ノ要求通リ
決シタリ

参考 一一七號、一三五號

一一九 豫算案ノ審査ヲ法定期間内ニ終了セサリシトキ豫算委員ヲシ
テ再ヒ其ノ審査ヲ爲サシム

第一回議會 明治二十三年十二月二十日ノ議院會議ニ於テ豫算委員長大江卓君ハ明治二十四年度
本豫算案ノ審査ハ法定期間内ニ終了セサリシ旨ヲ報告タシルニ議院ハ奈須川光實君提出ノ「再
ヒ豫算委員ヲシテ審査セシムヘシ」トノ動議及山崎友親君提出ノ「一週内ニ審査ヲ終了セシム
ヘシ」トノ動議ヲ執レモ可決シ豫算委員ヲシテ再ヒ其ノ審査ヲ爲サシメタリ

参考 一一五號

一二〇 豫算案ノ一部ヲ豫算委員ヲシテ再ヒ審査ヲ爲サシム

第四回議會 明治二十六年二月十五日ノ議院會議ニ於テ明治二十六年年度歳入歳出總豫算案中ノ海
軍繼續費ノ修正報告ニ對シ議院ハ井上角五郎君提出ノ「豫算委員ヲシテ再調査セシムヘシ」トノ
緊急動議ヲ可決シ豫算委員ヲシテ再ヒ審査ヲ爲サシメタリ

参考 一一九號

(憲第七二條)

一二二 決算ハ其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノトス
決算ハ議院會議ニ於テ特ニ委員付託ノ手續ヲ執ルコトナク其ノ提出アリタル當日委員ニ付託セラレタルモノトス

一二三 決算ノ審査ハ會計検査院ノ報告ニ對スル政府ノ辯明書ヲ待テ之ヲ開始スルヲ例トス

決算ノ提出アリタルトキハ決算委員ハ何時タリトモ之カ審査ヲ開始シ得ヘキモ審査上便宜ノ爲會計検査院ノ報告ニ對スル政府ノ辯明書ノ提出ヲ待テ審査ヲ開始スルヲ例トス

參看 一六六號

(憲第七二條)

一二三 決算ハ議院ノ審議了ラサルモ次ノ會期ニ再ヒ提出セラレス
審議未了ノ決算ハ後ノ會期ニ於テ之ヲ審査ス

決算ハ一度提出セラレタルトキハ其ノ會期ニ於テ議院ノ審議ヲ終了セサリシ場合ト雖次ノ會期以後再ヒ提出セラレルコトナシ而シテ第十三回議會明治三十二年三月八日ノ議院會議ニ於テ「本院ニ於テ解散其ノ他ノ事故ニ依リ決算ノ審査ヲ終了スルコト能ハサリシトキハ其ノ年度ノ如何ニ拘ラス其ノ未了ニ係ル決算ヲ審査スヘキモノトス」トノ決議案ヲ可決シ爾後此ノ決議ニ從ヒ議院ノ審議未了ノ決算ハ後ノ會期ニ於テ審査スルコトナレリ

參看 一二四號

一二四 議院ノ審議了ラサル決算ハ後ノ會期ニ於テ議長其ノ審査ヲ命シ又ハ委員長任意ニ其ノ審査ヲ開始ス

議院ノ審議了ラサル決算ハ後ノ會期ニ於テ之ヲ審査ス而シテ其ノ審査ハ議長議院會議ニ於テ之ヲ命シ又ハ委員長任意ニ之ヲ開始ス

(一) 議長議院會議ニ於テ審査ヲ命シタル例

第三十五回議會 大正三年十二月十六日ノ議院會議ニ於テ明治四十四年度決算(第三十一回議會

大正三年二月二日提出本會議未決)ニ對シ議長ヨリ其ノ審査ヲ命シタルモ解散ノ爲之ヲ爲スニ至ラス

第三十六回議會 大正四年五月二十一日ノ議院會議ニ於テ明治四十四年度決算(第三十一回議會大正三年二月二日提出本會議未決)及^{明治四十五年}大正元年度決算(第三十五回議會大正三年十二月二十五日提出委員會未決)ニ對シ議長ヨリ其ノ審査ヲ命シ決算委員ハ同月二十四日審査ニ著手シ孰レモ之カ審査ヲ完了シ議院ニ報告セリ

第四十回議會 大正七年一月二十九日ノ議院會議ニ於テ副議長濱田國松君ハ「第三十九回議會ニ提出サレマシタ大正三年度歳入歳出決算ハ同會期ニ於テ再審査ニ付スルコトニ決定シタル儘ニ爲ツテ居ルノデアリマス就キマシテハ先例ニ依テ此際審査ニ著手セラレム事ヲ希望致シマス」ト宣告シ審査ヲ命シタリ而シテ決算委員ハ大正七年三月十六日大正四年度ノ決算ト共ニ其ノ審査ヲ終了シ議院ニ報告セリ

(二) 委員長任意ニ審査ヲ開始シタル例

第十四回議會ニ於ケル明治二十八年年度決算(第十二回議會明治三十一年五月十九日提出委員會未決)ノ審査

第十五回議會ニ於ケル明治二十四年度決算(第六回議會明治二十七年五月十五日提出委員會未決)

ノ審査

第十八回議會ニ於ケル明治三十三年度決算(第十七回議會明治三十五年十二月二十八日提出委員會未決)ノ審査

第四十三回議會ニ於ケル大正六年度決算(第四十二回議會大正九年一月三十一日提出委員會未決)ノ審査

第五十六回議會ニ於ケル^{大正十五}昭和元年度決算(第五十五回議會昭和三年四月二十三日提出委員會未決)ノ審査

第五十九回議會ニ於ケル昭和三年度決算(第五十八回議會昭和五年四月二十三日提出委員會未決)ノ審査

ノ審査

第六十二回議會ニ於ケル昭和三年度決算(第五十八回議會昭和五年四月二十三日提出委員會未決)及昭和四年度決算(第五十九回議會昭和六年二月二十日提出委員會未決)ノ審査

參看 一三六號

第七十回議會ニ於ケル昭和十年度決算(第七十回議會昭和十二年二月二十四日提出委員會未決)ノ審査

一二五 國有財産増減總計算書ハ決算委員ニ付託セラル

官有財産管理規則ニ依リ明治二十四年度以來官有財産現在額總計算書ハ十年毎ニ官有財産増減總計算書ハ毎年帝國議會ニ報告セラレタルモ議院ニ於テハ唯其ノ報告ヲ受クルニ止リ之ヲ審査シタルコトナカリシカ大正十年法律第四十三號國有財産法施行ノ結果同十一年度ヨリ政府ハ國有財産現在額總計算書ヲ五年毎ニ又國有財産増減總計算書ヲ毎年帝國議會ニ報告スルコトトナリ第五十回議會同法ニ依ル最初ノ國有財産増減總計算書報告セラレタルトキ議院ニ於テハ之ヲ審査スルニ決シ其ノ審査ヲ決算委員ニ付託セリ而シテ爾後議院會議ニ於テ特ニ委員付託ノ手續ヲ執ルコトナク政府ヨリ報告アリタルコトヲ議長議場キ於テ報道シタルトキ直ニ委員ニ付託セラレタルモノトスルノ例トナレリ

第五十回議會 大正十四年三月十二日ノ議院會議ニ於テ作間耕逸君ハ「國有財産法ニ基キ報告セラレマシタル大正十一年度國有財産増減總計算書ノ事後監督ノ必要上本院ニ於テ特ニ審査スルノ必要ヲ認めマシタ仍テ便宜決算委員ニ之ヲ付託シテ審査セシメラレタイトノ動議デアリマス尙ホ將來モ之ヲ以テ例ト爲サレムコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ院議異議ナク之ヲ可決シタルヲ以テ決算委員ニ付託シテ之カ審査ヲ爲サシメタリ

參看 一二六號、一六八號

一二六 國有財産現在額總計算書ハ決算委員ニ於テ審査ス

國有財産現在額總計算書ハ大正十年法律第四十三號國有財産法ニ依リ五年毎ニ帝國議會ニ報告セラレタルモノニシテ第五十五回議會ニ初テ之ヲ報告セラレタルトキ決算委員ニ於テ之カ審査ヲ爲スコトヲ決議セリ

第五十五回議會 昭和三年四月二十七日ノ決算委員會ニ於テ委員長匹田銳吉君ハ「一ツ御諮リスルコトガアリマス茲ニ大正十五年及昭和元年度ノ國有財産増減報告書ト云フモノガアリマス、是ハ當然決算委員會ニ於テ審査スルコトニナツテ居ル、其外ニ昭和二年三月三十一日現在ノ國有財産現在額報告書ト云フモノガアリマス、前ノハ増減報告書デ今申スノハ現在額ノ報告書デ一アリマス、本會議ノ承認ヲ得ナクテモ之ヲ一絡ニ審査シテ差支ナイト思フ、御異議ナケレバ此増減報告書ト今ノ現在額報告書ト兩方共ニ決算委員會デ審査スルコトニシタイト思ヒマス」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ審査ヲ爲スコトニ決セリ
爾來此ノ例ニ依ルコトトナレリ

參看 一二五號、一六九號

一二七 審議未了ノ國有財産増減總計算書ヲ後ノ會期ニ於テ審査ス

第五十八回議會(特別)ニ提出セラレタル昭和三年度國有財産増減總計算書及第五十九回議會ニ提出セラレタル昭和四年度國有財産増減總計算書ハ孰レモ審議未了ノ儘會期終了セリ而シテ第六十二回議會(臨時)昭和七年六月四日ノ決算委員會ニ於テ右國有財産増減總計算書ヲ審査スルニ決シ同月十日其ノ審査ヲ結了セリ

(議第六四條
衆第一五七條)

書
在
レ

一二八 請願ノ審査ハ文書表調製後之ヲ開始スルヲ例トス

請願書ヲ受理シタルトキハ議長ハ之ヲ請願委員ニ送付シ請願委員ハ之ニ對シ請願文書表ヲ調製シタル後其ノ審査ヲ開始ス但シ會期切迫ノ爲文書表調製ノ遑ナキトキ請願本書ニ付審査シタルコトアリ

參看 一七一號、一七二號

衆第一五六條

一二九 請願ノ至急審査ヲ命セラレ

衆議院規則第五十六條ニ「議員簡單ナル説明書ヲ以テ一ノ請願ニ對シ至急ノ審査ヲ議院ニ請求スルトキハ議長ハ討論ヲ用キシテ議院ノ決ヲ採リ時日ヲ限り請願委員ニ付託スヘシ」ト規定セラレ而シテ議院ニ於テ請願ノ至急審査ヲ命スル場合ニ於テハ其ノ審査期限ヲ附スルヲ例トス其ノ事例左ノ如シ

第四回議會 明治二十六年一月十一日ノ議院會議ニ於テ岐阜縣羽栗郡西小熊村震災新設工事廢棄ノ請願並同縣土岐郡土岐川河身改修工事停止ノ請願及九州炭坑業患難救濟ノ請願ニ對シ至急審査ヲ命シ且一週間ヲ限リテ其ノ審査期限ヲ定メトセリ

第十四回議會 明治三十三年二年三日ノ議院會議ニ於テ「ベスト」病ニ感染シタル醫師救助ニ關スル請願ノ至急審査ヲ命シ且其ノ審査期限ヲ來ル五日迄トセリ

【備考】

第四回議會 明治二十六年一月十二日ノ議院會議ニ於テ岐阜縣震災土木工事實地調査ノ請願ニ對シ丸山名政君ヨリ衆議院規則第五十六條舊第五十三條ニ依リ時日ヲ限り至急ノ審査ヲ爲サレムニトテ請求シタルトキ院議之ヲ可決シタルモ其ノ審査ニ期限ヲ附セサ

第三章 議案ノ審査 第一節 審査ノ開始及期間

(一二九)

リキ而シテ請願委員會ニ於テハ右請願ニ對シ同月十四日其ノ審査ヲ終リ之ヲ院議ニ付ス
ヘキモノト議決セリ

一三〇 建議案ノ審査ハ印刷配付ノ後之ヲ開始スルヲ例トス

第六十三回議會 昭和七年八月二十九日ノ建議委員會ニ於テ建議案ハ凡テ其ノ印刷配付ノ時ヲ以
テ委員ニ付託セラレタルモノト認メ其ノ配付後審査ヲ開始スルコトト定メタリ

爾來每會期此ノ例ニ依ルコトトナレリ
參看 一七〇號

一三一 懲罰事犯ノ審査ニ期限ヲ附セラル

第二十五回議會 明治四十二年三月二十四日ノ議院會議ニ於テ藏原惟郭君ニ對スル懲罰事犯ヲ委
一員ニ付託スルニ當リ議長長谷場純孝君ハ「會期切迫ノ今日ノ場合デアリマスカラ速ニ委員會ヲ
開イテ相當ノ處置ヲ執ラレムコトヲ望ミマス」ト宣告シタル後大岡育造君ヨリ「唯今懲罰委員ニ

付セラレタル問題ヲ極メタイト思ヒマス六時マデニ時間ニ時ヲ限ッテ報告スベキコトヲ可決シ
テ議長ヨリ委員會ニ御達シニナルコトヲ希望致シマス」トノ緊急動議提出シタルニ院議異議
ナク之ヲ可決シ審査期限ヲ同日午後六時迄トセリ

一三二 特別委員ノ審査ニ期限ヲ附セラル

衆議院規則第五十七條ニ「議院ハ期限ヲ定メ委員會ヲシテ審査ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得」ト規定
セラレ議院ニ於テ委員付託ノ際又ハ委員ノ審査中其ノ審査ニ期限ヲ附セラレタルコトアリ其ノ事例
左ノ如シ

(一) 付託ノ際ニ期限ヲ附セラレタル例

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日ノ議院會議ニ於テ國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關
スル法律案ノ委員付託ニ當リ明後日迄ノ審査期限ヲ定メタル事アリ

同 同月二十六日ノ議院會議ニ於テ裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督
府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案ノ委員付託ニ當リ明日迄トノ審査期限ヲ定
メタル事アリ

(二) 審査中ニ期限ヲ附セラレタル例

第二回議會 明治二十三年十二月二十五日ノ議院會議ニ於テ同月九日ニ選定シタル逮捕事件ニ關スル委員ノ審査中(期限)ニ於テ二十四年一月十日迄トシテ審査期限ヲ附セラルセリ

第三十二回議會 明治三十九年三月十九日ノ議院會議ニ於テ七月十七日ニ選定シタル宅地地價修正法案委員ノ審査(期限)中ニ於テ二十四日迄トシテ審査期限ヲ定メラルセリ

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日ノ議院會議ニ於テ同月十八日ニ選定シタル公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案委員ノ審査(期限)中ニ於テ同日迄トシテ審査期限ヲ定メラル

一三三三 分科ノ審査ニ期限ヲ附ス

分科ノ審査ニ期限ヲ附スル必要アル場合ニ於テ委員長任意ニ又ハ委員會ニ諮リテ之ヲ附シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長任意ニ期限ヲ附シタル例

第十回議會 明治三十年一月二十日ノ請願委員會ニ於テ委員長小室重弘君ハ各分科ノ審査期限ヲ次會連日キリ以テ倍令迄トセリ

第十四回議會 明治三十三年二月一日ノ決算委員會ニ於テ委員長石黒涵一郎君ハ各分科ノ審査期限ヲ十日迄トセリ

(二) 委員會ニ諮リテ期限ヲ附シタル例

第六回議會 明治二十七年五月十八日ノ豫算委員會ニ於テ五日間ヲ限リテ各分科ノ審査期限ヲ定

第九回議會 明治二十九年一月十六日ノ豫算委員會ニ於テ五日間ヲ限リテ各分科ノ審査期限ヲ定

第十六回議會 明治三十五年二月二十六日ノ決算委員會ニ於テ各分科ノ審査期限ヲ五日間トセリ

第三十回議會 大正二年三月七日ノ決算委員會ニ於テ各分科ノ審査期限ヲ三月十六日迄トセリ

第四十二回議會 大正九年二月二十五日ノ決算委員會ニ於テ土曜日を限リテ各分科ノ審査期限ヲ定メタルニ由リ

近來豫算委員會及決算委員會ニ於テハ分科ノ審査日割ヲ定ムルノ例トナリ特ニ審査期限ヲ附シタル

コトナシ

一三四 小委員ノ審査ニ期限ヲ附ス

一三四 小委員ノ審査ニ期限ヲ附ス

小委員ノ審査ニ付スル場合ニ於テ委員長(主査)任意ニ又ハ委員會(分科會)ニ諮リテ期限ヲ附シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長(主査)任意ニ審査期限ヲ附シタル例

第二十七回議會 明治四十四年三月十日ノ商法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長鳩山和夫君ハ特別調査委員ノ審査期限ヲ同月十七日迄トセリ

第三十回議會 大正二年三月六日ノ私立學校用地免租ニ關スル法律案委員會ニ於テ委員長荒川五郎君ハ「島田君ト林君ト、提案者ノ久保君ト、此御三名ヲ修正委員ニ御願ヒ致シマス、ソレデハ今日ハ是デ止メマシテ修正委員ノ御方ハ日限ヲ切リマスカ、ソレデハ修正委員ノ御方ハ後へ御残り下サツテ、方法ヲ御相談ヲ願ヒマス云々」ト述ヘ特別修正委員設置當日ヲ以テ審査期限ト爲セリ

第三十六回議會 大正四年六月二日ノ無盡業法案外一件委員會ニ於テ委員長本田恒之君ハ「此案ハ非常ニ政府ニ於テ急イデ居リマスカラ、本日ノ午後三時迄ニ其懇談ヲセラル、コトニ願フテ(中略)午後三時カラ更ニ此會ヲ開キマスカラ特別委員ノ方ハソレマデニ御懇談下サルヤウニ願フ」ト述ヘ特別委員設置當日ノ午後三時迄ヲ審査期限ト爲セリ

ヒマス」ト述ヘ特別委員設置當日ノ午後三時迄ヲ審査期限ト爲セリ

第四十回議會 大正七年二月十八日ノ請願委員第二分科會ニ於テ主査福井三郎君ハ「主査ハ當然其の中ニ加ハルトシマシテ四名ニナリマス、早速ソレデハ指名致シマス、川崎君ト神谷君、百瀬君ニ此調査ヲ御付託申シマス、ソレカラ次ノ分科會マデニ調査ノ上デ御報告ヲ下サルヤウニ主査ヨリ希望致シテ置キマス」ト述ヘ次ノ分科會迄トク審査期限ヲ附セリ

第十六回議會 明治三十五年二月七日ノ賣藥印紙稅規則廢止法律案外一件委員會ニ於テ委員長高須賀禮君ハ「協議委員ハ來週ノ月曜日マデニ審査ヲナシ報告スルコト、定メタシ」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ協議委員ノ審査ニ期限ヲ附セリ

第二十二回議會 明治三十九年三月十日ノ請願委員第一分科會ニ於テ主査福井三郎君ハ「主査委員ニ對シ日ニテヲ限ルト云ツテモ、サウ近クテハ間ニ合ヒマスマイカラ一週間位ヲ期シタラド、審ウデス」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ審査期限ヲ附セリ

一三五 審査期限ノ附シタル例

第三章 議案ノ審査 第一節 審査ノ開始及期間 (一三四) 百二

516604

一三五 審査期限ヲ延期シタルコトアリ

議院ニ於テ委員會ノ審査ニ期限ヲ附シ又委員長ニ於テ分科會ノ審査ニ期限ヲ附シタル場合ニ於テ其ノ審査期限ヲ延期シタルコトアリ而シテ議院會議ニ於テ其ノ審査期限ヲ定メタルモノニ付テハ議院ノ許可ヲ得、又委員長ニ於テ分科會ニ對シ之ヲ定メタルモノニ付テハ委員長任職ニ其ノ延期ヲ許可セリ

第九回議會 (一) 議院ニ於テ定メタル審査期限ヲ延期シタル例

第九回議會 明治二十九年二月二十八日ノ議院會議ニ於テ移民保護法案ヲ委員ニ付託スルニ當リ

一週間ヲ限リテ審査期間ヲ定メタリ然ルニ三月六日ノ議院會議ニ於テ委員長工藤行幹君ヨリ報告期限ノ猶豫ヲ請求シタルニ議院ハ異議ナク之ヲ許可シタルヲ以テ委員會ハ同月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

第十回議會 (二) 委員長ノ定メタル審査期限ヲ延期シタル例

第十回議會 明治三十年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ委員長元田肇君ヨリ各分科ノ審査ニ二月十八日迄トシテ審査期限ヲ續セリ然ルニ翌二十七日ノ第一分科會ニ於テ主査湯本義憲君ハ右期間ノ延長ヲ報告シ「只今委員長ノ方ヘ向ケテ照會シタ處ガ各科トモ明後二十九日マデニハ必ズ議

委員決ヲシテ貫ハンケレバナラヌ斯様ナ通知ガアリマシダ左様御承知アランコトヲ望ミマス」ト宣

一 告セリ 委員ニ付託中ノ議案並ニ付託中ノ議案
參看 一一八號、一三二號、一三三號、一三四號

一三六 審査ヲ終了シテ報告シタル事件ヲ再ヒ同ノ又ハ他ノ委員ニ付託セラル

委員ニ (一) 同一委員會ニ再付託セラルモノノ (甲) 審査ニ付マラシムルモノ

第四回議會 明治二十六年二月十五日ノ議院會議ニ於テ明治二十六年年度豫算案中其ノ一部ヲ豫算委員ニ再付託セラルモノ (甲) 審査ニ付マラシムルモノ

第二十五回議會 明治四十二年二月二十日ノ議院會議ニ於テ電氣分解工業補助ノ請願ヲ請願委員ニ再付託セラルモノ (甲) 審査ニ付マラシムルモノ

第三十九回議會 大正六年七月十四日(會期終了日)ノ議院會議ニ於テ大正三年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算ヲ決算委員ニ再付託セラルモノ (甲) 審査ニ付マラシムルモノ

第五十回議會 大正十四年三月十四日ノ議院會議ニ於テ議員猪野毛利榮君懲罰事犯ノ件ヲ懲罰委員ニ再付託セラルモノ (甲) 審査ニ付マラシムルモノ

(衆第六七條
衆第三八條)
付スニハル

〔案第一三八號〕
〔案第一三九號〕

議第三〇條
案第九一條

議員ニ再付託セラルルモノハ再行付託セラルルモノニ異ナリ

第五十二回議會 昭和二年二月十七日ノ議院會議ニ於テ北海道農地特別處理法案ヲ議スルニ當リ

砂田重政君ヨリ「本案ハ更ニ審議ヲ重スル爲特別委員九名ヲ十八名ニ増加シ其ノ増加委員ハ議

長ニ於テ指名シ再議セラレムコトヲ望ム」トノ動議提出セラレ院議之ヲ可決キリシニ再行付託セラル

同 同年三月二十二日ノ議院會議ニ於テ信託業法中改正法律案ヲ同一委員ニ再付託セラル

第一回議會 明治二十四年二月十四日ノ議院會議ニ於テ明治二十四年度豫算案中其ノ一部ヲ特別

委員ニ再付託セラレタリ

第六回議會 明治二十七年五月二十二日ノ議院會議ニ於テ地租中當米ノ過剰金下戻ノ請願ヲ特別

委員ニ再付託セラレタリ

委員ニ再付託セラレタリ

委員ニ再付託セラレタリ

委員ニ再付託セラレタリ

委員ニ付託セラレタル議案ヲ其ノ審査中ニ於テ撤回セラレタルコトアリ最近ノ事例左ノ如シ

一三七 委員ニ付託中ノ議案撤回セラル

第五十一回議會 所得税法中改正法律案外二十七件委員會ニ付託中ノ明治四十年法律第二十一號

中改正法律案ヲ政府ニ於テ撤回シタル旨報道アリタルヲ以テ大正十五年二月十日ノ同委員會ニ

於テ金光委員長代理ヨリ其ノ旨報告セリ

第五十六回議會 府縣制中改正法律案外三件委員會ニ付託中ノ井上孝哉君外四名提出ニ係ル市制

中改正法律案、町村制中改正法律案及北海道會法中改正法律案ハ孰レモ昭和四年三月五日ノ議院

會議ニ於テ撤回ヲ許可セラレタルヲ以テ同月七日ノ委員會ニ於テ井上委員長ヨリ其ノ旨報告セリ

三聯

第二節 議案ノ趣旨辯明、質疑及討論

一三八 政府提出案ニ付テハ審査ノ始ニ於テ國務大臣又ハ政府委員ヨ

リ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス

政府提出案ニ付テハ委員會ニ於テ審査開始ノ際國務大臣若ハ政府委員ヨリ先ツ議案提出ノ趣旨ヲ辯

明スルヲ例トス但シ之ヲ省略シテ直ニ質疑又ハ討論ニ入りタルコトアリ

參看 一四六號、一四七號

一三九 議員提出案ニ付テハ提出者ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス

議員提出案ニ付テハ審査ノ始ニ於テ提出者委員長ノ許可ヲ得又ハ委員會ノ請求ニ依リ委員會ニ出席シ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス但シ議案幅狭又ハ會期切迫等ノ爲趣旨辯明ヲ省略シテ直ニ質疑又ハ討論ニ入りタルコトアリ

參看 八三號、八四號、一三八號

一四〇 質疑及答辯ハ口頭ヲ以テスルヲ例トス

委員會ニ於ケル質疑應答ハ數字ニ涉ルカ如キ場合ヲ除クノ外口頭ヲ以テスルヲ例トス

第三十一回議會 大正三年一月二十二日ノ豫算委員會ニ於テ大石正巳君ノ外交ニ關スル質疑ニ對シ外務大臣男爵牧野伸顯君ハ「ソレハドウゾ書面ヲ以テ御質問ヲ願ヒマス」ト述ヘタルニ委員長改野耕三君ハ「書面ト云フコトハアリマセヌ」ト宣告セリ
第三十九回議會 大正六年六月二十八日ノ豫算委員會ニ於テ島田三郎君ノ臨時外交調査委員會ニ

關スル質疑ニ對シ内閣總理大臣伯爵寺内正毅君ハ答辯ノ後「錯綜シタル事項ニ付テハ書面ニテ

應答スルモ差支ナイヤウニ思フ」ト述ヘ翌二十九日ノ同委員會ニ於テ野村嘉六君ト寺内閣總理大臣トノ間ニ「委員會ニ於ケル質問ニ對シ書面ニテ答辯シテ差支ナキヤ」ニ付テ質問應答ヲ重ネタルニ委員長山本悌二郎君ハ「元來委員會ノ性質カラ申シマスレバ其目的トスル所ハ口頭ヲ以テ委曲應酬ヲ重ネテ審議ヲ盡サシメルト云フコトハ勿論デアリマス文書ノ答辯ハ誤解ヲ避ケル點ニ於テハ便利ガアルカモ知レマセヌケレドモ一面ニ於テハソレガ爲メニ相互ノ意思ノ疏通ヲ妨ゲル下云フコトガ有ルノハ勿論デアリマス、ソレ故ニ委員會ノ進行ノ仕方致シマシテハ、委員ヨリ承認シタル場合若クハ委員ヨリ希望シタル場合又ハ數字ニ互ル問題等ノ場合ヲ除クノ外ハ、口頭ヲ以テ質問シ、口頭ヲ以テ答辯スルト云フコトヲ原則ニ致サナケレバナリマセヌ」ト宣告セリ

一四一 質疑ハ議案全部ニ付之ヲ爲スヲ例トス

質疑ヲ爲スノ順序ハ委員長任意ニ又ハ委員會ニ諮リテ之ヲ定ム而シテ重要ナル議案ニ付テハ大體ノ質疑ヲ爲シ次テ逐條ノ質疑ヲ入り簡單ナル議案ニ付テハ大體ト逐條トヲ分タス議案全部ニ付テ之ヲ爲スヲ例トスルモ豫メ綱目ヲ定メテ質疑ヲ爲シタルコトアリ

(案第三二條)

抄取し

一四二 質疑ノ終局ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス

質疑終了シタリト認ムルトキハ委員長(主査)任意ニ質疑終局ノ宣告ヲ爲スヲ例トスルモ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決シタルコトアリ但シ質疑通告者總テノ質疑ヲ了ラサルニ拘ラス質疑ヲ終局セムトスルトキハ委員長ヨリ發議シ又ハ動議ニ基キ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決スルモノトス

(案第九九條)

抄取し

一四三 討論ハ議案全部ニ付之ヲ爲スヲ例トス

討論ハ議案全部ヲ議題トシテ之ヲ爲スヲ例トスルモ議案浩瀚ナルカ若ハ重要ナルトキハ項目別ニ又ハ逐條ニ依リ討論ヲ爲シタルコトアリ

一四四 討論ヲ省略ス

議案ハ討論ノ後之ヲ議決スルヲ例トスルモ別ニ異議ナシト認メタルトキ、會期切迫ノ場合若ハ簡單

(案第二九條)

抄取し

一四五 討論ノ終局ハ委員長(主査)之ヲ決シ若ハ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決ス

ナル議案ニ付テハ委員長ノ發議又ハ動議ニ基キ會議ニ諮リテ其ノ討論ヲ省略シ直ニ議決シタルコトアリ
ナリ與出案ニ付テハ與出案者ハ與出委員會ニ發議マシテ其ノ討論ニ諮リテ之ヲ決ス
討論盡キタリト認ムルトキハ委員長(主査)討論終局ノ宣告ヲ爲シ又ハ委員會(分科會)ニ諮リテ後之ヲ決ス但シ討論通告者總テノ討論ヲ終ラサルニ拘ラス討論ヲ終局セムトスルトキハ委員長ヨリ發議シ又ハ動議ニ基キ委員會(分科會)ニ諮リテ之ヲ決スルモノトス

一四六 政府提出案ニ付テハ國務大臣若ハ政府委員ニ質疑ヲ爲シタル

後討論ニ移ルヲ例トス

政府提出案ニ付テハ會議ノ始ニ於テ國務大臣若ハ政府委員ヨリ提案ノ趣旨ヲ辨明シ而シテ委員ヨリ

之ニ對シ質疑ヲ爲シタル後討論ニ入ルヲ例トス但シ質疑ヲ省略シテ直ニ討論ニ移リタルコトアリ

參看 一三三號

一四六

一四七 貴族院提出案ニ付テハ政府ノ意見ヲ聽キタル後質疑ニ移ルヲ

例トス

貴族院提出案ニ付テハ提案理由ノ説明ナク其ノ議案ニ對スル政府ノ意見ヲ聽キタル後質疑ニ移ルヲ

例トス

參看

一三八號、一四八號

一四八 議員提出案ニ付テハ提出者若ハ政府委員ニ質疑ヲ爲シタル後

討論ニ移ルヲ例トス

議員提出案ニ付テハ提出者若ハ政府委員ニ質疑ヲ爲シ然ル後其ノ討論ニ移ルヲ例トス但シ之ヲ爲ス

(參看一三三號)

(議第五四條)

第十回參看 一三九號、一四七號

二 議員ノ提出案ニ付テハ

第三節 審査ノ方法

一四九 貴族院ノ修正ヲ經タル議案ハ之ヲ原案トシテ審査スルヲ例ト

スルモ修正前ノ政府提出案ヲ併セテ議題ニ供シタルコトアリナレトモ

政府提出案ヲ貴族院ニ於テ修正シ衆議院ニ送付シタルトキハ衆議院ハ貴族院ノ修正ヲ經タル議案ヲ

原案トシテ審査スルヲ例トスルヲ同時ニ修正前ノ政府案ヲ併セテ議題ニ供シタルコトアリ

第十四回議會ニ於テ政府ハ市町村立小學校教育費國庫補助法案ヲ先ニ貴族院ニ提出シ貴族院ハ之

ニ修正ヲ加ヘテ本院ニ送付シタルヲ以テ本院ハ之ヲ委員ノ審査ニ付シタルニ明治三十三年二月

九日ノ該法案委員會ニ於テ同案ノ討論ヲ爲スニ當リ委員長工藤行幹君ハ政府案ト貴族院ノ修正

ヲ經タル議案トヲ併セテ議題ニ供スル旨ヲ宣告セリ

第三十回議會ニ於テ政府ハ刑事略式手續法案ヲ先ニ貴族院ニ提出シ貴族院ハ之ニ修正ヲ加ヘテ本

第三章 議案ノ審査

第三節 審査ノ方法

(一四九)

百十一

院ニ送付シタルヲ以テ本院ハ之ヲ委員ノ審査ニ付シタルニ大正二年三月二十五日ノ該法案委員
會ニ於テ同案ノ討論ヲ爲スニ當リ委員長鶴澤總明君ハ貴族院ノ修正ヲ經タル議案ト政府案トヲ
併セテ議題ニ供スル旨ヲ宣告セリ

一五〇 同一委員ニ付託セラレタル政府提出案ト議員提出案ト内容同起
種ナルトキハ其ノ孰レカノ一案ヲ主トシ又ハ兩案ヲ共ニ審査ス

同一委員ニ付託セラレタル政府提出案ト議員提出案ト内容同起ナル場合ニ於テハ政府提出案ヲ主
トシ若ハ議員提出案ヲ主トシテ審査ヲ爲シ又ハ兩案ヲ共ニ審査ス(例ヲ掲ケレハ左ノ如シ)

(一) 政府提出案ヲ主トシタル例

第十五回議會 明治三十四年二月十五日ノ登録税法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル登録税法
中改正法律案(政府提出)、登録税法中改正法律案(木村誓太郎君外一名提出)及登録税法中改正
法律案(鹽田忠左衛門君提出)ノ三案ノ審査

(二) 議員提出案ヲ主トシタル例

第十回議會 明治三十年二月二十五日ノ集會及政社法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル集會及

政社法改正法律案(箕浦勝人君外二名提出)及集會及政社法中改正法律案(政府提出)ノ兩案ノ
審査

(三) 同時ニ審査ヲ爲シタル例

第三十一回議會 大正三年二月二十三日及三月五日ノ登録税法中改正法律案外一件委員會ニ於ケ
ル登録税法中改正法律案(政府提出)及登録税法中改正法律案(關直彦君外二名提出)ノ兩案ノ審
査

第五十一回議會 大正十五年二月二十五日及三月四日ノ議院法中改正法律案外一件委員會ニ於ケ
ル議院法中改正法律案(政府提出)及議院法中改正法律案(武藤金吉君外十九名提出)ノ兩案ノ審
査

第六十三回議會 昭和七年八月三十日ノ製絲業法案委員會ニ於ケル製絲業法案(政府提出)及製絲
業法案(胎中楠右衛門君外二名提出)ノ兩案ノ審査

參看 一五一號、一五二號、一五三號

一五一 同一委員ニ付託セラレタル貴族院提出案ト議員提出案ト内容同種ナルトキ貴族院提出案ヲ主トシテ審査ス

第三回議會 明治二十五年六月六日ノ民法商法施行延期法律案外二件委員會ニ於テハ貴族院提出案ヲ主トシテ審査セリ

參看 一五〇號、一五二號、一五三號

一五二 同一委員ニ付託セラレタル數箇ノ議員提出案内容同種ナルトキハ其ノ數案ヲ一括シテ議題ニ供シ之ヲ審査スルヲ例トス

同一委員ニ付託セラレタル數箇ノ議員提出案内容同種ナルトキハ其ノ數案ヲ一括シテ議題ニ供シ之ヲ審査スルヲ例トス

參看 一五〇號、一五一號、一五三號

一五三 同一委員ニ付託セラレタル數箇ノ議案内容別種ナルトキハ先ツ議題ニ供スヘキ順序ヲ定ム但シ各議案牽聯セル場合ハ一括シテ之ヲ議題ニ供シタルコトアリ

同一委員ニ併セ付託セラレタル數箇ノ議案其ノ内容別種ナルトキハ委員長任意ニ又ト委員會ヲ設キ議題ニ供スヘキ順序ヲ定ムルヲ例トス但シ各議案相互ニ牽聯セル場合ハ之ヲ一括シテ議題ニ供シタルコトアリ

參看 一五〇號、一五二號、一五三號

一五四 付託セラレタル議案カ他ノ議案ト牽聯スル爲其ノ審査ヲ一時延期ス

委員ニ付託セラレタル議案カ他ノ議案ニ牽聯セル爲付託ヲ受ケタル議案ノ審査ヲ一時延期シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

第十三回議會 明治三十二年一月三十一日ノ明治三十一年勅令第七十號(承諾ヲ求ムル件)委員

會ニ於テ「本案ハ改正選舉法案ノ兩院ヲ通過スルヤ否ヤノ判明スルマデ之ガ決定ヲ延期スヘシ」トノ決議ヲ爲シ同年二月十日會議ヲ開キタルモ前同様ノ理由ニヨリ更ニ延期シ同年三月十三日會議ヲ開キ議決セリ

同 同年二月六日ノ家屋稅法案外二件委員會ニ於テ大藏大臣伯爵松方正義君ノ「政府モ家屋稅ノコトハ、考慮スル次第モゴザイマスカラ、是ハドウゾ、醬油稅郵便稅ノ後ニ廻ハシテ於テ下サツタナラ其ノ中貴族院ノ模様モ分リマセウ」トノ意見ヲ容レ翌七日會議ヲ開キ審査セリ

同 同年二月二十三日ノ國有林野法案外三件委員會ニ於テ國有土地森林原野下辰法案第二條ヲ議スルニ當リ「此社寺土地ノ遞減祿ノ件ニ付テハ林野法第十七條ノ決定スルマテ延期スヘシ」トノ決議ヲ爲シ翌二十四日會議ヲ開キ議決セリ

第二十一回議會 明治三十八年二月三日ノ請願委員會ニ於テ「鑛業條例改正ニ關スル請願ハ之ニ關スル法律案提出セラレ今正ニ審議中ナルヲ以テ之カ議決ヲ延期スヘシ」トノ決議ヲ爲シ其ノ後會議ヲ開カサリキ

第三十一回議會 大正三年二月二日ノ請願委員第一分科會ニ於テ酒造稅納期繰下ノ請願ヲ議スルニ當リ川合直次君ノ「此ノ酒造稅納期繰下ノ件ハ議會ノ問題ニナツテ居ッテ(酒造稅法改正法律案)今研究中デアリマスカラ今日決議ヲ延期ヲ願ヒタイ」トノ意見ヲ容レ其ノ後同月十六日該請

願ノ審査ヲ爲セリ

第六十七回議會 昭和十年三月十八日ノ請願委員會ニ於テ暹羅碎白米輸入解禁反對ノ請願ヲ議スルニ當リ委員長代理佐々木家壽治君ハ「是ハ只今他ノ委員會ニ於テモ論議ノ一ツノ件ニナツテ居ルサウデゴザイマスシ、立川君カラモ延期ノ説モ出テ居ルノデアリマスカラ、他トノ振合上重大ナ問題デゴザイマスカラ、延期ニ決シタイト思ヒマス」ト述ヘ之ヲ延期シ其ノ後三月二十二日該請願ノ審査ヲ爲セリ

ナテ十四日ノ例ナル

参考 一五五號

一五五 付託ヲ受ケタル議案ト牽聯スル議案ノ提出セラルル迄其ノ審査ヲ延期ス

委員會ニ於テ付託ヲ受ケタル議案ト牽聯スル議案ノ提出セラルル迄之カ審査ヲ延期シ牽聯議案ノ提出セラレタル後其ノ委員會ニ併セ付託セラルルヲ待テ之カ審査ヲ爲シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

第六回議會 明治二十七年五月二十三日ノ營業滿期國立銀行處分法案委員會ニ於テ坂本則美君ヨ

リ「政府ノ説明ニ依レハ本案ニ牽聯セル他ノ二案ヲ提出セラルヘシ故ニ本案ハ其提出アルマテ議事ヲ中止シタシ」ト述ヘ委員會ハ之ヲ可決セリ而シテ同日政府ヨリ國立銀行紙幣ノ通用引換期限ニ關スル法律案及明治二十三年法律第二十五號中追加法律案ヲ提出セラレタルヲ以テ委員會ハ其ノ付託ヲ待テ同月二十五日ヨリ會議ヲ開キ兩案ヲ共ニ審査セリ

第十回議會 明治三十年二月十七日ノ府縣制改正案委員會ニ於テ委員長中島又五郎君ヨリ「府縣制ハ郡制ト相關聯スル條項少カラサルヲ以テ郡制改正案ノ提出ヲ待テ本案ヲ審査スヘシ」トノ意見ヲ提出シタルニ委員會ハ之ヲ可決シ郡制改正案ノ付託ヲ待テ兩案ヲ共ニ審査セリ

第四十一回議會 大正八年三月十四日外客ノ招致及待遇ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ委員長牧野鐵九郎君ヨリ「此名所舊跡ト云フ案ハ貴族院ノ方デ出テ、何レ衆議院ニ回付ニナル法案ノヤウデゴザイマスカラ、是ダケハ延シテ置イテハドウデス」ト述ヘタルニ委員會ハ此ノ意見ヲ容レ之ヲ延期スルニ決シタリ而シテ同月十五日史蹟名勝天然紀念物保存法案(貴族院提出)ノ審査ヲ付託セラレタルヲ以テ兩案ヲ共ニ審査セリ

参考 一五四號

一五六 別箇ノ委員ニ付託セラレタル議案牽聯スル爲兩委員會合會シテ審査ヲ爲ス

牽聯セル議案ハ同一委員ニ併セ付託セラルルヲ例トスルモ別箇ノ委員ニ付託セラレタル爲兩委員會合會シテ其ノ審査ヲ爲シタルコトアリ

第十五回議會 明治三十四年二月二十五日臺灣事業公債法中改正法律案委員會及明治三十二年法律第一百號中改正法律案委員會ハ一室ニ合會シ臺灣事業公債法中改正法律案委員長石原半右衛門君委員長著キ「ドチラモ臺灣事業公債ニ關係シタルモノデゴザイマスカラ、質問丈ハ一緒ニシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、決議ハ二ツニ分ケマシテ決議ヲスルト云フコトニシテ、ドナタモ御異議ハゴザイマセヌカ」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ會議ヲ開キ先ツ臺灣事業公債法中改正法律案ニ付テ審査決定ヲ爲シタル後委員長石原半右衛門君ハ委員長著キ次ニ明治三十二年法律第一百號中改正法律案委員長西村眞太郎君委員長著キ會議ヲ續行シ同案ノ審査決定ヲ爲セリ

一五七號

一五七 兩分科合會シテ審査ヲ爲ス

數分科ノ所管ニ互ル議案ハ主タル事項ノ屬スル分科ニ於テ審査スルヲ例トスルモ兩分科合會シテ審査ヲ爲シタルコトアリ

第二十二回議會 明治三十九年二月七日豫算委員第三分科及第四分科カ合會シテ會議ヲ開カムトスルニ當リ第四分科主査征矢野半彌君ヨリ「今日ハ第三分科第四分科ノ聯合會議ヲ開キマス、其目的ハ此度ノ豫算ヲ通覽致シマスルニ、軍事費ハ非常ニ過大デアリマシテ、生産費ノ方ノ豫算ガ少ナイノデゴザイマス、國家今日ノ形勢トシテ、ドウシテモ軍事費ノ幾分ヲ削除若クハ延期シテ、サウシテ生産費ノ方ニ之ヲ足シマセヌト、大ニ恐ルベキ結果ヲ生ジヤウト云フ考ヨリシマシテ、陸海軍ノ發案ヲ見マスルニ、三分科四分科ノ兩分科ニ跨ッテ居リマスカラ、茲ニ兩分科合會ノ聯合會議ヲ開キマシテ、此事柄ヲ相談シタイト思ヒマス」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ征矢野半彌君ハ主査席ニ著キ會議ヲ開ケリ

第二十四回議會 明治四十一年二月一日請願委員第一分科及第三分科カ合會シテ會議ヲ開カムトスルニ當リ福井三郎君ヨリ「日露戰爭個人損害救済ノ件ハ外務省及大藏省所管ニ跨ルガ故ニ雙方聯合シテ審査ヲ爲スヲ適當ト信ズル」旨ヲ述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ聯合シテ會議ヲ開

キ審査ヲ爲スコト三回ニ及ヘリ

參看 一五六號

一五八 委員分擔シテ審査ヲ爲ス

審査事項ノ範圍廣キ爲便宜上委員ニ於テ分擔シテ審査ヲ爲シタルコトアリ

第二回議會 豫算委員第三分科會ニ於テハ内務、文部ノ二省ニ分チ更ニ内務省所管ハ三部ニ分チテ審査ヲ爲シ第六分科會ニ於テハ農商務、遞信ノ二省ニ分チテ審査ヲ爲シタリ而シテ明治二十四年十二月八日ノ豫算委員會ニ於テ第三分科主査及第六分科主査ハ其ノ旨ヲ報告セリ

同 明治二十四年十二月十九日ノ部分合法案委員會ニ於テハ天野三郎君ノ「部分合ニ關スル議案」ハ其ノ數甚多キヲ以テ各其事情ヲ知悉セル者ニ於テ各、分擔調査スベシトノ動議ヲ可決シ府縣別ニ依リ八部ニ分レテ調査セリ

第六回議會 明治二十七年五月十九日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ主査長谷川泰君ヨリ「本科ニ付託セラレタル豫算案ヲ文部ト遞信トニ分チテ之ヲ分擔調査シ終リニ之ヲ纏メテ會議ニ付スベシ」ト述フルヤ鹽田奥造君ハ「大體ノ質問ニ付テハ文部ト遞信トヲ併セテ之ヲ爲シ然ル上ニテ別

個ニ分擔シテ審査スルコトトシテハ如何ト述ヘ委員會ハ鹽田君ノ意見ヲ可決シ先ツ大體ニ付テノ質問ヲ終リテ後之ヲ分擔審査セリ
備考 一七下五回 所付議令 預算案ノ例ニ入ル

衆議院規則第五十四條

一五九 委員會ノ審査ニ資スル爲總議員ヨリ意見ヲ徵ス

衆議院規則第五十四條ニ「委員會ハ其ノ付託ヲ受ケタル事件ニ關シ意見ヲ有スル議員アルトキハ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得」ト規定セラレ委員會ニ於テ議員ノ意見ヲ參考トスル爲又ハ調査ノ材料ヲ得ル爲委員會ノ決議ヲ以テ議員全體ヨリ意見ヲ徵シタルコトアリ

第一回議會 明治二十四年二月十八日ノ郡分合ニ關スル法律案委員會ニ於テハ各地方ヨリ呈出シタル請願及ヒ議員ノ意見ヲ參考トシテ原案ヲ修正スルニ決シ各議員ニ照會書ヲ發シ其ノ意見書ヲ徵セリ

第十四回議會 明治三十三年一月十五日ノ衆議院議員選舉法改正法律案委員會ニ於テ委員長星亨君ヨリ別表調査ノ材料ヲ得ル爲之ヲ議院ニ報告シ各議員ヲシテ其ノ所屬府縣ニ關スル意見ヲ提出セシムルニ付異議ノ有無ヲ諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ委員會ハ各議員ノ意見ヲ徵セリ

一六〇 本豫算案ノ審査ハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質疑ヲ終了シタル後

分科ニ移シ其ノ報告ヲ待テ更ニ總會ニ付テハ各分科ノ報告ヲ聽ク

豫算委員會ニ於ケル本豫算案ノ審査ハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質疑ヲ終了シタル後分科ニ移シ分科ニ於テハ更ニ細目ニ互ル質疑ヲ爲シタル後討議決定シ之ヲ總會ニ報告ス而シテ其ノ報告後更ニ總會ヲ開キ審査決定ヲ爲スモノトス

參看 一一四號、一六一號、一六二號、一六三號

一六一 追加豫算案ハ概算總會ノミニ於テ之ヲ審査スルヲ例トス但シ

特別議會ノ始ニ提出セララルモノハ本豫算案審査ノ例ニ依ル

追加豫算案ハ概算總會ノミニ於テ之ヲ審査シ分科ニ移ササルヲ例トス但シ特別議會ノ始ニ提出セララルモノハ本豫算案審査ノ方法ト同シク分科ニ移シテ審査スルヲ例トス唯第五十五回(特別)議會ニ於テハ分科ヲ設ケス總テ總會ノミニテ之ヲ審査セリ

參看 一六〇號

一六二 追加豫算案ヲ直ニ分科ニ於テ審査ス

追加豫算案ヲ會期切迫其ノ他ノ事由ニ依リ審査急ヲ要スルトキ直ニ分科ニ於テ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ於テ審査決定シタルコトアリ

第十五回議會 明治三十四年三月二十日ノ豫算委員第一分科會ニ於テ主查山本幸彦君ヨリ(特追第一號)明治三十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案ハ火急ヲ要スルヲ以テ直ニ分科ニ於テ審査スヘキ旨豫算委員長ヨリ要求アリタルニ依リ未タ總會ノ付託ナキモ直ニ審査スル旨ヲ述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ直ニ該案ヲ審査セリ同日ノ豫算委員會ニ於テモ委員長栗原亮一君ヨリ右ノ始末ヲ報告シタルニ異議ナカリキ

第二十二回議會 明治三十九年三月十九日ノ豫算委員第五分科會ニ於テ主查加藤政之助君ヨリ「(第三號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案ハ總會ノ時ニマダ發表サレテナイ議案ダサウデアリマスガ豫算委員長カラ特ニ此處デ豫算總會ヲ經ナイケレドモ分科ヲ開イテ吳レト云フ注文ガアリマスガ御異議ハアリマセヌカト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ直ニ審査セリ

參看 一六〇號、一六一號、一六三號

一六三 追加豫算案ヲ小委員ノ審査ニ付ス

追加豫算案ヲ小委員ノ審査ニ付シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

第四回議會 明治二十五年十二月十二日ノ豫算委員會ニ於ケル明治二十五年歳入歳出總豫算追加案(内務省所管土木費補助)ノ審査

第六回議會 明治二十七年六月一日ノ豫算委員會ニ於ケル明治二十七年歳入歳出豫算追加案(鐵道ニ關スル件)ノ審査
參看 一六〇號、一六一號、一六二號

一六四 豫算案ハ全部ヲ一括シテ討論ニ付ス

豫算案ノ討論ハ以前ハ歳出豫算、各特別會計豫算、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、歳入豫算、豫算條文ノ順序ニ依リテ之ヲ爲シタルコトアリシモ近來右ノ順序ニ依ラス豫算案全部トナレリ

一六五 決算ノ審査ハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質疑ヲ終了シタル後分科

ニ移シ其ノ報告ヲ待テ更ニ總會ニ付スラ

決算委員會ニ於ケル決算ノ審査ハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質疑ヲ終了シタル後分科ニ移シ分科會ニ於テハ更ニ細目ニ渉ル審査ヲ爲シタル後之ヲ總會ニ報告ス而シテ其ノ報告後更ニ總會ヲ開キ審査決定ヲ爲スモノトス

参考 一六六號、一六七號

一六六 決算ハ會計検査院ノ検査報告ト對照シ政府ノ辯明書ヲ參考ト

シテ之ヲ審査スルヲ例トス

決算ハ會計検査院ノ検査報告ト對照シ政府ノ辯明書ヲ參考トシテ之ヲ審査スルヲ例トス唯第十八回議會明治三十六年五月二十七日ノ決算委員會ニ於テ委員長元田肇君ノ發議ニ依リ検査報告ハ單ニ參考ニ止メ決算本書ニ付審査シタルコトアリ

参考 一二二號

一六七 特別ノ事由アルトキハ決算ヲ分科ニ移サスシテ審査シ又ハ小

委員若ハ分科聯合會ニ付シテ審査ス

前議會又ハ其ノ以前ニ提出セラレタル決算ニシテ解散其ノ他ノ事故ニ因リ議院會議ノ審議ヲ終了スルコト能ハサリシ場合ニ分科ニ移サスシテ總會ニ於テ審査シ又ハ小委員ニ付シテ審査シタルコトアリ又特別議會ノ如キ會期短キ場合ニ分科聯合會ニ付シテ審査シタルコトアリ

(一) 分科ニ移サス總會ニ於テ審査シタル例

第四十三回議會 大正九年七月十二日ノ決算委員會ニ於テ大正六年度決算(前議會ニ於テ委員會未決)ノ審査中委員長小田切磐太郎君ハ「質問ガナケレバ分科會ニ移ス必要モナイヤウニ思ハレル」云アリマスカラ質問ガナケレバモウ明日カラハ分科ニ移サズ本會ニ於テ直グニ討論ニ移ルト云フヤウニ致シタイモノデアリマスガ御異議ガアリマセウカト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ同委員會ハ同月二十一日開會直ニ討論ニ入り同日之ヲ議了セリ
第六十二回議會 昭和七年六月四日ノ決算委員會ニ於テ昭和三年度決算(第五十八回議會ニ於テ委員會未決)及昭和四年度決算(第五十九回議會ニ於テ委員會未決)ヲ審査スルニ決シ分科ニ移サス總會ノミニテ審査ヲ爲スニ決シ直ニ質疑ニ入り同月十日之ヲ議了セリ

事例同前ニ直ス

特別ノ事由アルトキハ
決算ヲ分科ニ移サス
シテ審査ス

(二) 分科ニ移サス小委員ヲ設ケ審査シタル例

第十四回議會 明治三十二年十二月十二日ノ決算委員會ニ於テハ磯田和藏君ノ發議ニ依リ臨時軍事費決算ノ審査ヲ委員中ヨリ選定セル五名ノ小委員ニ付託シ又齋藤安雄君ノ發議ニ依リ明治二十八年年度決算(第十二回議會ニ於テ委員會未決)ノ審査ヲ各分科ノ主査ヲ以テ組織セル小委員ニ付託セリ

第十五回議會 明治三十四年二月十五日ノ決算委員會ニ於テハ安川繁成君ノ發議ニ依リ明治二十四年度決算(第六回議會ニ於テ委員會未決)ノ審査ヲ各主査ヲ以テ組織セル小委員ニ付託セリ

(三) 各分科聯合シテ審査シタル例

第三十九回議會 大正六年六月二十九日ノ決算委員會ニ於テ大正三年度決算ノ審査中委員長石黒涵一郎君ハ「ソレデハ大體ノ質問ハ一應是デ止メルコトニ致シマシテ審査ノ方法ニ付イテ御協議シタイト思ヒマス(中略)殊ニ會期モ短イコトデアリマスカラ之ヲ更ニ分科會ニ移シテ正式ニ審査致シマスヨリ此所デ聯合ノ上デ略式ニ審査ヲ進行致シマスルト云フ便宜ノ方法ヲ執ツテ致シタ方ガ宜シクハナイカト考ヘルデアリマス、此事ヲ一ツ御諮リ致シタイト思ヒマス」ト發議シタルニ大口喜六君ハ「聯合デオ遣リ下サル方ガ宜シイト私ハ思ヒマス若シ必要ガアリマシタラ分科會ヲ開キマスコトニ願ツテ、兎ニ角聯合會デオ遣リ下サルコトニ願ヒタイ」ト述ヘ他ニ異

議ナカリシヲ以テ委員長石黒涵一郎君ハ聯合審査ヲ行フヘキ旨ヲ宣告シ越エテ七月四日其ノ決算委員聯合審査會ヲ開會シタルニ開會劈頭高田耘平君ハ「本日ノ公報ニアル聯合調査會ニ附スベキ決算ト云フコトハ詰リ各分科ノ總テノ人ガ出席スベキ筈ダロウト思ヒマス、各分科總テノ人ガ出席スルケレドモ、審査スベキ事項ハ第一分科第二分科ノモノデアリマセウ」ト質シタルニ委員長石黒涵一郎君ハ「御意見ノ通り」ト答辯シ其ノ審査ヲ爲セリ

第六十四回議會 昭和八年二月十七日ノ決算委員會ニ於テ委員長山崎猛君ヨリ「御諮リスルコトガアリマス、ソレハ明十八日カラハ分科會ヲ開クコトニナツテ居リマスガ、分科會ハ質疑ノ都合ガアリマスノデ、十八日ト二十一日ノ午前十時カラ開クコトニシマシテ、十八日ハ第一分科ト第二分科ヲ聯合シテ質疑ヲシタイト思ヒマス、二十一日ハ第三分科ト第四分科ヲ聯合シテ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、先日御手許ニ差上ゲマシタ日割豫定表ヲ今申上ゲタヤウニヤリ變ヘタイト思ヒマスカラ、御承知ヲ願ヒマス」ト述ヘ昭和五年度歳入歳出總決算、昭和五年度各特別會計歳入歳出決算ノ審査ニ對スル第一分科、第二分科聯合會ハ二月十八日一回第三分科、第四分科聯合會ハ二月二十一日及二月二十三日ノ二回開會セリ

又昭和六年度歳入歳出總決算、昭和六年度各特別會計歳入歳出決算ノ審査ニ對シテハ昭和八年三月九日ノ決算委員會ニ於テ委員長山崎猛君ヨリ「御諮リ致スコトガアリマス、豫定ノ日割變更

ノ件デアリマス、即チ來ル十一日ノ土曜日ノ日程ヲ變更致シマシテ、當日午前中第一、第二分科聯合會、午後ニ第三、第四分科聯合會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカレト諮リ異議ナカリシヲ以テ第一、第二分科聯合會ハ三月十一日及三月十三日ノ二回、第三、第四分科聯合會ハ三月十三日及三月十四日ノ二回開會セリ

【備考】

決算ヲ分科ニ移シタルモ其ノ報告ヲ待タス總會ヲ開キ審査ヲ爲シタルコトアリ
第十三回議會 明治三十二年三月二日ノ決算委員會ニ於テ委員長安川繁成君ハ「分科ノ報告ヲ待テ審査スヘキ筈ナルモ最早會期切迫シタルニ付議事ノ進捗ヲ計ラムカ爲自己ノ意見書ヲ議題ト爲ス」旨ヲ述ヘ委員會ハ異議ナク其ノ意見ヲ容レ直ニ總會ニ於テ審査セリ
參看 一五七號、一六五號

一六八 國有財産増減總計算書ハ決算委員會ニ於テ小委員ノ審査ニ付スルヲ例トス

國有財産増減總計算書ハ第五十回議會ニ初テ決算委員會ニ付託セラレ同委員會ニ於テハ委員長指名七名ノ小委員ニ付シテ審査ヲ爲シタリ爾來決算委員會ニ付託セラレタル國有財産増減總計算書ハ小委

員ニ付シテ審査スルノ例トナレリ

第五十回議會 大正十四年三月十七日ノ決算委員會ニ於テ委員長湯淺凡平君ヨリ國有財産増減總

計算書ノ審査ヲ小委員ニ委託スルノ發議ヲ爲シ之ヲ可決シタルヲ以テ委員長ハ七名ノ小委員ヲ指名シ之カ審査ヲ爲サシメタリ

參看 一二五號、一六九號

一六九 國有財産現在額總計算書ハ國有財産増減總計算書ト共ニ小委員ノ審査ニ付スルヲ例トス

昭和二年三月三十一日現在國有財産現在額總計算書ハ第五十五回議會ニ決算委員會ニ於テ初テ審査ス

ルニ決シ同委員會ニ於テハ國有財産増減總計算書ト共ニ小委員ノ審査ニ付セリ西米此例ニ依リトナシ

第五十五回議會 昭和三年五月四日ノ決算委員會ニ於テ委員長匹田銳吉君ハ「國有財産増減總計

算書、國有財産現在額總計算書是ダケハ別ニ五名ノ小委員ヲ設マテ此小委員ニ付託シテ審査ヲ願ヒタト思フ」デアリマス、御異議アリマセヌカレト諮リ異議ナカリシヲ以テ委員長ハ五名ノ

審査小委員ヲ指名シ之カ審査ヲ爲サシメタリ

請願ニ付テハ例キ...

參看 一二五號、一六八號

削除

一三〇

三六三

一七〇 建議案ハ印刷配付ノ後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ付スルヲ例トス

建議案提出セラレタルトキハ之ヲ印刷シテ議員ニ配付ス而シテ其ノ配付後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ヲ開キ之カ審査決定ヲ爲スヲ例トス但シ會期切迫其ノ他ノ事由ニ依リ審査急ヲ要スルトキハ分科ノ審査ヲ省略シテ直ニ總會ニ於テ之ヲ審査シタルコトアリ

參看 一三〇號

(議第六四條 衆第一五七條)

一七一 請願ハ文書表調製後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ付スルヲ例トス

請願呈出セラレタルトキハ請願委員ハ議院法第六十四條及衆議院規則第一百五十七條ニ依リ請願文書

削除

表ヲ調製スヘキモノトス請願文書表ハ請願ノ要旨ヲ簡明ニ採録スルモノニシテ請願委員長ノ名ニ於テ之ヲ作成ス而シテ文書表調製後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ヲ開キ更ニ之カ審査決定ヲ爲スヲ例トス

參看 一二六號、一七二號

一七二 請願ハ其ノ審査急ヲ要スルトキハ文書表調製ノ後直ニ總會ニ於テ之ヲ審査ス

請願ハ文書表調製ノ後直ニ分科ニ於テ之ヲ審査シ其ノ報告ヲ待テ總會ヲ開キ之ヲ審査スルヲ例トスルモ會期切迫其ノ他ノ事由ニ依リ審査急ヲ要スルトキハ分科ノ審査ヲ省略シテ直ニ總會ニ於テ之ヲ審査シ又ハ分科ニ於テ審査中ノモノト雖其ノ報告ヲ待タスシテ總會ニ於テ之ヲ審査シタルコトアリ

參看 一二八號、一七一號

一七三 請願ヲ小委員又ハ理事ノ審査ニ付ス

請願ニ付テニ調査ヲ爲スノ必要アルトキハ之ヲ小委員ノ審査ニ付シタルコトアリ又臨時議會ニ於テ

第三章 議案ノ審査

第三節 審査ノ方法

(一七二、一七三)

百三十三

會期短キ爲理事ヲシテ之カ審査ニ當ラシメタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

(一) 小委員ノ審査ニ付シタル例

第九回議會 明治二十九年一月二十一日ノ請願委員會ニ於ケル頌德表奉呈竝製艦費御下賜辭退ニ關スル件ノ審査

第十回議會 明治三十年二月二十七日ノ請願委員會ニ於ケル大阪港及神戸港修築ノ件ノ審査

第四十五回議會 大正十一年二月二十日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル和氣神社ヲ別格官幣社ニ昇格ノ件ノ審査

第六十四回議會 昭和八年三月三日ノ請願委員會ニ於ケル臺灣議會設置ノ件ノ審査

第六十七回議會 昭和十年二月一日ノ請願委員會ニ於ケル貴族院議員推薦ニ關スル件及産繭處理統制案反對ニ關スル件ノ審査

(二) 理事ノ審査ニ付シタル例

第二十回議會 明治三十七年三月二十二日ノ請願委員會ニ於テハ四箇ノ分科ヲ設ケタルモ同月二十五日ノ會議ニ於テ柏谷義三君ノ發議ニ依リ「本會ハ臨時會ニシテ會期短ク且呈出請願少キヲ以テ分科ノ審査ニ付スルコトヲ止メ理事ヲシテ各請願書ヲ分擔調査セシメ其ノ報告ヲ待テ總會ニ於テ之ヲ審査スルコト」ヲ議決セリ

再調

參看 一七一號

(衆第一五五條)

一七四 建議案及請願ハ審査日程ノ順序ニ依リ之ヲ審査ス

建議案及請願ニ付テハ豫メ審査日程ヲ作成シ其ノ順序ニ依リ之ヲ審査スルヲ例トス

參看 一七五號、一七六號、一七七號、一七八號

一七五 建議案及請願ノ審査日程ハ分科ニ在リテハ各省所管別ニ呈出

ノ順序ニ依リ主査之ヲ定メ總會ニ在リテハ分科ノ順序ニ依リ委員長

之ヲ定ム

建議案ノ審査日程ヲ定ム

延期セラレタル建議案及請願ヲ審査日程ニ掲載スル場合命キ於テモ亦

前項ノ例ニ依ル

建議案及請願ニ付テハ豫メ審査日程ヲ作成スルヲ例トシ其ノ掲載順序ハ分科ニ在リテハ各省所管ノ順序

ニ依リ同一所管ノモノハ呈出順ニ依リ主査之ヲ定メ總會ニ在リテハ分科ノ順序ニ依リ委員長之ヲ定ム
延期セザルニシテ建議案及請願ヲ審査日程ニ掲載スル場合ニ於テモ總會前記ノ順序ニ依ル例トス

参考 一七四號、一七六號、一七七號、一七八號

(案第一五五條)

一七六 建議案及請願ノ審査日程ハ審査ノ都合ニ依リ其ノ順序ヲ變更

スルコトヲ得

建議案及請願ノ審査日程ハ提案者又ハ紹介議員若ハ政府委員ノ說明ニ都合其ノ他種々ナル理由ニ依
リ其ノ順序ヲ變更スルコトアリ而シテ此ノ場合ニ於テハ委員長又ハ主査必要ト認め若ハ動議ニ依リ
之ヲ變更ス

参考 一七四號、一七五號、一七七號、一七八號

一七七

審査日程ニ掲載セラレタル同種ノ建議案又ハ請願ヲ一括シテ
議題ニ供ス

建議案又ハ請願ノ審査日程中同種ノ建議案又ハ請願數件アルトキハ便宜上之ヲ一括シテ議題ニ供シ
審査シタルコト毎會期抄カラス

参考 一七四號、一七五號、一七六號、一七八號

一七八 審査日程ニ上ラサル建議案又ハ請願ヲ日程ニ追加スルコトヲ

得

建議案又ハ請願ハ日程ニ掲載セラレタルモノニ付審査スルヲ例トスルモ會期切迫等ノ爲會議ノ當日
ニ至リ更ニ日程ニ追加シテ之ヲ審査シタルコト毎會期抄カラス

参考 一七四號、一七五號、一七六號

一七九 請願ノ紹介説明ヲ爲ス者ナキトキハ請願書ニ依リテ之ヲ審査

ニスル例トス

請願ニ付テハ其ノ紹介説明ヲ爲セザル場合ニ於テモ紹介議員病氣其ノ他ノ事故ニ因リ出

席セサル場合ニ於テ他ノ議員亦其ノ紹介説明ヲ爲ササルトキハ一時延期スルコトアリキ近來ハ請願書ニ依リテ之ヲ審査スルヲ例トス

一八〇 参考 八六號、八七號

ヲ為スコトモ取カラス

一訂正ノ旨を審査ス

一八〇 分科ノ審査ヲ了リ其ノ報告ヲ受ケタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ直ニ總會ニ於テ審査ス

請願分科ニ於テ既ニ審査ヲ了リ委員會ニ報告シタル請願ト同一趣旨ノ請願呈出セラレタルトキハ文書表ヲ作成スルモ之ヲ分科ノ審査ニ付スルコトナク直ニ總會ニ於テ之ヲ審査ス

第三十五回議會

大正三年十二月十日ノ請願委員會ニ於テ既ニ一度分科ニ於テ審査ヲ了リ委員會

ニ報告シタル請願ト同一趣旨ノ請願呈出セラレタルトキハ更ニ之ヲ分科ノ審査ニ付スルコトナク直ニ總會ニ於テ審査スヘキコトヲ議決セリ

爾來此ノ例キ傲ナリ

参考 一八一號

一八一 委員會ニ於テ既ニ審査ヲ了リタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ其ノ審査ヲ省略シ直ニ議院ニ報告ス

請願委員會ニ於テ既ニ審査ヲ了リタル請願ト同一趣旨ノ請願呈出セラレタルトキハ文書表ヲ作成スルモ之ヲ審査ヲ省略シ前ノ請願ト同一ノ議決ヲ爲シタルモノト認メ直ニ議院ニ報告スルヲ例トス

参考 一八七號、二二二號

一八二 數分科ノ所管ニ互ル建議案又ハ請願ハ主タル事項ノ屬スル分科ニ於テ審査スルヲ例トス

建議案又ハ請願ノ内容ニシテ數分科ノ所管ニ互ル場合ハ主タル事項ノ屬スル分科ニ審査ヲ付シ其ノ分科單獨トシテ之ヲ審査スルヲ例トス

一八三

一八三 建議案ニ付キ本會議即決ノ要求アリタルトキハ建議委員會ノ議ヲ經テ委員長ヨリ要求書ヲ議長ニ提出ス

各派一致ノ提案ニ係ル建議案ニ對シ提案者ヨリ本會議即決ノ要求アルトキハ建議委員長ハ先ツ之ヲ委員會ニ諮リ其ノ承認ヲ得タル後其ノ旨要求書ヲ議長ニ提出ス事例左ノ如シ

第六十四回議會 昭和八年二月二十三日ノ建議委員會ニ於ケル大神都特別聖地計畫實施國營ニ關

スル建議案(島田俊雄君外十名提出)ニ對スル本會議即決ノ要求

同 昭和八年三月二十三日ノ建議委員會ニ於ケル警察官優遇ニ關スル建議案(久原房之助君外五

十三名提出)及教育革新ニ關スル建議案(安藤正純君外四十一名提出)ニ對スル本會議即決ノ要

求

オ七十五 例法

第四節 動議

一八四 動議ハ一人以上ノ贊成ヲ以テ成立ス

常任委員會及特別委員會ニ於ケル修正ノ動議其ノ他ノ動議ノ成立ニ付テハ前條ノ規定ニ依リ全院委

衆第三七條 第九〇條

員會ノ規定ヲ準用シ一人以上ノ贊成ヲ以テ成立シタルモノト認ムルヲ從來ノ慣例トス

參看 一九〇號、一九二號

一八五 審査事項ニ先チ表決ノ必要アル動議ハ先決問題トス

審査事項ニ先チ議決ノ必要アル動議ハ先決問題トシ審査事項ニ直接ノ關係ヲ有スルト否トヲ問ハス

直ニ之ヲ議題ト爲スヘキモノトス例ヘハ審査方針ニ關スル動議、數案ヲ一括シテ議題ト爲スノ動議、

趣旨辯明省略ノ動議、質疑者ト討論終局ノ動議、議事又ハ議決延期ノ動議、採決方法ニ關スル動議、直

採決ヲ爲スノ動議、採決延期ノ動議、秘密會ヲ開クノ動議、速記中止ノ動議、休憩ノ動議、散會ノ動

議等ノ如キハ孰レモ先決動議トス

參看 一八六號

一八六 數箇ノ先決動議成立シタルトキハ委員長(主査)其ノ表決ノ順

序ヲ定ム

先決問題タルヘキ數箇ノ動議成立シタルトキ表決ニ付スヘキ順序ハ各動議ノ性質ニ依リ委員長(主

第三章 議案ノ審査 第四節 動議

(一八五、一八六)

百四十一

(以下書き直シ)

查)之ヲ定ムルモノトス

參看 一八五號

削除

一八七 動議ハ其ノ發議者不在ノ場合ニ於テモ之ヲ採決ス

動議成立シタル上ハ其ノ發議者退席又ハ闕席シタル場合ニ於テモ之ヲ採決ス

第十二回議會 明治三十一年六月一日ノ豫算委員會ニ於テ武富時敏君ヨリ「豫算案全體ニ對シ僅

僅ノ修正ヲ爲スヨリモ寧ロ原案全體ヲ可決スヘシ」トノ意見ヲ提出シ濱口吉右衛門君之ニ贊成

シタル後共ニ退席セシ委員長江原素六君右ノ意見ニ付採決セムトスルヤ牧野耕三君ハ「發議者

贊成者共ニ退席セシ以上ハ採決ヲ要セス」ト述べ龍野周一郎君ハ之ニ反對シ「武富君ハ身體ハ去

ツテモ説ハ殘ツテ居リマスカラ先決問題トシテ御採用ヲ願ヒマス」ト述べタルニ委員長ハ武富

時敏君ノ動議ニ付採決セリ

參看 一八四號

(衆第九一條)
(衆第二五條)

一八八 動議ノ撤回ハ提出者全部ノ請求ヲ要スルモ贊成者ノ同意ヲ要

セス

動議ノ撤回ハ提出者全部ヨリ之ヲ請求スルコトヲ要スルモ贊成者ノ同意ヲ要セス

參看 一八九號

(衆第二五條)

一八九 動議ノ撤回ハ之ヲ許可スルヲ例トス

動議ハ其ノ提出者ヨリ撤回ノ要求アルトキハ議題ト爲リタルト否トニ拘ラス之ヲ許可スルヲ例トス

參看 一八八號

第五節 修正

一九〇 修正ノ動議ハ其ノ案ヲ具シテ提出スルヲ例トス

委員會ニ於ケル修正ノ動議ニ付テハ何等ノ規定ナキモ其ノ案ヲ具シテ提出スルヲ例トス但シ簡單ナ

衆第三條

第三章 議案ノ審査 第五節 修正

(一八八、一八九、一九〇)

百四十三

ルモノニ在リテハ口頭ヲ以テ之ヲ述ベタルコトアリ

一八〇 參看 一八四號

又ハ其ノ内容

カ又書直シ

一九一 議案ヲ分合シ其ノ事項ヲ擴張シ又ハ其ノ種別、性質若ハ表題ヲ變更スルハ修正ノ範圍内トス

議案ノ分割、併合又ハ其ノ事項ノ擴張、其ノ種別、性質、内容及表題ノ變更ト總テ之ヲ修正ト認ム

(一) 議案ヲ分割シタル例

第十五回議會

明治三十四年三月十五日ノ府縣制中改正法律案外六件委員會ニ於テ市制町村制中

改正法律案(多田作兵衛君外三名提出)ヲ分割シテ市制中改正法律案及町村制中改正法律案ノ二

案ト爲ス

同日ノ徵兵令補則案(菅野善右衛門君提出)委員會ニ於テ該案ヲ分割シテ兵役稅法案及兵卒給與

法案ノ二案ト爲ス

第二十五回議會

明治四十二年三月十二日ノ内地及臺灣司法共通ニ關スル法律案(齋藤二郎君外

合
三
七
合

四名提出)委員會ニ於テ該案ヲ分割シテ辯護士ノ職務並判官評定官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案及裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案ノ二案ト爲ス

(二) 數議案ヲ併合シタル例

(イ) 政府提出法律案ト政府提出法律案トヲ併合シタルモノ

第四十三回議會

大正九年七月二十日ノ現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案外二件委員會

ニ於テ現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案及軍人恩給等ノ増額ニ關スル法律案ヲ併合シ

テ一案ト爲シ表題ヲ「恩給扶助料等ノ増額ニ關スル法律案」ニ改メ修正議決セリ

(ロ) 政府提出法律案ト議員提出法律案トヲ併合シタルモノ

政府提出法律案ト議員提出法律案トヲ併合シテ一案ト爲シタルモノナク只實質ニ於テ政府提出法律案ニ議員提出法律案ノ内容ヲ包含セシメテ修正議決シタルモノアリ

第三回議會

明治二十五年五月二十七日ノ鐵道公債法案、私設鐵道買收法案審查特別委員會ニ於

テ鐵道公債法案(政府提出)、鐵道擴張法案(佐藤里治君提出)、鐵道敷設法案(植木志澄君外二名

提出)、鐵道擴張法案(河島醇君外一名提出)及私設鐵道買收法案(政府提出)ノ五案ノ内容ヲ參

酌シテ別ニ鐵道敷設法案ヲ作り鐵道公債法案ノ修正案トシテ議決ス

【備考】

明治二十五年六月二日ノ議院會議ニ於テ政府提出鐵道公債法案ハ鐵道敷設法案ト改題ノ上修正議決シ其ノ他ノ議案中政府提出私設鐵道買收法案ハ否決シ議員提出案三案ハ議決不要トナレリ

第十回議會

明治三十年二月二十四日ノ新聞紙條例中改正法律案外二件委員會ニ於テ新聞紙條例中改正法律案(政府提出)ニ新聞紙條例改正法律案(箕浦勝人君外二名提出)及新聞紙法案(元田肇君提出)ノ二案ノ内容ヲ包含セシメテ修正議決セリ

【備考】

明治三十年二月二十七日ノ議院會議ニ於テ政府提出新聞紙條例中改正法律案ハ修正議決シ他ノ議案即チ議員提出二案ハ否決トナレリ

同 明治三十年二月二十六日ノ新聞紙條例中改正法律案外二件委員會ニ於テ集會及政社法中改正法律案(政府提出)及集會及政社法改正法律案(箕浦勝人君外二名提出)ノ二案ヲ併合ノ意味ニ於テ修正議決セリ

【備考】

明治三十年三月六日ノ議院會議ニ於テ政府提出集會及政社法中改正法律案ハ修正議決シ箕浦勝人君外二名提出集會及政社法改正法律案ハ否決トナレリ

第六十三回議會 昭和七年九月一日ノ農村負債整理組合法案(政府提出)委員會ニ於テ同法案ニ負債

整理組合中央金庫法案(秦豊助君外二十三名提出)ノ内容ヲ包含セシメテ修正議決セリ

【備考】

委員會ニ於テハ秦豊助君外二十三名提出負債整理組合中央金庫法案ハ否決セリ而シテ昭和七年九月一日ノ議院會議ニ於テ政府提出農村負債整理組合法案ハ委員長報告ノ通議決シ議員提出案ハ院議ヲ經ルニ至ラス

(ハ) 數箇ノ議員提出法律案ヲ併合シタルモノ

數箇ノ議員提出法律案ヲ併合シタル事例ハ鈔カラス

(ニ) 議員提出法律案ト建議案トヲ併合シタルモノ

第三十九回議會 大正六年七月十一日ノ市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案外三件委員會ニ於テ市町村立小學校費國庫補助法案(尾崎行雄君外九名提出)、市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案(原敬君外七名提出)、義務教育費國庫補助ニ關スル建議案(西村丹治郎君外二名提出)及小學校教員國庫補助ニ關スル建議案(石黒涵一郎君外六名提出)ノ四案ヲ併合シテ一案ト爲シ「市町村義務教育費國庫補助ニ關スル建議案」ト爲シタリ

(ホ) 數箇ノ建議案ヲ併合シタルモノ

數箇ノ建議案ヲ併合シタル事例ハ抄カラス

(ハ) 建議案ト決議案トヲ併合シタルモノ

第四十五回議會 大正十一年三月二十三日ノ陸軍ノ整理縮小ニ關スル建議案(大岡育造君外十名提出)外一件委員會ニ於テ該案及軍備縮小ニ關スル決議案(犬養毅君提出)ノ二案ヲ併合シテ

「陸軍ノ整理縮小ニ關スル建議」ト改ム

(三) 議案ノ事項ヲ擴張シタル例

第二十七回議會 明治四十四年三月十四日ノ市制改正法律案外三件委員會ニ於テ東京市ニ關スル法律案(尾崎行雄君外四名提出)ニ關シ東京市ノ外ニ大阪市ヲモ加フルニ決セリ

第四十六回議會 大正十二年三月七日ノ陪審法案委員會ニ於テ辯護士法中改正法律案(廣岡宇一郎君提出)ニ關シ原案ニナキ新條項ヲ加ヘ修正議決セリ

第六十五回議會 昭和七年九月一日ノ金錢債務臨時調停法案(政府提出)委員會ニ於テ同法案ノ適用範圍ヲ擴張スル爲内容ヲ修正シテ議決セリ

(四) 議案ノ種別ヲ性質ヲ變更シタル例

(イ) 上奏案ヲ建議案ト爲シタルモノ

第二回議會 明治二十四年十二月十四日ノ直稅分署間稅分署廢止上奏案(千葉禎太郎君提出)委員

會ニ於テ該上奏案ヲ改メテ「直稅分署間稅分署廢止ノ建議」ト爲ス

【備考】

ヤトミヲ入ルニト種別ヲ異ニスル議案ト併合ノ結果其ノ種別ヲ變更シタルモノハ(二)議案併合ノ部參照

ヤトミ

(イ) 廢止法律案ヲ變更シテ改正法律案ト爲シタルモノ

第二十回議會 明治三十七年三月二十五日ノ非常特別稅法案(政府提出)外十件委員會ニ於テ輸入原料砂糖戻稅法廢止法律案ヲ變更シテ同改正法律案ト爲シ同法第一條第一項ノ次ニ一項ヲ追加セリ

(五) 議案ノ表題ノミヲ變更シタル例

第四十四回議會 大正十年三月二十二日ノ山田川ニ河川法適用ニ關スル建議案(原田藤次郎君外五名提出)委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ「山田川改修速成ニ關スル建議」ト改ム

同年三月二十六日ノ發明獎勵ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ養蠶業竝絹絲工業調查會設置ニ關スル建議案(飯塚春太郎君外四名提出)ノ表題ヲ「蠶絲業及絹織物工業根本政策樹立ニ關スル建議」ト改ム

第六十五回議會 昭和九年三月二十日ノ輸出生絲販賣統制法案(政府提出)委員會ニ於テ政府原案ノ表題ヲ修正シ「輸出生絲取引法」ニ改ム

第三章 議案ノ審査

第五節 修正

一九二 分科又ハ小委員ノ修正報告ハ委員會ニ於テ修正案ト認ム
分科又ハ小委員ノ報告修正ナルトキハ別ニ賛成者ヲ要セス直ニ之ヲ修正案ト認ムルヲ例トス
參看 一八四號、二五五號、二五六號

一九三 修正案ヲ起草セシムル爲小委員ヲ設ケ又ハ協議會ヲ開ク

修正ノ案文ヲ起草セシムル爲小委員ヲ設ケ委員會決議ノ趣旨ニ從ヒ若ハ議案ノ趣旨ヲ調査シテ修正
ノ案文ヲ起草セシメ又ハ協議會ヲ開キ修正案ヲ起草シタルコトアリ

參看 四八號、一九四號

(案第二七條)

一九四 修正案原案共ニ否決セラレタル場合ニ廢棄スヘカラサルモノ
ト決シタルトキハ小委員ヲ設ケ又ハ協議會ヲ開キ修正案ヲ起草セシ
ムルヲ例トス

委員會ニ於テ修正案原案共ニ否決トナリタル場合ニ廢棄スヘカラサルモノト決シタルトキハ衆議院
議案ノ否決ヲ指ス

規則第二百二十七條ニ依ル議院會議ノ例ニ準シ小委員ヲ設ケ又ハ委員ノ協議會ヲ開キテ修正案ヲ起草
セシメテ之ヲ議題ニ供スルヲ例トス但シ便宜上委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シタルコトアリ

(一) 小委員ヲ設ケテ起草セシメタル修正案ヲ議題ニ供シタル例

第二回議會 明治二十四年十二月二十四日ノ豫算委員會ニ於ケル岐阜、愛知二縣補助費ヲ付修正
案原案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第六回議會 明治二十七年五月二十二日ノ豫算委員第二分科會ニ於ケル内務省所管北海道廳機密
費ヲ付修正案原案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第八回議會 明治二十八年一月十九日ノ豫算委員會ニ於ケル大藏省所管内閣機密費ヲ付修正案原
案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第十三回議會 明治三十二年二月二十一日ノ外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル法律案委員
會ニ於テ修正案原案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

(二) 委員ノ協議ニ成リタル修正案ヲ議題ニ供シタル例

第十三回議會 明治三十一年十二月十六日ノ豫算委員第二分科會ニ於ケル大藏省廳費ヲ付修正案
原案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第二十二回議會 明治三十九年三月二十二日ノ關稅定率法改正法律案委員會ニ於ケル印刷料紙稅

率ヲ付修正案原案共ニ可決トナリタル場合ノ修正

(三) 委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シタル例

第十二回議會 明治三十一年六月二日ノ明治二十九年法律第五十九號事業公債條例中改正法律案
外二件委員會ニ於ケル明治二十九年法律第六號債金特別會計法中改正法律案ニ付修正案原案共
ニ否決トナリタルトキ片岡直温君ノ修正意見ノ提出

第十三回議會 明治三十一年十二月十四日ノ豫算委員第三分科會ニ於ケル海軍省糧食費ニ付修正
案原案共ニ否決トナリタルトキ加藤政之助君ノ修正意見ノ提出

參看 一八四號、一九二號

一九五 前號ノ場合ニ於テ先ニ否決セラレタル案ヲ修正案トシテ再々
之ヲ議題ニ供シタルコトアリ

修正案原案共ニ否決セラレタル場合ニ廢棄スヘカラサルモノト決シタルトキハ小委員ヲ設ケ又ハ協
議會ヲ開キ修正案ヲ起草セシムルヲ例トス而シテ此ノ場合ニ小委員若ハ協議會ニ於テ先ニ否決セラ
レタル修正案又ハ原案ト同一ノ内容ヲ有スル修正案ヲ起草シ又ハ委員ヨリ先ニ否決セラレタル修正

ト同一内容ノ案ヲ起草セシキ

案ト同一ノ内容ヲ有スル修正意見ヲ提出シ之ヲ議題ニ供シタルコトアリ

第二回議會 明治二十四年十二月二十四日ノ豫算委員會ニ於テ岐阜、愛知二縣補助費ニ付修正案
原案共ニ否決セラレタルヲ以テ更ニ委員ヲ設ケテ修正案ヲ起草セシメタルニ此ノ小委員ハ同日
ノ會議ニ於テ先ニ少數ヲ以テ否決トナリタル「三分ノ一ヲ減スルノ案」ヲ採用スヘキ旨ヲ報告シ
委員會之ヲ可決セリ

第十二回議會 明治三十一年六月二日ノ明治二十九年法律第五十九號事業公債條例中改正法律案
外二件委員會ニ於テ明治二十九年法律第六號債金特別會計法中改正法律案ニ付修正案原案執レ
ニモ否決トナリタルトキ委員片岡直温君ハ先ニ少數ヲ以テ否決トナリタル修正案ト同一ノ内容ヲ
有スル修正意見ヲ提出シタルニ委員會之ヲ議題ニ供シ可決セリ

第十三回議會 明治三十一年十二月十六日ノ豫算委員第二分科會ニ於テ大藏省廳費ニ付修正案原
案共ニ否決セラレタルトキ分科員ハ其ノ協議ヲ以テ先ニ否決トナリタル原案ヲ復活スルニ決シ
分科會ニ於テモ之ヲ可決セリ

同 明治三十二年二月二十一日ノ外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル法律案委員會ニ於テ修
正案原案共ニ否決セラレタルトキ小委員ヲ設ケテ更ニ立案セシメタルニ此ノ委員ハ翌二十二日
ノ會議ニ於テ原案ヲ採用スヘキ旨ヲ報告シ委員會ニ於テモ之ヲ可決セリ

參看 一九四號

第六節 審査ノ權限

(議第三〇條)

一九六 豫算委員會ニ於テ豫算案ノ編成替ヲ求ムルノ議決ヲ爲ス

豫算委員會ニ於テ豫算案ノ編成方法ヲ不當ナリト認メ其ノ編成替ヲ政府ニ要求スルノ議決ヲ爲シタルコトアリ

第十回議會 明治三十年三月八日ノ豫算委員會ニ於テ明治三十年度各特別會計豫算追加案(特追

第二號)ヲ議スルニ當リ委員板東勘五郎君ハ「此ノ豫算案ノ編成法ハ一般豫算編成ノ慣例ニ反シ款ニ屬スヘキモノヲ項ト爲シ項ニ屬スヘキモノヲ目ト爲シタルハ憲法及會計法ノ精神ニ背クモノナリト信スルニ依リ撤回修正ノ上更ニ提出セラレムコトヲ政府ニ請求スヘシ」トノ意見ヲ提出シタルニ委員會ハ異議ナク之ヲ可決セリ而シテ同日議院會議ニ於テ豫算委員長元田肇君ヨリ豫算返付ノ動議提出セラレ院議之ヲ可決シタルヲ以テ政府ハ豫算案ヲ撤回シ修正ノ上再提出セリ

第十二回議會 明治三十一年五月三十一日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ農商務省所管製鐵所費ヲ

議スルニ當リ木暮武太夫君ハ「製鐵所ノ費用ヲ單ニ一款一項トナシタルハ從來ノ豫算編成方法ト其ノ方法ヲ異ニセリ仕事ヲ爲ス上ヨリ見レハ頗ル便利ナルヘキモ豫算編成上及會計監督ノ上ヨリ見レハ甚タ不都合ニシテ少ナクモ數項ニ分ツヘキモノト信スルヲ以テ此ノ豫算編成替ヲ要求スヘシ」トノ意見ヲ提出シタルニ委員會ハ之ヲ可決シタルヲ以テ農商務大臣金子堅太郎君ハ「私ハ政府ヲ代表シマシテ、書面ノコトハ後ニシテ、兎ニ角今ノ木暮君ノ發議ヲ、全會一致デ御決議ニナリマシタレバ、政府ハ此所デ提出シタモノト認メテ、御決議ヲ願ヒタイ云々」ト述ヘ委員會ハ政府ニ於テ修正シタルモノト看做シ直ニ之ヲ議了セリ其ノ後政府ハ同日附ヲ以テ之ヲ修正セリ

一九七 豫算案ニ關係アル法律案又ハ緊急勅令承諾案ノ審査終了前ニ豫算案ヲ議決ス

豫算案ニ關係アル法律案又ハ緊急勅令承諾案ノ提出セラレタルトキハ其ノ審議終了ヲ待テ豫算案ヲ議決スルヲ本則トスルモ未ダ關聯議案カ委員會ニ於テ審査終了セサルニ先チ又ハ其ノ提出セラレサ